

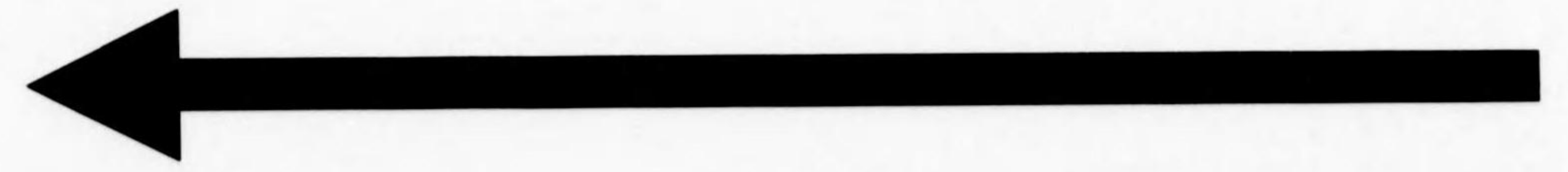
64-167ハ

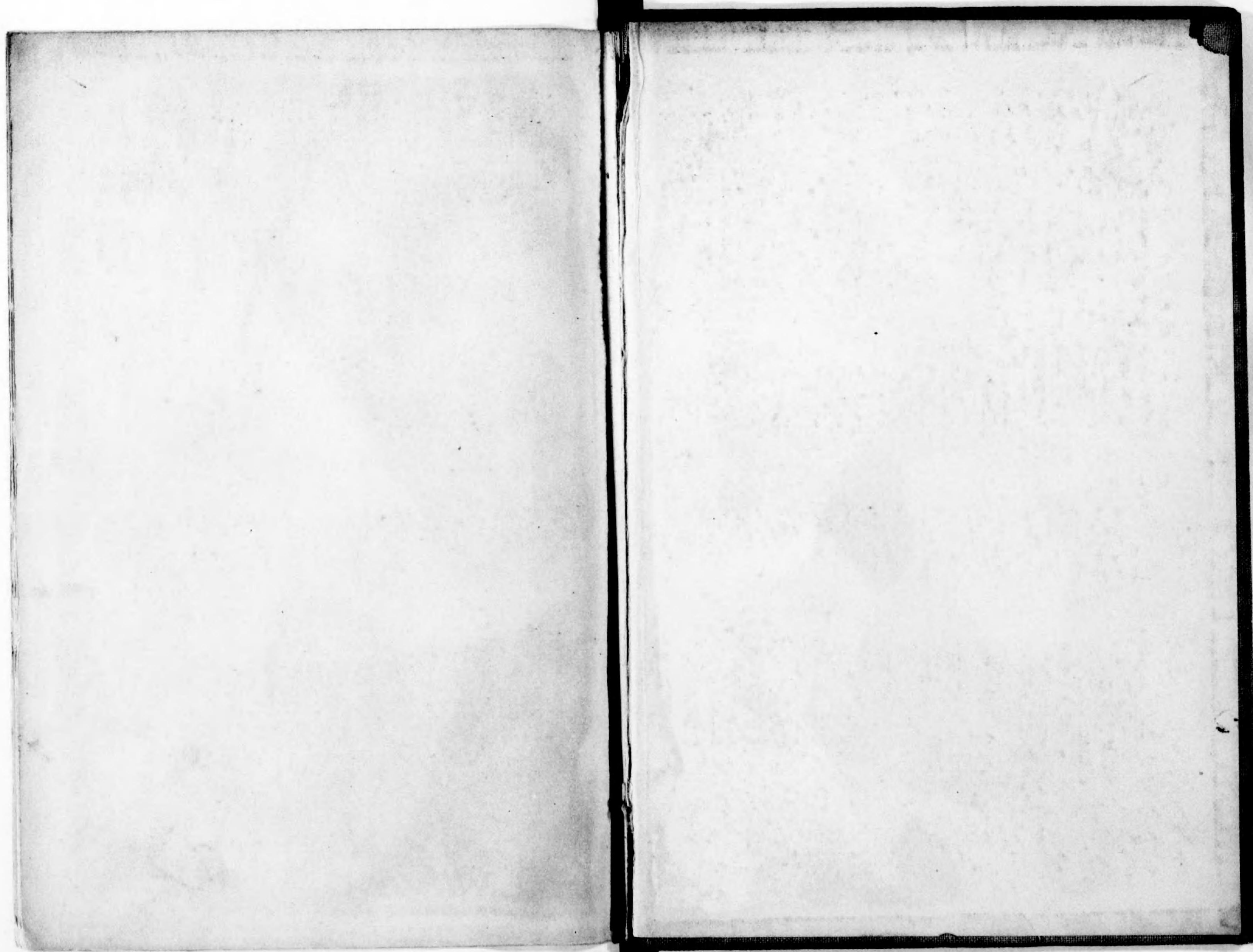


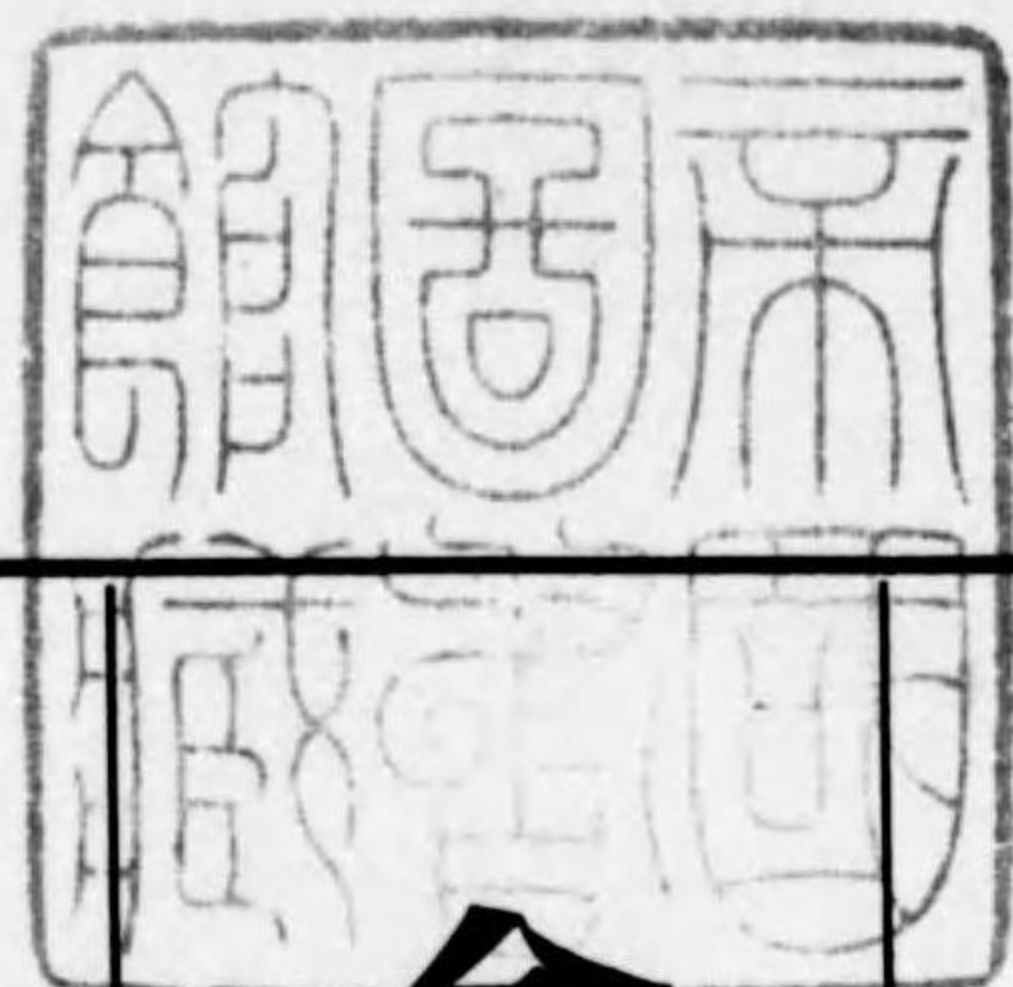
1200501277906



始







商學士小林行昌著

倉庫論

東京 巖松堂書店發兌



改版之序

本書ハ拙稿「税關論」ノ姊妹編トシテ刊行シタルモノニテ、卷ヲ分チタル後ニ於テモ、機ニ臨ミ剪裁補綴ノ勞ヲ惜マサリシカ、昨春農業倉庫業法カ改正セラレテ、新ニ聯合倉庫業ヲ認メ、本年四月保税倉庫法ヲ改メテ其業務ヲ擴張シ、同時ニ舊假置場法ヲ廢止シテ、之ニ代ユルニ保税工場法ヲ以テシ、同年八月是等ノ施行法ヲ發布シ、九月一日ヨリ實施スルコト、爲リタルヲ以テ、ソレ等ノ部分ヲ改正セサルヘカラス、一方内外ノ倉庫業ハ近年長足ノ進歩ヲ示シ、殊ニ米國ニ於テ著シキ發展ヲ見タルカユヘニ、是等ヲ改竄スルノ必要アリ、從テ一般ニ統計表ノ數字ヲモ訂正スルノ機ニ至リタルヲ以テ、法律論等ニ關スル部分ノ外ハ、大部分舊稿ヲ棄テ、舒述スルコト、爲セリ、然レトモ倉庫ノ研究モ亦其範圍頗ル廣ク、

其沿革ヲ詳論シ、經濟的機能ヲ審ニシ、法律論ヲ明カニシ、實務ヲ細説スルハ、到底本書ノ如キ一小冊子ノ能クスル所ニアラス、殊ニ各種ノ倉庫ハ各特色ヲ有スルヲ以テ、微ニ入り細ヲ穿ツハ、之ヲ専門ノ研鑽ニ委ネサルヘカラス、本書ハ單ニ「倉庫通論」トシテ、學者、實務家ニ對シ、斯業研究ノ一資料ヲ供スルコトヲ得ハ則チ足レリ。

昭和二年十月

著 者 識

倉庫及稅關初版ノ序

商業ニ關スル研究ノ進步ハ、學者ノ蘊蓄ヲ諸般ノ方面ニ吐露セシメ今日ニ於テハ銀行、保險、海運、鐵道等、諸學ノ開拓ハ略遺憾ナキ程度ニ至リタルモ、獨リ倉庫ト稅關トノ如キハ、未タ斯學ノ一科トシテ觀ルニ足ルヘキ、秩序的學識ノ發表ヲ見ルコト甚寥々タルハ洵ニ惜ムヘカラスヤ。

倉庫ノ近年幾分カ世間ノ注意ヲ喚起シ、或ハ證券法律論トシ、或ハ各國制度ノ比較論トシテ、一二好著ノ世ニ示サレタルモノ是レナキニアラスト雖モ、是レ尙ホ斯學ノ一資料タルニ過キス、稅關ニ至ツテハ、全ク系統アル商業學の説述之レナキカ如シ、是レ著者カ寡聞自ラ揣ラス、敢テ此新學科ヲ促ヘテ、大方碩學ノ斧正ヲ乞ハントスル所以ナリ。

我邦ニ於ケル倉庫ノ發達ハ事近年ニ屬スルヲ以テ、之ヲ歐米先進國ノソレニ比シ、其遜色ヲ云爲スルハ固ヨリ酷ナリ、然レトモ現今ノ如ク、倉庫ノ多クカ銀行家ノ附屬業、其擔保物保管所タルニ止マラシムルハ、願フニ斯業ノ搖籃時代ニ過キス、之ヲ以テ完全ナル金融機關ト爲シ、賣買方便ヲ供シ、其證券ノ運用ヲ圓滿盛大ナラシメ、運輸代金取立諸般ノ業務ヲ發展セシメ、且ツ一國ノ通過貿易ニモ資ス

ル所アラシムルノ日ハ、蓋シ近キ將來ニハアラサラン、然レトモ倉庫業者及ヒ一般商業社會ノ倉庫ニ期待スル理想ハ、必ラスヤ之ニ在ツテ、現今ノ程度ニアラヌトセハ、今ノ秋ニ當ツテ經濟、法律、實務諸般ノ方面ヨリ、本邦ノ斯業ヲ評臨シ、兼テ歐米ニ於ケル慣習研究ノ資料ヲ供スルハ、必ラスシモ無用ノ業ニアラサルヘシ、稅關ヲ國家ノ一機關トシテ、其職務權限ヲ述フルハ、即チ行政法論ニシテ、是レ亦固ヨリ必要タルニ相違ナキモ、商人トシテ及ヒ經濟學者トシテハ、更ニ之ヲ經濟的、實務的ニ觀察シ、其手續ノ末ヲモ審ニセサルヘカラス、著者ハ特ニ此點ニ重キヲ措キテ説明シ、自ラ商業學的稅關論トシテ一系統ヲ樹立シ、且ツ多少世ニ裨補アルヘキヲ信スルモノナリ。

然レトモ是レ尙ホ商業的倉庫稅關論トシテ、足ラサルヤヲ感スルノ點尠カラス、著者ハ唯之ニ依テ以テ、斯學ノ研究カ銀行、保險、海運ノソレ等ニ比シテ、毫モ下ラサルノ急務タルヲ知ラシメ、傍ラ學者實際家ニ向テ系統的一新知識ヲ供スルヲ得ハ即チ足レリ。

明治四十二年四月下浣

著者識

倉庫論 目次

第一章 緒論	一
第一節 倉庫業ノ意義	一
第二節 倉庫ノ種類	四
第一款 保管貨物ノ種類ニ依ル區別	四
第一項 物產倉庫	五
第二項 家財倉庫	二四
第三項 農具及荷車倉庫	二五
第四項 書類倉庫	二六
第二款 保管ノ方法ニ依ル區別	二六
第三款 經營ノ目的ニ依ル區別	三一
第四款 關稅ノ納否ニ關スル區別	三三
第五款 其他ノ區別	三七

第二節 倉庫ノ沿革	三八
第一款 日本ノ沿革及現狀	三八
第二款 外國ノ沿革	六七
第三節 倉庫ノ利害	七〇
第二章 倉庫ノ業務	七五
第一節 業務ノ種類及會社ノ組織	七五
第二節 貨物ノ保管	八二
第一款 保管ノ意義	八二
第二款 貨物預ケ入手續	八九
第三款 保管貨物	九一
第四款 保管料及其他ノ費用	九三
第五款 保管期間	一三一
第六款 損害賠償	一三四

第三節 倉庫證券ノ發行	一三九
第一款 倉庫證券ノ性質及要件	一三九
第二款 倉庫證券ノ分割及滅失	一五七
第三款 倉庫證券ノ裏書讓渡及質入	一六〇
第四款 貨物ノ出庫	一六八
第四節 倉荷證券	一八四
第五節 禁流通預證券	二〇六
第六節 倉庫ノ賃貸及出保管	二一〇
第七節 火災保險	二二四
第八節 代金ノ取立	二三六
第九節 貨物ノ轉送	二三七
第十節 割引ノ周旋	二二九
第十一節 荷爲替附貨物ノ取扱	二二九

四

第三章 農業倉庫……………三三二

 第一節 農業倉庫ノ意義及特色……………三三二

 第二節 農業倉庫ノ利害……………三三八

 第三節 農業倉庫ノ經營……………三四八

第四章 英國ノ倉庫業……………三五六

 第一節 緒説及入庫手續……………三五六

 第二節 預證券……………三五八

 第三節 『ウエート、ノート』及『ロット、ノート』……………三六六

 第四節 裏書及質入……………三七三

第五章 米國ノ倉庫……………三七三

 第一節 公認倉庫……………三七四

 第二節 冷蔵倉庫……………三八二

第六章 佛、獨、澳其他ノ倉庫業……………三九三

第七章 倉庫ノ經營……………四〇三

 第一節 倉庫ノ位置及構造……………四〇三

 第一款 倉庫ノ位置……………四〇三

 第二款 倉庫ノ構造……………四〇四

 第一項 緒言……………四〇三

 第二項 我邦ノ倉庫……………四〇五

 第三項 米國ノ倉庫……………四〇八

 第三款 積込及積出手續……………四一三

 第一項 我邦ノ米倉出入庫……………四一三

 第二項 米國ノ穀倉出入庫……………四一五

 第二節 倉庫ノ會計……………四一八

第一款	勘定科目	三一九
第二款	帳簿ノ組織	三三二
第八章 保稅倉庫及保稅工場		
第一節	緒說及保管	三三三
第二節	藏置貨物ノ庫移、積戻及運送	三五〇
第三節	輸入稅ノ納付	三五二
第四節	倉庫證券ノ發行	三五七
第五節	私設保稅倉庫	三六二
第六節	保稅工場	三七七
第九章 參考法規		
第一	商法(抄錄)	三七七
第二	保稅倉庫法	三八四

六

第三	保稅倉庫法施行規則	三八九
第四	保稅工場法	三九六
第五	保稅工場法施行規則	三九九
第六	農業倉庫業法	四〇三
第七	農業倉庫業法施行規則	四〇八

附 錄

第一	禁流通貨物預證券
第二	保稅倉庫倉荷證券 <small>(英文ノ分ニテ、和文ノ證券ハ)</small>
第三	橫濱稅關保稅倉庫預證券

—(目次終)—

倉庫論

商學士 小林行昌 著

第一章 緒論

第一節 倉庫業ノ意義

(一) 倉庫業ノ意義 「倉庫」ハ物品ヲ貯藏センカ爲メニ造ラレタル、比較的堅牢ナル建物ノ謂ヒニシテ、或ハ自家ノ收穫物若クハ仕入商品ヲ貯ヘ、或ハ公共的ノ備荒貯蓄ニ充ツルコトアルモ、以下説述セントスルモノハ、是等ノ單純ナル貯藏手段 (Simple storing) ニアラスシテ、營利事業トシテ經營セラル、近代の業務ナリ、即チ倉庫業 (Warehousing) トハ、商人カ營業トシテ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管シ、相當ノ料金ヲ收メテ、其收入ト爲スノ業務、所謂倉庫會社ノ業務、商法第三編第九章第二節ノ倉庫營業ヲ意味スルモノトス。

〔註〕 倉庫 英國ニテハ Dock warehouse 又ハ Dock company 若クハ Warehouse ト稱シ、獨逸語ハ Warenhaus 佛蘭西語ニテハ Magasin généraux ト呼ブ。

一、倉庫業ハ商人ノ營業ナリ。

倉庫業ハ營業ナルカユヘニ、常業トシテ間斷ナク經營スルヲ要ス、時々他人ノ物品ヲ預ルカ如キハ倉庫業ニアラス、又常ニ他人ノ物品ヲ預ルモ、無報酬ナルトキハ倉庫業ニアラス、然レトモ其經營者ハ個人ナルト、會社ナルト、將又組合ナルトト問ハサルモノトス。(但シ農業倉庫ノ如キ非營利ノモノハ、營利業者ニハ許サレズ)

二、倉庫業者ハ他人ノ爲メニ物品ヲ保管ス。

商人カ自己ノ物品ヲ保管センカ爲メニ、其私有倉庫ヲ管理スルハ、固ヨリ倉庫營業ニアラス、必スヤ他人ノ物品ヲ保管スルヲ要ス、次項種類ノ部ニ私有倉庫ヲ加ヘタルハ、倉庫其モノ、分類ナルカ爲メニテ、便宜上ニ出ツ。

三、倉庫業者ハ物品ヲ保管ス。

倉庫カ保管スルモノハ物品、即チ動産ノ一種ニテ、不動産ヲ保管スルモノハ我邦ノ倉庫業ニハアラス、但シ民法ノ寄託契約ハ廣ク物品ヲ保管スルコトヲ認ムルヲ以テ、不動産モ亦保管ノ目的物タルヲ得ヘシ、米國ノ耕地保管(Field Storage)ノ如キハ蓋シ其一例ナリ、尤モ之ハ耕作地其物品ヲ保管スルカ如ク見ユルモ、其實耕作地上ノ農産物ヲ保管スルヲ以テ目的トスルモノナリ。

物品中貨幣、有價證券ノ如キ貴重物品ヲ保管スルハ、性質上銀行ノ保護預ニ適シ、倉庫營業ニ屬セサルヲ當トス、但シ保稅倉庫ハ貴重物品ヲ保管ス。

四、倉庫業者ハ倉庫ニ保管ス。

倉庫ハ普通堅牢ナル建築物ヲ所有シテ、之ニ寄託物ヲ藏置スルヲ當トシ、商法モ亦之ヲ必要トスレトモ、材木、銅、鐵ノ如キハ、必スシモ建物ニ入ル、ヲ要セス、固障物ヲ設クルトキハ倉庫ト謂フヲ得ヘシ。

五、倉庫業者ハ一般ニ流通證券ヲ發行ス。

倉庫ハ他人ノ物品ヲ保管スルモノナルカ故ニ、必スシモ預證券ノ如キ流通證券ヲ發行スルヲ要セサルモ、近世ノ倉庫ハ

一般ニ之ヲ發行シ、法律ハ之ニ物權的效力ヲ附與シテ、賣買、質入ノ便ヲ與フルヲ特色トス、我邦ノ倉庫モ亦預ケ主ノ申込ニ依リテ之ヲ發行スルモノト定ム。

往時商業尙ホ幼稚ニシテ商品ノ數量僅少ニ、取引ノ速度モ亦遅々タリシ時代ニ在ツテハ、商人ハ孰レモ自家ノ倉庫ヲ有シテ商品ヲ貯藏シ、我邦ノ如キハ今日ニ至ルモ、尙ホ其棟數ノ多キヲ以テ榮譽ト爲スノ風アリト雖モ、輒近商業取引大ニ發達シ、貨物ノ聚散頻繁ト爲ルニ從ヒ、商人カ各自倉庫ヲ備ヘテ、取引毎ニ市場ニ運搬スルカ如キハ、煩勞經費共ニ耐フル所ニアラス、殊ニ都會ニ於ケル商業殷盛ナル地域ニ在ツテハ、土地ハ年ト共ニ狹隘ヲ加ヘ、地價ハ益々騰貴シテ、一箇ノ倉庫ヲ設クルスラ容易ナラサルカ如キ有様ナルヲ以テ、貨物ノ集散ニ便ニ、且ツ地價ノ比較的低廉ナル部分ヲ選ンテ、相當ノ倉庫ヲ設ケ、廣ク一般商人ノ依頼ニ應ジテ商品ヲ保管シ、倉庫證券ノ發行、其他ノ業務ヲ營ム者ヲ生スルニ至レリ、而シテ現今倉庫業ハ銀行業、保險業、運送業等ト同シク、一個ノ商業機關トシテ重要ノ地位ヲ有シ、其組織經營ノ如何ハ、實ニ倉庫業者其者ノ休戚ニ關スルノミナラス、延テ一國經濟界ノ隆替ニモ關スヘキモノナルヲ以テ、商法ハ特ニ之カ爲メニ數十條ノ規定ヲ設ケ、又商業學ノ一分科トシテモ大ニ研究セラル、ニ至レリ。

(二)倉庫業ト他ノ業務トノ關係 倉庫業者ハ各種ノ商品ヲ保管スルヲ以テ、農工業者ノ如キ生産者、若クハ商人ノ爲メニ貨物ノ貯藏機關ヲ供スルハ言フヲ俟タサルモ、後ニ述フルカ如ク、銀行ハ其發行ニ係ル證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ行フヲ以テ、斯業ト密接ノ關係ヲ有シ、火災保險會社ハ

其建物並ニ保管貨物ニ對シテ火災保險ヲ附シ、其金額少カラス、鐵道、汽船ノ如キ運輸會社モ亦之カ爲メニ貨物ノ集散、荷役ヲ助クルノ便益ヲ享ケ、取引所ハ倉庫ヲ利用シテ、賣買貨物ノ保管ト受渡トニ便セシムルヲ以テ、倉庫業ノ研究ハ單ニ當業者ニ對シテ必要ナルノミナラス、是等諸種ノ業務ニ從事スル者モ、亦其大要ニ通セサルヘカラス。

第二節 倉庫ノ種類

第一款 保管貨物ノ種類ニ依ル區別

倉庫ハ區別ノ標準ニ依リ之ヲ種々ノ分類ト爲スコトヲ得ヘシ、即チ保管貨物ヲ特定セス、廣ク各種ノ貨物ヲ保管スルヤ否ヤニ依リテ區別スルトキハ、次ノ如ク一般商品倉庫及ヒ特種倉庫ノ二種ト爲スコトヲ得。

(甲) 一般商品倉庫 (General merchandise warehouse) 一般商品倉庫トハ都會地ニ於ケル我邦ノ普通倉庫會社カ行フ如ク、穀物、棉花、織物、金物、藥品、肥料等廣ク各種ノ商品ヲ保管シ、特ニ保管貨物ヲ米穀、小麥、生絲ノ如ク或ル種類ノ商品ニ限ラサルモノヲ總稱ス、而シテ歐米ニテハ一般商品倉庫カ漸次或ルト種ノ商品ヲ主要保管貨物ト爲スノ傾向アリ、斯クテ或ル倉庫ノ保管貨物カ殆ント一商品ニ限ラル、ニ至レハ、即チ特種倉庫ト看做スコトヲ得ルモノトス。

(乙) 特種倉庫 (Specialty warehouse) トハ特ニ或一種類 (若クハ二、三種類) ノ貨物ヲ保管シ、若クハ冷藏倉庫ノ如ク或特別ノ目的ヲ有スル倉庫ヲ總稱シタルモノニシテ、是等倉庫中ニハ我邦ニ於ケル繭倉庫、蠶絲倉庫、農業倉庫、外國ノ棉花倉庫、羊毛倉庫、穀物倉庫等ノ如ク、最初ヨリ特種ノ目的ヲ以テ設立セラレ、從テ當該商品ニ適スル特別ノ構造若クハ設備ヲ有スルモノト、前記ノ如ク一般倉庫中主要保管商品カ一種若クハ二、三種ニ止ルモノヲ含ムモ、以下述フル所ハ主トシテ前者ニ屬シ、且ツ米國及我邦ニ於ケル特種倉庫ニ止ルモノトス。

第一項 物産倉庫

物産倉庫トハ米、麥ノ如キ穀物、棉花、羊毛、煙草、若クハ生絲ノ如キ或種類ノ重要商品ニ限リ専門的ニ保管スル倉庫ヲ總稱ス、其重ナル種類ハ次ノ如シ。

(A) 穀物倉庫 (Grain warehouse) 穀物倉庫トハ主トシテ小麥、大麥、裸麥ノ如キ麥類及米ヲ保管スル倉庫ニシテ、米國ノ穀物倉庫、我邦ノ農業倉庫ノ如キハ其適例ナリ、是等ノ農産物ハ各國民ノ主要食料品トシテ、年内ヲ通シ絶ヘス需要セラル、モノナルニ、其生産時期ハ普通秋季ニ限ラル、ヲ以テ、最モ貯藏ノ必要ヲ見ルモノトス、獨リ小麥ハ世界孰レカノ國ニ於テ、殆ント毎月收穫セラルト雖モ、而モ其四分ノ三ハ六、七、八ノ三箇月間ニ生産セラル、ヲ以テ、之ヲ年内ノ需要ニ充ツル爲メ、如何ニ多數ノ倉庫ニ依リテ保管セラルヘキヤハ、想像ニ難カラサルヘシ、殊ニ

穀物ハ世界至ル所ニ産出セラルト雖モ、國ニ依リ地方ニ依リテ過不足アルヲ免レサルヲ以テ、生産地ニ於テ之ヲ集メ、消費地ニ致サンニハ、必ス倉庫ノ設備ヲ有セサルヘカラス、然ルニ穀物ハ野菜、肉類ノ如キ他ノ農産物ト異リ、性質上能ク保存ニ適スルヲ以テ、各種ノ保管貨物中最モ主要ノ地位ヲ占メ、單ナル貯藏倉庫トシテハ、其起源モ亦最モ古キカ如シ、今米國ニ於ケル穀物倉庫業ノ種類ヲ見ルニ次ノ如シ(米國ニ於テモ、農家カ各自自己ノ倉庫(Farm Granary)ヲ有シテ穀物ヲ貯藏スルヲ常トスルモ、次ニ述フル所ハ、營業的倉庫ナリト知ルヘシ)。

米國ノ穀物倉庫ヲ其設備ノ如何ニ依リテ區別スルトキハ、次ノ三種ニ別ツコトヲ得ヘシ。

(一)定着揚穀倉庫(Stationary grain elevator)ハ後ニ述フルカ如キ特別ノ穀物揚卸機ヲ裝置シ、散荷ノマ、輸送シ來レル小麥等ヲ、其マ、保管スル大規模ノ倉庫業者ニシテ、一八四三年米國「パッファロー」市ニ於テ設立セラレタルヲ以テ其嚆矢トシ、最初ハ牛馬ノ力ヲ用ヒタリシモ、一八四八年「シカゴ」ニ於テ始メテ蒸氣力ヲ應用スルニ至リ、益々其利用ヲ擴張セラレ、從來米國西部ノ小麥ノ三分ノ二ハ小麥粉トシテ東部ヘ輸送セラレタルニ、爾來此割合ヲ顛倒シ、三分ノ二ハ小麥ノマ、輸送セラル、コト、爲レリト云フ。

揚穀倉庫ヲ大別シテ(一)產地揚穀倉庫及ヒ(二)終點揚穀倉庫ノ二種ト爲シ、之ヲ細別スルコト次ノ如シ。

(甲)產地揚穀倉庫(Country elevator)ハ米國ノ穀物生産地方ニ散在シ、集散地ニ於ケル穀物ノ保

管ト荷役トヲ行フモノニテ、農夫ノ持參セル小口ノ穀物ヲ買入レ、之ヲ保管シテ、一車積ニ適スル大口ノ數量ト爲シタル後、直ニ種々ノ買手ニ販賣シ、或ハ他地方ヘ積送スルコトヲ業務トス、即チ我邦ノ農業倉庫ナト、ハ全ク趣ヲ異ニシ、穀物ノ賣買市場兼私有ノ保管設備ニ外ナラサルナリ、其種類ハ次ノ如シ。

(1)獨立倉庫(Independent elevator)トハ何等他ノ會社ト經營上ノ關係ナク穀物ヲ賣買スル倉庫業ニシテ、多ク個人又ハ組合ニ屬スルモノナレト、關係アル營業者、例ハ一般商品、石炭及建築材料、飼糧若クハ肥料ノ商人ノ經營ニ係ルモノ多シ。

(2)沿線倉庫(Line elevator or System elevator)ハ倉庫業者ノ連鎖ノ一ツトシテ經營セラル、モノニテ、始メ一會社ノ鐵道線路ニ沿フテ建設セラレタルヨリ此名アリ、倉庫ノ數ハ普通三十乃至五十ナレトモ、百乃至百五十箇所ノモノモ少カラス、多キハ二百ニ及フト云フ。

(3)製粉倉庫(Mill elevator)ハ製粉會社カ單ニ原料タル穀物(主トシテ小麥)ヲ買入レ、之ヲ貯藏セシカ爲メニ設ケラレタルモノニシテ、大麥ヲ貯藏スルモノナク Malster elevator ト稱ス。

(4)農家倉庫(Farmers' elevator or Co-operative warehouse)ハ産業組合式ノ總テノ倉庫ヲ含ミ、其形式ニハ種々アレトモ、要スルニ(一)沿線倉庫カ穀物買入ノ競争ヲ減シ(二)穀物「トラスト」カ農家ノ正當ナル利益ヲ保障シ(三)獨立倉庫モ沿線倉庫モ、共ニ穀物ヲ買入ル、ニ當リ、其品位ヲ低下シ、其重量ヲ減スル等、穀物商業ニ伴フ種々ノ弊害アリトノ理由ニ因リ、近年漸次其設立ノ増加ヲ見タルモノニシテ、沿線倉庫ハ最近二十五年間其發展ヲ妨ケラレ、農家倉庫カ之ニ代レルモノ、如シ。而シテ此種ノ倉庫ノ平均取扱高ハ他ノ產地倉庫ニ比シテ比較的多ク、聯邦商業委員會カ五箇年ニ互リテ調査セシ結果ニ依レハ、製粉倉庫ノ約二倍、獨立倉庫ノ一倍半ニ上リ、又「シカイ」商業局長ノ說ニ依レハ、同市ニ入荷セル穀物ノ五割六分ハ農家倉庫ヨリ來レリト云フ。

前記ノ如ク產地ノ揚穀倉庫ハ種々ノ別アレト、是等ハ往々兼ネ行ハル、コトアリ、例ヘハ製粉倉庫(或ハ組合倉庫中ニモ)カ沿線式ニ經營シ、若クハ其本業タル原料貯藏ノ外、商業倉庫業ヲモ

行ヒ、即チ一般公衆ノ爲メニ穀物ヲ保管シ、或ハ自己ノ計算ニ於テ穀物ノ賣買ヲ行フコト之アルカ如シ、而シテ各種ノ倉庫中孰レカ多キヤト云フニ、地方ニ依リテ同シカラズ、例ヘハ「ミズシツビー」河ノ東部諸州ノ如キ、比較的古キ穀物ノ生産地方ニハ獨立倉庫多ク、沿線倉庫ハ稀ナレトモ、西部及ヒ北西部地方ニ於テハ、大規模ノ沿線倉庫業カ發達シ、「オクラホマ」及ヒ「コロラド」州ヨリ、北方加奈陀ニ至ル諸州ニ於テハ、沿線倉庫最モ多キカ如シ。

(乙)終點揚穀倉庫(Terminal elevator) 穀物ノ生産地ニ於ケル農家ヨリ産地倉庫ニ集メラレタル穀物ノ中、原料トシテ消費セラル、部分ヲ除ケハ、他ノ消費地ニ輸送セラルヘキモノナルカ、ソレ等ノ穀物カ産地ノ倉庫ヨリ送付セラル、設備ハ即チ終點倉庫ニシテ、聯邦商業委員會ノ解釋ニ依レハ、一箇年千車以上ヲ收納スル倉庫ヲ、終點市場(Terminal market)ト稱シ、現在米國ニ於テ五十二箇所アリ、此市場ニ於テ賣買取引ヲ行フ者ハ(一)製粉業者、飼糧製造業者ノ如キ製造業者、並ニ(二)穀物商人、倉庫業者ヲ含ム荷送人ノ二種ニシテ、前者ハ自己ノ原料用トシテ買入ルルモ、後者ハ利益ヲ獲テ再賣センカ爲メニ買入ル、ヲ常トス、畢竟穀物ノ生産時期ニ於テハ、農家及ヒ産地倉庫ノ收容力ヲ以テシテハ、到底是ヲ收ムルコト能ハサルヲ以テ、其過剩部分ハ主トシテ此種ノ倉庫ニ集ルモノトス、而シテ現在此種ノ倉庫業者ノ利益ハ多ク穀物ノ賣買ニ依ルモノニシテ、一般農家ノ爲メニ保管セラル、分量ハ比較的少キモ、一八八五年頃マテハ終點倉庫ハ總テ鐵道會社ノ經營ニ屬シ、其後一八九五年頃マテ私人ノ經營ニ移リ、此間ハ主トシテ公衆ノ爲メニ

保管ヲ行ヒタルナリ、其後十年乃至十五年間ハ依然一般ノ保管ニ從事シタルモ、漸次穀物商人ノ掌裡ニ歸シ、現在ニ於テハ、積替地及輸出地ニ存在スル倉庫ヲ除ケハ、全然公衆ノ爲メニ保管スルモノ、極メテ少數ト爲ルニ至レリ。

(一)浮動揚穀倉庫(Floating elevator) 此種ノ倉庫ハ船舶ニ荷物移送機(Conveyers)、揚卸管(Discharging spouts)ノ如キ荷役ノ設備ト動力室トヲ有シ、穀物以外種々ノ商品ヲ輸送スル汽船ニシテ、定着倉庫ノ所在地ニ廻漕スルヲ不便トスル船舶ニ對シ、穀物積込ノ便宜ヲ供スルモノトス、即チ汽車若クハ舢舨ヨリ穀物ヲ受取リタル浮動倉庫ハ、本船ノ外側ニ來リ、内側ニ於テ他ノ商品ヲ積込マシメツ、其「スバウト」ニ依リ、船艙ヘ穀物ヲ注入スル裝置ナリ、而シテ米國ニ於テモ紐育「ファイラデルフィア」、「ボルチモア」ノ如キ大西洋沿岸ノ二、三ノ港ニ在リテハ、穀物ヲ「バラスト」トシテ積込ム習慣ナルヲ以テ、此種ノ設備ヲ必要トスルモ、太平洋岸ノ港ニ於テハ、普通「フル、カーゴ」ニシテ「バラスト」ノ必要少ク、且ツ穀物ハ袋入ナルヲ以テ、殆ント其使用ヲ見サルカ如シ、但シ斯ル倉庫ハ收容力モ少キモノニテ、専ラ船移ノ爲メニ使用セラル、モノナレハ、倉庫ト稱スルヨリ寧ロ「浮動荷役機」ト稱スルヲ當レリトス。

(三)平家建穀物倉庫(Flat grain warehouses) 營業的倉庫ハ一般ニ揚穀機ノ設備ヲ有シ、自然散荷ノマ、混合保管ヲ行フヲ常トスルモ、米國太平洋岸ノ諸地方ニ於テハ今尙ホ袋入ト爲ス習慣ナルヲ以テ、「エレヴェイター」ニ依ラス、從來ノ如キ倉庫ヲ使用スルモノ多キカ如シ(約二百ト稱セ

ラル)。嘗テ鐵道會社ハ内地ノ各地方並ニ海港ニ於テ「エレグエイター」ヲ設ケタルコトアルモ、當時穀物輸送ノ船舶ハ帆船ニシテ、散荷ヲ再ヒ袋入レト爲サ、レハ、之ヲ積込ムコト能ハサルカ如キ不便アリタルヲ以テ永續セス、現在海岸ノ都市中ニハ、一般ノ希望ニ依リ、「エレグエイター」ヲ設クル者アレトモ、之ヲ利用スルモノハ、主トシテ「ロッキ」山ノ東部地方ヨリ輸出ノ目的ニテ積送サル、穀物ニ限ラル、カ如シ、然レトモ「バナマ」運河開通後ハ、穀物ノ散荷積込ノ設備ヲ有スル汽船ニ依リテ輸送セラル、モノ増加セル爲メ、幾分袋入輸出ノ必要ヲ減シタレトモ、前記ノ理由以外、氣候ト品種ヲ區別シ得ル點ヨリ、今尙ホ袋入ヲ利トスル者少カラサルカ如シ。

袋入ヲ便トスル理由 (一)歐羅巴ノ諸港ヨリ太平洋岸ニ至ル帆船力、返リ荷トシテ穀物ヲ積取ルコト(前記)(二)米國ノ開地方ニ於テハ夏期降雨ナキ爲メ、袋入ノマ、野外ニ積置クコトヲ得、假令倉庫ニ託スルモ、開放セル「ブラツト、フオーム」カ、精々平家建ノ穀物倉庫ニ收容スルコトヲ得ルコト(三)穀物ハ農家倉庫其他ノ倉庫ニ保管中乾燥スルモノナルニ、賣買ハ普通重量ニ依ルヲ以テ、袋入ト爲シ海岸ノ倉庫ニ貯藏スルトキハ濕氣ヲ吸收スルノ利アリ(四)農家ハ自家ノ生産品ヲ他ノ品物ト區別スルコトヲ希望シ、羊毛又ハ棉花ノ如ク荷印若クハ商標ヲ附スルヲ以テ、散荷ノ混合保管ヲ喜ハサルコト(五)エレグエイターニ在ツテモ、必スシモ混合保管ヲ行フモノトハ限ラス、殊ニ劣等品ハ特別ノ「ビン」ニ收メルコトアレト、多クハ散マ、混合ス(五)太平洋沿岸ノ穀物ハ、其地質上ヨリ品種區々ナルコト、從テ宛モ我邦ノ倉庫力米穀ヲ保管スルカ如ク、等級ヲ附セス、所有主毎ニ低キ平家ノ倉庫ニ荷積スレハ足ルコト(六)袋入ノ穀物ハ其保管料及保險料ハ些々タルモノナレトモ、袋(黃麻)代ハ一袋ニ付往々八仙(二)「ブツシエル」即チ三斗九升餘ヲ以テ一袋トス(三)ニ上ル、其上ニ荷役賃モ亦一袋一仙内外ノ割増ヲ要ス、然レトモ袋入ノ穀物ハ市價高キヲ以テ、少クモ袋代ヲ補フニ足ルコト(袋ハ買手ノ餘得トナル)

前記ノ如キ種々ノ理由ニ因リ、現今ニ於テモ尙ホ袋入ト爲ス者多キヲ以テ、組合倉庫ハ散荷保管

カ特ニ荷役賃ノ節約ニ於テ有利ナルヲ説キ、極力之ヲ勸奨シ、二三ノ都市例(ハ「アストリア」「ポートランド」及「シアトル」ノ如キハ、其港務部ニ於テ、散荷保管ノ揚穀倉庫(各百萬「ブツシエル」ノ收容力ヲ有ス)ヲ建設シテ、之ヲ獎勵スルニ至リタルヲ以テ(尤モ袋入ノ保管部トモ聯絡ス)早晚散荷保管ニ推移スヘキモ、「ヘアリング」ノ説ニ依ルモ、ソハ蓋シ近キ將來ニハ現ハレサルヘシ。

米國ノ穀物倉庫ハ更ニ經營ノ目的ヨリ別チテ(一)公共倉庫及ヒ(二)私的穀物倉庫ノ二種ト爲スコトヲ得ヘシ。

(一)公共穀物倉庫(Public grain warehouse) 公共穀物倉庫トハ農家、商人其他一般人ノ爲メニ穀物ヲ保管シ、自ラ賣買ヲ行ハサルモノヲ謂ヒ、之レニモ亦專ラ公衆ノ穀物ヲ保管スルモノト、自己ノ穀物ヲ保管スルト同時ニ、他人ノ穀物ヲモ保管スルモノトノ別アリ、後者ノ中主トシテ自ラ穀物ヲ賣買スルトキハ、寧ロ私的倉庫ト稱スヘキモノナレトモ、現今米國ニ於テハ此種類ノ穀物倉庫却テ多キヲ占メ、五十二箇所ノ終點穀物倉庫カ公衆ノ爲メニ保管スル穀物ハ、其收容力ノ一割八分ニ過キス、而モ法律上ニ於テハ「公共倉庫」ノ資格ヲ有スルモノ遙ニ此割合ヲ超ユルト云フ、從テ倉庫ノ公私ノ區別ハ殆ント無意義ト爲リ、取引所ニ於ケル賣買貨物ノ受渡ニ供セラル、倉庫證券ヲ發行シ得ル所謂認定倉庫(Regular grain warehouse)ノ如キモ、公共的倉庫ニ比シ、私的倉庫却テ多キヲ占ムル状態ナリ、畢竟穀物商人ニ屬スル倉庫ニシテ、自己ノ保管機關タルモノ

ニテモ、公共倉庫タル資格ヲ得ルニ妨ケナキト、他人ノ穀物ノミヲ保管スルトキハ、收益少キ爲メニシテ、「イリノイス」州ヲ始メ、其他ノ諸州ニ於テモ、自己ノ穀物ハ、特別ノ貯藏函ヲ以テセサレハ、之ヲ保管スルコトヲ得サルコト、爲セシモ、或ハ他人ノ名義ト爲シ、若クハ市中ノ證券ヲ買入レテ之ヲ逃避シ、法規ノ定ムルカ如ク實行セラレスト云フ。

〔註〕公共倉庫ノ條件 一八七一年「イリノイス」州ニ於テ始メテ公共倉庫ノ意義ヲ定メ、他ノ諸州カ之ニ倣ヒタル時代ニ於テハ、「公共穀物倉庫トハ報酬ヲ收メ、散荷ノマ、他人ノ穀物ノ混合保管ヲ行フ者」ナリシカ、爾來者シク其意義ヲ改メ、現在ニ於テハ統一セル解釋ナルモノナク、加フルニ(一)收容力(二)所在都市ノ人口(三)河ニ臨ムヤ鐵道沿線ニ在ルヤ等ノ條件ヲ附スルニ至レリ。

米國倉庫法 (U. S. Warehouse Act) ハ法規上公私ノ區別ヲ明定セサルモ、認可倉庫ハ公共的ノモノニ限ル、而シテ重ナル穀物生産地方ノ諸州ハ公共倉庫タルニ必要ナル條件トシテ、次ノ如キ事項ヲ定メ居レリ。

- (1) 認可……ハ多ク強制的ニシテ、期限ハ一年多ク、次テ二年及無期限ナリ、認許料ハ之ナキモノアレト、一箇年二弗、五弗等ヲ收ムルモノ多シ。
- (2) 監督吏員……穀物及倉庫監督官、農業委員、公益事業委員、鐵道委員等區々ナリ。
- (3) 法定ノ商品 (一)穀物 (Grain) 多キモ又(二)穀物及其生産物、米、豆類、亞麻仁(三)小麥、玉蜀黍、裸麥、ライ麥、大麥、亞麻仁、獨逸小麥ノ如ク列舉シタルモノアリ。
- (4) 擔保金額……ハ或ハ收容力ニ依リ、或ハ監督官ノ指定ニ依ルモ、最低額ト最高額ヲ定メタルモノ少カラス、例ヘハ五千弗乃至五萬弗ノ如シ。
- (5) 均等待遇……諸州舉テ、料金及取扱ノ差別待遇ヲ禁シ居レリ。
- (6) 料金ノ公表及制限……差別待遇ヲ防ク爲メ、料金表ヲ公表セシメ、年一回之ヲ監督官ニ提出シ、往々所定期間其變更ヲ許ササルモノアリ、州ニ依リテハ荷役費、看買費、第一期ノ日數、第一期後ノ保管料ヲ制限シタルモノアリ。

(7) 倉庫證券ノ登録……「イリノイス」外四州ニ於テハ、終點倉庫ノ證券ヲ發行後一定時間内ニ當該官廳ニ提出セシメ、其證券ト署名ヲ獲タル後使用セシム、出庫ノ際ニ於テモ亦相當ノ裏書ヲ爲シテ登録官ニ差出ストキハ、官吏ハ取消ノ證印ヲ施シタル後検査済ノ指圖書(倉庫ニ於ケル検査官宛ノ)ト共ニ倉庫ニ返付スルヲ以テ、然ル後積出シ得ル規定ナリ、同様ノ登録ハ亦取引所ニ於テモ行ハルル場合アリト云フ。

(8) 保管期間……穀物寄託者中ニハ、市價ノ騰貴ヲ待ツ爲メ、往々三年ニ亙リテ出庫セサル者アリタルヲ以テ、州ニ依リテハ一箇年ニ制限シタルモノアレト、必スシモ出庫ヲ要セス、當事者ノ意思ニ依リ切換ヘ得ルコト、爲スモノ多シ。

(9) 保險……火災(及颶風)ニ對シ、全價格ノ保險ヲ附スヘシト爲スモノ多シ。

(10) 倉庫證券ノ要件……ハ一般ニ統一倉庫證券法ニ依ル。

(11) 検査及看買……穀物ノ検査及格付ニ關シテハ、各州一様ニ、公ケノ検査及看買ヲ經サルモノヲ入庫シ、且ツ之ヲ經サルモノヲ出庫スルヲ禁ス。

(12) 收容量ノ報告……一般ニ毎年ノ出入庫高、期末ノ殘高ヲ報告スルコト、シ、毎月ノ報告ヲ徵スルモノモ少カラス、終點倉庫ニ在ツテハ、毎日及毎週土曜日ニ於ケル各種ノ事項ヲ報告スルノ義務アリ。

(13) 損害賠償ノ責任……ハ多ク一般ノ慣習法ニ從ヒ、倉庫業者ノ懈怠ニ因ル損害ハ賠償ノ責任アルモ、貨物ノ性質ニ因ルモノハ其責ヲ負ハス、酸酵、霉、虫害等ノ爲メ、賣品タルニ適セサル處アレハ、之ヲ當事者ニ通知スルノ義務アリ、但シ是等ノ責任ハ州ニ依リ少差アルヲ免レス。

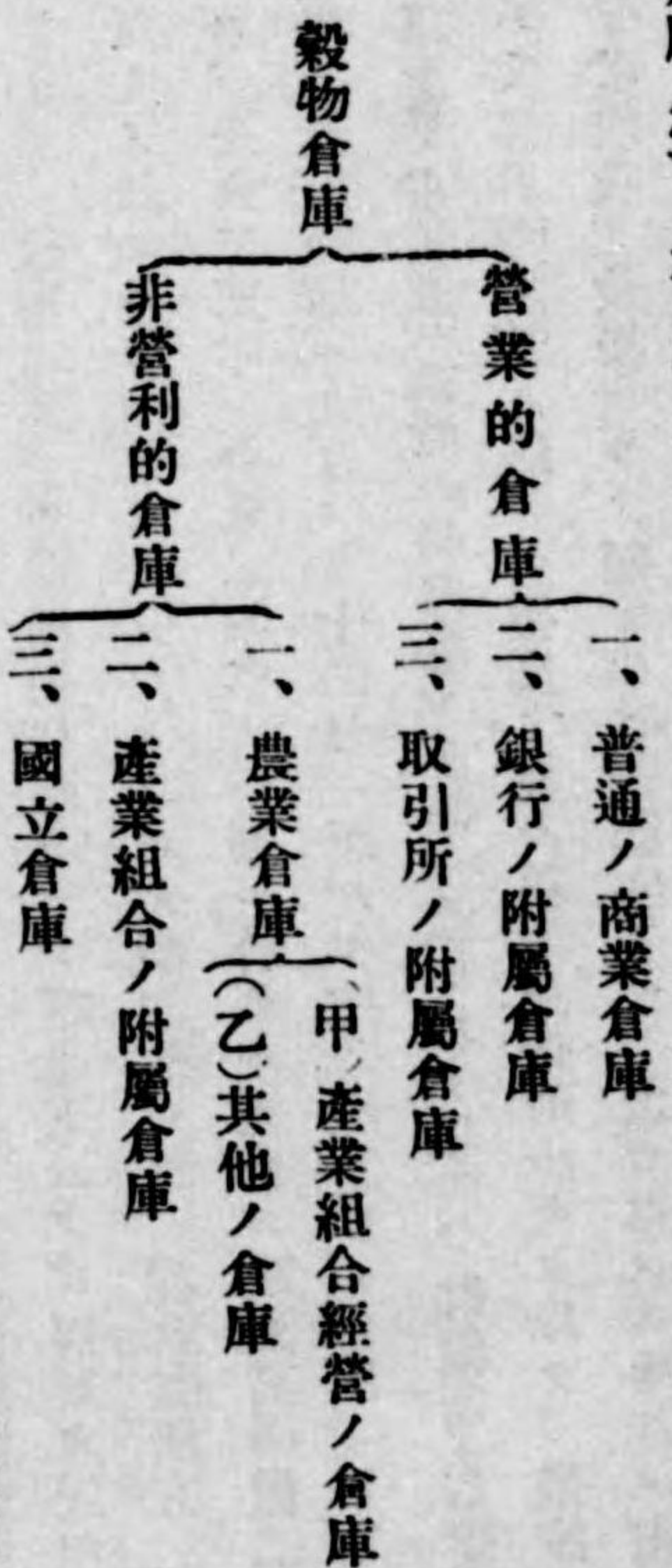
(二) 私有穀物倉庫 (Private Grain Warehouse) ハ主トシテ穀物商人カ穀物ノ賣買ヲ行ハンカ爲メニ經營スル倉庫ニシテ、米國ニ於ケル穀物倉庫ノ多數カ之ニ屬スルコト既述ノ如シ、米國ノ一部地方ニ於テハ、農家ノ私有穀倉 (Farm Granaries) ヲ營業的ノ倉庫ト看做シ、所有者ヲ管理者ト見テ、正式ノ倉庫證券ヲ發行セシメ、之ニ依リテ、穀價低落ノ際ニ於ケル金繰ノ便ヲ得セシメントスル運動アリ「アイダホ」「アイオア」其他ノ三州ニ於テハ、之カ法規ヲ定メタルモ、元來斯ル方法ハ

倉庫業ノ意義ニ反シ、且ツ極メテ不安ナルヲ以テ、殆ント效力ヲ現ハサ、ルカ如シ。
米國ニハ小麥其他ノ麥類、玉蜀黍、米等、普通ノ穀類ヲ保管スル倉庫ノ外、特種ノ穀物トシテ(一)はじけ玉蜀黍 (Pop-corn)、(二)たうもろこし (Broom-corn)、(三)ひまわり種子、(四)落花生等ヲ保管スルモノアリ、枯草及藁ハ固ヨリ穀物ニハアラサレトモ、是亦便宜上穀物トシテ、其倉庫(商人ノ私有ニ屬シ、又ハ鐵道會社ニ依リ、若クハ之カ爲メニ經營セラル)ヲ有ス。

獨逸ノ穀物倉庫 ハ多ク農民本位ノ産業組合の倉庫ニシテ、其建築費ニ對シテ公費ノ補助ヲ受クルコト、尙ホ我邦ノ農業倉庫ノ如シ、而シテ或ハ穀物販賣組合ノ附屬倉庫ト爲リ、或ハ單ニ倉庫組合トシテ獨立スルモノアリト雖モ、主トシテ組合員ノ寄託穀物ヲ有利ニ販賣スルヲ以テ目的トシ、同時ニ金融部ヲ設ケテ擔保貸付ヲ行フヲ常トス、其賣買方法ハ(一)時價ニ依リ現金ニテ買取り、之ヲ大量ト爲シテ販賣シタル後、損益ヲ組合員ニ分配スル方法ト(二)手数料ヲ徵收シテ委託販賣ヲ行フ場合ノ二種アルモ、(一)ハ混合保管ニ適シ、且ツ販賣上ニ於テモ有利ナルヲ以テ、普通此方法ニ依ルモノ多キカ如シ。

我邦ノ穀物倉庫 從來產地ノ農家、若クハ米穀商人カ自己ノ米穀ヲ貯藏センカ爲メ設ケタル私有倉庫ハ、今尙ホ到ル處ニ其存在ヲ見ルヘク、此外一部ノ地方ニ米券倉庫ト稱スルモノアリシカ、大正六年七月農業倉庫法制定以來、之ニ依リテ設立スル者増加スルニ至リタルコト、沿革ノ部ニ述フルカ如シ、而シテ是等ノ倉庫ノ外、國立ノ穀物倉庫並ニ營業倉庫之アルヲ以テ、我邦ノ穀物

倉庫(專ラ農産物倉庫ト稱スル方適當ナリ)ヲ分類スルトキハ、次ノ如ク別ツコトヲ得ヘシ。



〔註〕營業的倉庫 ハ主トシテ都市ニ在ル倉庫會社ニシテ、保管料ヲ收メ、銀行貸付ノ機關ヲ供シ、且ツ荷役ヲ行フヲ目的トス、此中商業都市ニ在リテ他ノ商品ヲ保管スル旁ラ、米穀ヲ保管スルモノト、農業地方ニ在リテ主トシテ米穀ヲ保管シ、之ヲ自ラ貸出ヲ行フモノトノ別アリ、銀行ノ附屬倉庫トハ例ヘハ秋田縣下ノ倉庫ノ如ク、殆ント銀行業者ノ經營ニ係リ、多ク擔保ニ供セラル、米穀ヲ保管シ、時ニ地主ノ寄託ヲ受クルカ如キモノヲ云フ(大正十年ノ現在ニ依レハ、此種ノ倉庫三十、棟數九十一、建坪四、〇九六坪、入庫高三四五、〇〇〇俵ニ及ヘリ)。山形縣酒田、鶴岡ニ於ケル倉庫中ニハ取引所附屬ノモノアリ、米穀ノ受渡及品種ノ改良ヲ圖レリ。

非營業的倉庫 我邦ニ於テ一般ニ農業倉庫ト稱セラル、ハ、農業倉庫法ニ依ル特別ノ倉庫ニシテ、沿革ノ部ニ於テ述フルカ如ク、主トシテ産業組合ニ依リテ經營セラル、モノナレトモ、其ノ外農會、公益法人若クハ町村ニ依テ經營セラル、モノアリ、利用者ハ組合員タル地主又ハ小作人ナレトモ、之ヲ買入レタル商人モ亦保管期間中ハ之ニ寄託スルコトヲ得(大正十五年ノ改正ニ依リ、販賣組合又ハ其聯合會カ販賣スル商ヲ保管スル、農林省指定ノ販賣組合聯合會ノ經營ニ係ルモノハ、因リ穀物ヲ保管スルコトヲ得ス)。

産業組合ハ農業倉庫法ニ依ル倉庫ヲ經營スル外、各種ノ産業組合カ其本領タル貸付、販賣、購買等ヲ行フ爲メ、附隨業務トシテ倉庫ヲ建設シ或ハ組合員ヲシテ、之ヲ利用セシムルコトアリ、即チ次ノ如シ。

- (一)信用組合 カ擔保トシテ保管スル米穀ヲ藏置キスル場合
 - (二)販賣組合 カ販賣スルマテ貯藏シ、或ハソレマテ金融ノ便ヲ供シ、若クハ加工ノ必要上倉庫ヲ設ケル場合
 - (三)購買組合 カ購入品ヲ貯藏シ、又ハ加工スル間保管スル場合
 - (四)利用組合 カ組合員ヲシテ利用セシメ、又ハ加工スル間之ヲ貯藏スル場合
- 國立倉庫ハ「米穀法」ニ依リ買入レタル米ヲ保管セシムル爲メ、農林省方設立シタルモノニシテ、此外營業倉庫中或モノヲ指定シ、之ニ保管ヲ託スルコトアリ。

(B)棉花倉庫 (Cotton warehouse) 米國ニ於ケル棉花ノ主要産出地ハ其東南部ノ十二州ナルヲ以テ、棉花倉庫モ亦多ク此ノ地方ニ在リ、一九二三年ノ調査ニ依レハ、繰棉壓搾倉庫 (Cotton compress storage) ノ數約二萬、營業棉花倉庫四千ヲ超ユト云フ、而シテ近年棉花ノ販賣組合カ棉花問屋、仲買人ノ如キ仲介商人ニ代ラントスルノ傾向著シク、從テ其所有、若クハ借入ニ係ル倉庫モ少カラス、一九二三年—一九二四年ノ一期ニ於ケル組合ノ販賣高一億二千萬弗ニ上リタリ。

棉花ノ産出時期ハ九月ヨリ十二月ニ至ル年内ノ四箇月ニシテ(十月十一月ノ二箇月最モ多ク、四割以上ヲ占ム)其消費ハ毎月殆ント均一量ナルヲ以テ、貯藏所ノ必要最モ大ナルハ勿論ナレト、棉花ハ寒熱、雨露等ノ爲メニ損傷ヲ蒙ル程度比較的少キヲ以テ、農家モ亦地方ノ倉庫モ、繰棉所モ總テ其取扱ヲ放漫ニシテ顧ミサルノ弊害アリ、之カ爲メニ生スル損害、毎年八千萬弗ヲ下ラスト稱セラル、是ニ於テ諸州ノ政廳ハ適當ノ保管方法ヲ獎勵シ、據テ以テ、格付ノ不完全、目減、火

災、雨露ノ損害、見本費用、保険料、金利等ノ損失ヲ防クコト、爲セリ、米國ノ倉庫法ハ主トシテ棉花倉庫ノ改良ヲ促シ、農家ノ利益ヲ圖ランカ爲メニ制定セラレタルモノニシテ、諸州モ亦之ヲ標準トシテ種々ノ規定ヲ設ケルコト、爲セリ。

棉花倉庫ノ效益中著シキハ前記ノ損傷ヲ防ク外、壓搾、格付、金融ノ三者ナリ。

- (1) 壓搾……棉花カ摘取セラレテ、繰棉所 (Ginney) ニ送ラレ、此工場ニ於テ棉花ノミト爲スモ、其マ、ニテハ嵩張リ、輸送及保管ニ適セサルヲ以テ、之ヲ「ツツク」ノ袋ニ入レテ壓搾所 (Cotton compress companies) ニ送付ス、壓搾所ハ獨立ノモノ、外、鐵道會社ノ所有ニ屬スルモノモアレハ、又倉庫會社ニ屬スルモノアリ、鐵道會社カ壓搾セサル棉花ヲ引受ケルトキハ、特ニ壓搾ヲ要セサル旨ヲ申出タル場合ノ外、適宜之ヲ壓搾シ、其料金ハ之ヲ運賃中ニ包含セシム、集散中心地ニ在ル倉庫會社ハ壓搾會社ヲ兼ヌルカ、又ハ之ト親縁ヲ有シ、相當ノ壓搾料 (例ハ一俵ニ付七十五仙) ヲ收メテ壓搾シタル後保管スル習慣ナリ、而シテ棉花カ栽培者ノ所有ニ屬スル間ハ、格付之ナキヲ以テ、棉花問屋其他ノ商人若クハ販賣組合方之ヲ蒐集シ ("Concentration")、繰棉ノ長サ其他ニ依リテ品質ヲ一定シタル後、内國ノ紡績會社ニ送り、或ハ外國ヘ輸出シ、若クハ取引所ニ於テ販賣スル順序ナリ。
- (2) 格付……從來棉花ノ品質検査法ニハ、買方カ一包裝ヲ三箇所切リテ見本ヲ取出ス習慣アリ、第二、第三ノ取引ニ於テモ亦此方法ニ依ルヲ以テ、農家其他賣方ノ失フ所少カラス (之ヲ City cotton crop ト呼ブ、「テキサス」州ノミニテモ、毎生産期ノ數量十萬俵ヲ超エ、米國農家ノ損害一箇年七千五百萬弗ニ上ルト云フ) 即チ有力ナル倉庫會社ハ此弊害ヲ除カンカ爲メニ相當ノ検査員ヲシテ検査セシメ、其見本ニ番號ヲ附シテ見本室ニ陳列シ、或ハ格付證明書 (重量證明書ト共ニ) ヲ倉庫證券ニ添付スルトキハ、之ヲ以テ取引所、紡績會社等ヘ適法ニ賣渡シ得ル方法ヲ採ルコト、爲セリ。
- (3) 金融……米國ノ棉花ハ大部分單一收穫法 (One-crop system) ニ依リ、農家ハ其賣上金ヲ唯一ノ收入ト爲スモノナルニ、年末收穫時期ニ於テハ、銀行、棉花問屋、肥料商等ノ借金ヲ支拂フ外、地主 (商人カ地主ヲ兼ヌルコトアレハ、又商人カ地主ノ代表者ト爲リ、土地ヲ供給シ、住家、牛馬、其用具、飼糧、種子、肥料ノ半額ヲ供給シテ收穫ノ二分ノ一ヲ收メ) (Half-and-

half system) 或ハ土地、住宅、及肥料ノ四分ノ一ヲ供給シテ收穫ノ四分ノ三 (Share-raising basis or three-fourth system) 若クハ三分ノ二ヲ收ムル習慣アリ、前者ノ場合ニ於テハ監督嚴重ナルヲ以テ、宛モ雇人ノ如キ觀アリ、此外貸付制度モアリテ現金又ハ棉花ノ一定量ヲ支拂フモノアレト、是ハ比較的少シト云フ) へ納ムル棉花モアルヲ以テ、農家ハ舉テ販賣ヲ急ク傾向アリ、市價ノ暴落ヲ促スノミナラス、之カ爲メ農家ハ更ニ翌年ノ收穫ヲモ擔保ニ差入ル、ノ窮境ニ陥リ、商人ハ此窮境ニ乘シテ、棉花ヲ低廉ニ買入ル、ノ習慣ナルヲ以テ、倉庫業者ハ完全ナル倉庫ニ保管シテ保管料ヲ低減セ、信用アル倉庫證券ヲ發行シテ、以テ斯ル弊害ヲ減少スルノ必要アリ、棉花產出地方ニ於テハ勿論、聯邦準備局ナトニ於テモ、其必要ヲ力説スルモ、未タ實現ヲ見ルコト能ハサルカ如シ。

從來產地ニ存在スル倉庫ハ一般ニ不完全ニシテ、稍信用アルモノハ產地ト隔リタル都市ニ存在スルヲ以テ、自然商人ニノミ利用セラル、コト、爲ルナリ、產地倉庫ノ缺點ハ(一)建築不完全ニシテ殊ニ防火設備ニ缺點アルヲ以テ、火災保險料法外ニ高キコト(二)經營法不完全ニシテ荷役賃高キヲ以テ、保管費用非常ニ多キコト(三)倉庫ノ責任ニ缺點アリ營業法不完全ニシテ、證券ノ約款モ亦不充分ナルヲ以テ、證券ノ擔保價值乏シク、自然貸出利率高キコト等ニシテ、農家カ之ヲ利用セサルハ寧ロ當然ナリト謂フヘシ、尙ホ(四)農家ノ棉花ハ不代替性ノモノトセラレ、普通ハ每俵ニ對スル各別ノ倉庫證券 (Single-bale receipt) ヲ發行スルコトモ、亦流通ヲ妨クル一因ナルヘシ、問屋、輸出商其他ノ仲介商人ハ同一品質ニ屬スル棉花ノ單俵證券ヲ綜合シ、之ヲ複俵證券 (Multiple bale receipt or Bolek receipt) ト爲スコトアレト、一般ニハ單俵證券ヲ便ト爲スコト云フ。

(C)羊毛倉庫 (Wool warehouse) 米國ニ於ケル羊毛ノ產出額ハ其消費額ノ約二分ノ一ナリト云ハ、其數量モ少カラサレトモ、其種類頗ル雜駁ニシテ分類、格付上ノ困難少カラサルヲ以テ、羊

毛ノ倉庫業ハ比較的發達セサルカ如シ、然レトモ農家ニシテ袋入トシテ自己ノ農舎ニ貯ヘ、或ハ雨覆ヒヲ施シテ屋外ニ放置スルカ如キ者ノ外ハ、孰レカニ藏置スルノ必要アリ、且ツ羊毛仲買商ヨリ前借ヲ餘儀ナクセラル、爲メ、其意ニ任セテ買取ラル、ノ缺點アリタルヲ以テ(殊ニ「ミヅリ一河」以西ノ小口牧羊者ニ多シ)近年產地ノ集散地ニ於テ専門業者ノ外鐵道會社、產業組合等カ、適當ノ倉庫ヲ建設スル計畫アリテ、既ニ實行シタルモノアリ、又「ボストン」「フィラデルフィア」ノ如キ消費都市ニ於テモ亦之ニ倣ヒ、紐育市ニ於テハ羊毛取引所ヲ創立スルノ案アリシカ大體ニ於テ失敗ニ終リ、單ニ保管所ヲ供給スルニ止リ、信用アル倉庫證券ヲ發行シテ、銀行ヨリ貸出ヲ求ムルコト能ハサルカ如シ、一九一六年ノ聯邦倉庫法ハ此種ノ倉庫ヲシテ、穀物、棉花、若クハ煙草ノ如キ倉庫ト同等ノ地位ニ進メンコトヲ圖リタルモ、依然格付ノ困難ト重量區々ナル爲メ失敗ニ歸セリ、但其後四年ヲ經テ農務省ノ調査委員會カ試驗的ニ羊毛ノ格付ヲ定メ、其結果一九二三年ノ夏頃公定標準ヲ定メテヨリ以來、州ニ於テモ亦之ヲ採用シ、農家ノ組合、大倉庫中之ヲ採用シタルモノアリ、漸次波及セラル、傾アルヲ以テ、將來ハ斯業ノ發達ヲ促スコト、爲ルヘシ。

羊毛倉庫ハ(一)產地ニ在リテ販賣ヲ待ツ者ノ爲メニ保管スルモノト、(二)東北部ノ都市ニ在リテ内地產ノ羊毛並ニ輸入ノ羊毛ヲ保管スルモノトノ別アリ(輸入品ノ七割ハ「ボストン」ニ入ル)。產地ノ公共倉庫ハ多ク鐵道會社ノ經營ニ係リ、主トシテ商人カ羊毛ヲ買集ムル爲メニ利用セラレ

自カラ賣買市場ヲ供ス、而シテ地方ノ銀行 (The sheep banks) ハ倉庫ノ保管セル羊毛ニ對シテ貸付ケサルニアラサレトモ、ソハ單ニ附近ノ銀行カ證文差入人ノ信用ニ依リテ行フモノニ過キサラヲ以テ、例外ノ場合ノ外、未タ聯邦準備銀行ノ再割引ヲ求ムルニ至ラスト云フ。

〔註〕羊毛保管上ノ注意 羊毛ハ棉花ノ如キ可燃性ヲ有セサルヲ以テ、棉花ノ如キ不斷ノ注意ヲ要セス、火災保險料モ建物ノ料率ニ同シ、而シテ羊毛ハ適度ノ濕氣ヲ要スルモノナルニ、往々乾燥ニ過クル爲メ蟲害ヲ蒙ル缺點アリ、殊ニ種々ノ羊毛ヲ保管スル倉庫ニ此弊多ク、普通ノ倉庫ニ於テハ二箇年ヲ越ユルトキハ蟲喰ヲ免レスト云フ、羊毛保管ノ倉庫ハ一種特有ノ臭氣ヲ帶フルニ至リ、其保管場所ニ他ノ商品ヲ藏置スルトキハ、之ニ附着スルヲ常トス。

(D) 煙草倉庫 (Tobacco warehouse) 米國ハ世界ニ於ケル主要ナル煙草生産地ナルト同時ニ、亦主要ナル輸入國ナルヲ以テ「キユバ」、「ポートルコ」、比律賓、「スマトラ」等ヨリ生産地ト輸入地トニ幾多ノ倉庫ヲ有ス、然レトモ生産地ノ農家ハ、自ラ煙草ヲ乾燥セシムル小舎 (Curing barn) ヲ所有シテ、之ニ貯藏スルヲ常トシ、之ヲ販賣セントスル場合ニ、都市ノ倉庫ニ持込ム習慣ニシテ、是等ノ倉庫ハ貯藏ノ任務ヨリモ寧ロ検査所、兼販賣所タルノ觀アリ、而シテ煙草ヲ葉束ノマ、販賣セントスルトキハ、其マ、荷車積ト爲シテ、葉賣販賣倉庫ニ庫入レシ、糶賣セラル、モ、汽車又汽船ニ依リテ他地方ニ輸送セントスル場合ニハ大樽入ト爲スヲ常トス、從來煙草ノ賣買ニ關シテハ栽培者ト買手トノ間ニ爭議ヲ生シタルコト少ラス、遂ニ非賣同盟ヲ組織シ、煙草ヲ全滅シ倉庫ヲ燒打シタルコトサヘアリタルヲ以テ、一九二〇年頃ヨリ大規模ノ販賣組合ヲ組織セル地方アリ、農家ヨリ葉賣ヲ受取りテ之ヲ検査シ、適當ノ格付ヲ附シテ樽入トシタル後、販賣シ、又ハ

保管スルコト、爲セシカ、是等ノ組合カ一九二三年ニ於テ販賣セシ數量ハ六億封度ニ達シ、全米產出額ノ二分ノ一ヲ占メタリト云フ。

而シテ輸入都市ノ煙草倉庫ハ各國ヨリ輸入セラル、種々ノ荷造及内容ノ煙草ヲ適當ニ保管スルモノナルカ、其規模頗ル尨大ニシテ、「リッチモンド」、「ビーターズバーグ」等ニ於テハ、十「エイカ」ノ面積ヲ有スルモノアリト云フ。

煙草ノ倉庫證券ハ一樽又ハ一函毎ニ發行スルモノ多ク、^{ブロック・レシット}集合證券ハ比較的少キカ如シ、是レ煙草ノ品質區々ナルヲ以テ、若シ集合證券ト爲ストキハ、各荷印ノ年度、種類、品質、數量等ヲ記載シタル證券ヲ添附スルノ必要アリ、極メテ煩雜ト爲ルカ爲メナリ (但シ保管ハ同種類ノモノト混合スルヲ常トス)。

〔註〕煙草保管上ノ注意 煙草ノ生産、保存ニ付テ最モ必要ナルハ乾燥 (Curing) ニシテ、其期間ハ煙草ノ品質、使用ノ目的等ニ依リ六箇月乃至二箇年ヲ要スルヲ以テ、農舍、販賣倉庫、商人ノ倉庫、製造業者ノ倉庫、孰レノ場合ニ在リテモ絶ヘス此作用ヲ行フノ理ナリ、而シテ乾燥方法ニハ空氣乾燥、熱管乾燥、火氣乾燥等種々アレトモ、一旦其方法を誤ルトキハ、全ク廢物ト爲ルノ虞アリ、即チ(一)加熱ヲ急激ニ行ハサルコト(二)化學的氣體ニ觸レシメサルコトニ注意スルノ必要アリ、尙ホ(三)異臭ヲ放ツ商品ト隔離スル爲メ、専門ノ建物ニ藏置シ(四)壁ヲ離レテ積込ミ、過度ノ濕氣ヲ吸收セサルコト、シ(五)家根ヲ堅牢ニシテ雨漏ヲ防クコト、スヘシ。

我邦ニ於テハ他ノ商品ノ如ク、普通ノ倉庫會社カ之ヲ保管スル外、官省ノ倉庫モ亦之ヲ貯藏スルコト言フヲ俟タス。

(E)其他ノ農産物保管 中、野菜、肉類、鶏卵ノ如キ腐敗シ易キ貨物ノ保管ハ冷蔵倉庫ノ部ニ譲リ、次ニ米國ニ於ケル米、砂糖及珈琲ノ保管、並ニ我邦ノ藪倉庫ヲ略説スヘシ。

(1)米……米國ニ於ケル米ノ倉庫ハ主トシテ墨斯古灣ニ臨メルニ、三州即チ「アーカansas」「テキサス」「ルイジアナ」ニ存在スルモ、主要都市ハ「ニューオーレアン」市ニシテ、此地ニハ「ルイジアナ」砂糖及米穀取引所ノ設アリテ、米ノ倉庫ハ取引所ノ認可ヲ得タルモノナリ。保管米ノ引渡ハ賣手ノ作成セル讓渡指圖書(Transferable notice)ニ依リテ行ハル。

米ノ保管ニ就テ注意スヘキコトハ(一)濕氣(二)蟲害、鼠害ナルヲ以テ、濕氣ヲ含ム場所(石「セメント」ニモ接觸セサルヲ要ス)ヲ避ケ、捕鼠ヲ行ヒ、米蟲ヲ除カンニハ、米袋ヲ日光、又ハ熱ニ過ハセ、蟲カ外部ニ出ツルヲ待チテ掃取ルヘシ(木箱ニ入ル、トキハ蟲害少シ)、米袋ヲ堆積スルニ當リテモ、絶エス空氣ノ流通スル如ク注意シ、晴天ノ日ハ窓ヲ開クヘシ。(2)砂糖及珈琲……ニモ亦取引所ノ公認倉庫アリ、其保管ニハ最モ注意セラル、珈琲ノ倉庫カ取扱中破砕セル珈琲ヲ集メ、之ヲ洗ヒテ袋入ト爲シ、毎月倉庫利用者ニ頒ツハ、棉花ノ「シナー」、クロップ」ニ正反對ノ習慣ナリ。

(3)藪倉庫……藪ハ年内四五箇月ノ間ニ生産セラル、ニ、製絲工業ハ哈ント年中行ハル、ヲ以テ、其貯藏ノ必要ナルハ明カナリ、藪ノ倉庫ハ美靈地方又ハ製絲地方ニ在リテ、産業組合ノ經營ニ係ル農業倉庫アレハ、會社組織ノモノモアリ、多クハ農家又ハ仲買人製絲家カ藪ヲ擔保トシテ借入レンカ爲メニ利用セラレ、自ラ貸出チ行フモノ少カラス、又穀類、乾燥等ノ依頼ニ應スルモノアリ、製絲家カ自ラ所有スル倉庫ハ、其買入レタル原料藪ヲ保管センカ爲メニ使用セラレ、事ヲ貯藏ノ目的ニ出ツ、之ニモ仕入先即チ藪ノ産地ニ在リテ購置スルモノト、工場ノ附近ニ建設シテ、貯藏ニ便スルモノトノ二種アリ。信州諏訪倉庫株式會社ハ本邦製絲業ノ中心地タル同國諏訪郡平野村ニ在リ、資本金ハ僅々五拾萬圓ニ過キサレトモ、我邦ニ於ケル藪及生糸倉庫ノ白眉ニシテ、分店ヲ同村間下ニ置キ、支店ヲ上田及野澤ニ設ケ、本支店其棟數六十一、此坪數一萬二千七百坪ニ及フ、別ニ穀類乾燥ノ設備アリテ、之ヲ行ヒ、其倉庫證券ハ日本銀行ノ見返品タルコトヲ認メラレ、主タル保管品ハ藪(次ヲ生糸)ナレトモ、其他米穀肥料等ヲモ併セテ保管スルモノ、如シ、最近ニ於ケル一箇年ノ重ナル受害高ク見ルニ藪二十二萬石、生糸四百七十八捆(繰越二千九百捆)内國米六千七百六十石ナリキ。藪ハ生藪ノマ、保管セラル、コトアルモ、多クハ穀類ノ後貯藏セラル、然ルニ其方法如何ハ精實、精量、製絲工程ニ著シク

影響スルモノナルヲ以テ、倉庫ハ特ニ最新ノ裝置ヲ用ヒテ之ヲ行ヒ、且ツ保管上ニモ細心ノ注意ヲ拂ヒ、變質損傷ヲ防クヲ常トス、而シテ製絲業者カ原料トシテ使用スルトキハ、之ヲ混合スルヲ常トスルモ、品質區々ニシテ代替性乏シキヲ以テ、未タ混合保管チ行フコト能ハサルカ如シ。

(F)蠶絲倉庫 生絲、絹織物ハ普通ノ倉庫會社モ之ヲ保管シ、又福島ノ絹絲倉庫、前記諏訪倉庫ノ如キハ之ヲ主要保管貨物ノ一ト爲スモ、専ラ生絲及絹物ノミヲ保管シ、且ツ其輸出貿易ニ便セントスルハ、大正十五年横濱ニ設立セラレタル帝國蠶絲倉庫株式會社ノミナリトス。此倉庫會社ハ全然普通ノ倉庫會社ト趣ヲ異ニシ、公稱資本金ハ三百萬圓ナレトモ、拂込ハ七十五萬圓ニシテ、此内二十四萬圓ヲ投シテ屑物倉庫ヲ建築シ、四十萬圓ハ「ビルディング」建築費ノ一部ニ充テ、百四十萬圓ノ建築費中百萬圓ハ年八分ニテ借入ル、豫定ナリ)主タル倉庫ハ政府ノ出資金ヲ以テシ(絲價維持ノ爲メニ臨時ニ設立セラレタル帝國蠶絲會社ノ利益金ノ一部(百八十萬圓)ヲ之ニ充ツ)四千八百坪ノ倉庫ヲ三萬六千圓ニテ借入ル、コト、爲セリ、株主ハ問屋及製絲家ヲ主トスルモ、一種ノ特權會社ニシテ、普通ノ倉庫業トハ頗ル趣ヲ異ニスルモノナリ、保管料ハ生絲ハ一捆日歩二錢(一捆ハ五十六斤餘)、絹物ハ千圓ニ付日歩二錢ニシテ、配當ハ年一割ノ豫定ナリ「ビルディング」ハ七百坪五階建、總坪數三千五百坪ニシテ、之ヲ生絲、絹物ノ問屋、輸出商等ニ貸付ケ取引ノ便宜ヲ圖ル目的ナリ、賃貸料一箇月一坪七圓平均トス。官設生絲検査所ニ隣シ、昭和二年七月十二日ヨリ一般的ニ輸出生絲ヲ検査スルコト、爲リタルヲ以テ、取引上ノ便少カラサルヘシ、而シテ此倉庫カ設立セラレテ幾何モナク絲價低落ノ勢アリタルヲ以テ、之ヲ防カンカ爲メ、生絲ヲ

共同保管ト爲シ、政府ヨリ低利資金ノ融通ヲ受クルコト、爲セシカ、昭和二年ノ夏頃ニ於テモ亦
絲價安定ノ一策トシテ之ヲ利用セントコトヲ唱フル者アリ、政府ハ此會社ノ資本金ヲ千百萬圓ニ増
加シ、倉庫並ニ附屬建物此見積價格百八十萬圓ヲ現物出資スル外、三百萬圓ヲ向ウ十箇年間ニ出
資シ、政府カ認メテ必要トスル場合、生絲ノ購入、保管、資金ノ融通ヲ爲シ、政府カ其損失ヲ補
償セントスルノ案ヲ立ツルコト、爲セリ、若シ此案ニシテ實行セラレンカ、倉庫業ト謂ハンヨリ
モ絲價維持會社ト爲リ、保管ハ其附隨事業タルニ至ルヘシ。

第二項 家財倉庫

孰レノ國ニ於テモ都市ノ發達ト共ニ地代ハ年ト共ニ騰貴シ、倉庫ノ建築費ハ少ラサルヲ以テ、資産
ヲ有スル者ト雖モ、家具家財ヲ容ル、爲メニ倉庫ヲ建築スルハ容易ナラス、多數ノ借家人ハ家賃
ノ騰貴ニ伴ヒ、特ニ納戸ヲ有スル家ヲ借入ル、コト能ハサル者多キ一方ニ、生活狀態モ亦變化ヲ
來シ、俸給生活者ノ轉任、一般人ノ避暑其他ノ旅行ノ流行(内外共ニ)間借生活者ノ増加、家長死
亡後ノ家庭ノ分散、離婚後ノ別居生活等ハ漸次家財ヲ寄託スルノ必要ヲ生スルニ至レリ、米國ニ
於テモ、一八七〇年頃ヨリ此種ノ倉庫ヲ營ム者アリシカ、前記ノ如キ原因ト倉庫ノ位置、設備、
取扱振等ノ發達セル爲メトニ因リ、最近二十年非常ノ發達ヲ示シタリト云フ、我邦ニテモ公衆ハ
其必要ヲ感スルニ至リタルモ、専門ノ倉庫ノ見ルヘキモノナク、普通ノ倉庫ニ於テ便宜之ヲ取

扱フニ止ルカ如シ(極メテ小規模ノモノハ之アリ)。米國ニ於テモ最初ハ家財ヲ擔保ニ供スル必要
アル場合ニ利用セラレタルコト多カリシヲ以テ、之ニ寄託スルヲ以テ不名譽ト爲ス習慣アリタレ
トモ、當業者ノ努力ニ依リ、漸次斯ル誤解ヲ一掃スルニ至レリ。

米國ニ於テ始メテ家財倉庫 Household goods warehouse)ノ設ケラレタルハ紐育市ニシテ、當時之ヲ呼ンテ家具倉庫 (Furniture warehouse)ト稱セシヲ以テ、現今ニ於テモ、商業上ニ於テハ家具倉庫ト唱フル場合多シト云フ、然レトモ家具ノ外、
布團、季節外ノ衣服、旅行用具、貴重品、毛皮、繪畫、敷物、事務所用品、劇場用具等ヲモ保管シ、單ニ「不用品」ヲ保管
スルニ止マラズ、一時的ノ不用品ニシテ時々使用スルカ如キモノヲモ保管スルヲ以テ、多ク市内ノ繁華ノ地ニ設ケラレ、寄
託品ノ出入ニ便シ、紐育、南部「カリフォルニア」等ニ於テハ、ソレソレ二重ノ鎖鑰ヲ設ケタル特別室ヲ貸與シ居レリ、兩
テ此種ノ倉庫ハ荷造、掃除、修繕、運送ノ便宜ヲ圖リ、顧客ノ利益少カラズ、損害賠償ノ責任ハ普通一個ニ付五十弗ヲ限ルモ
特ニソレ以上ノ旨ヲ告ケ、超過價格ニ對スル割増金(二百分一内外)ヲ支拂ヘハ、責任ヲ負擔スヘシ、保管料ハ一立方呎ニ
付何仙ナレトモ、所在地ト倉庫ノ設備トニ依リ高低區々ナルカ如シ。(半仙乃至二仙ニテ、良キ倉庫ニテ一仙半内外ノモノ多
シ)但シ立方呎ニテハ不明ナルヲ以テ、普通一荷車量(三百立方呎ヨリ多キハ四百四十立方呎ニ及フ、四、五弗「ピアノ」
ヲ特別室ニ入ル、トキハ、二、三弗(一箇月)、大形「ピアノ」ハ此二倍ナリト云フ。

第三項 農具及荷車倉庫

農具及荷車保管 (Implements and vehicle storage) ハ米國南北戰爭後西北部地方ノ農業カ異常ニ發
達セル爲メ起リタルモノニシテ、此業務カ一般倉庫業ト分離シタルハ(一)農具カ複雑ニシテ、其
修繕ノ困難ナルコト(二)農具製造業者カ支店ヲ各地ニ設クルモ、年内多忙ナルハ三分一位ニシテ

保管ノ費用ニ耐エサルニ、専門ノ倉庫ハ各種ノ農具ヲ取扱フ爲メ、一年中業務アルコトノ二原因ナリシカ、最近二十年間ニ一大變化ヲ生スルコト、爲レリ、即チ獨立ノ農具製造會社カ「トラス」ニ吸收セラレタル爲メ、自己ノ私有倉庫ヲ有シ、且ツ直接地方ノ商人又ハ農家ノ組合ニ對シテ販賣スルニ至リタル點ニシテ、加フルニ此種ノ保管業ハ營業トシテ利益少キヲ以テ、營業者モ亦漸次一般商品ノ保管業ニ移ルコト、爲リタリト云フ。

第四項 書類倉庫

近年米國ニ起リタル最も専門的ノ倉庫ハ書類倉庫 (Office record storage) ニシテ、大商店、銀行、會社、鐵道其他ノ公益事業ノ書類中保管スヘキモノヲ預ル倉庫ナリ、庫内ノ室ヲ區劃シテ顧客ニ貸與スル制度ニシテ、會社自ラ之カ爲メニ倉庫ヲ建築スルニ比スレハ、保管料モ低廉ナレトモ、此種ノ倉庫ハ大都市ニノミ存在シ、而モ未タ業績ノ見ルヘキモノ之ナキカ如シ。此他我邦ニハ、製米、石油、官營ノ鹽等専門ノ倉庫アルハ人ノ知ル所ノ如シ。

第二款 保管ノ方法ニ依ル區別

倉庫ハ又其保管ノ方法ニ依リテ、次ノ如ク數種ニ區別スルコトヲ得ヘシ。

(一) 普通ノ保管 (Deposit for safe-keeping)

普通ノ保管ハ一般商業倉庫ノ行フカ如ク、堅牢ナル建物内ニ寄託物ヲ收メ、預リタル現品ヲ保管スル方法ニシテ、主トシテ次ノ混合保管ニ對ス。

(二) 混合保管 (Deposit for exchange; Fungible storage)

混合保管ハ同種類、同品質ノ貨物ヲ預ケ主ヲ區別セス混合シテ保管スル方法 (Commingle) ニシテ、米國ノ揚穀倉庫ノ如キハ主トシテ此方法ニ依ル、畢竟保管ノ場所トテ手數トテ節約センカ爲メニテ、見本取引ノ便モ尠カラサレトモ、我邦ニ於テハ農業倉庫中米ニ對シテ行フモノアルノミナリ、此方法ハ進歩シタル方法ナレトモ、品質區々ニシテ格付ノ困難ナルモノハ、之ヲ行フコト能ハス、現ニ米國ニ於テモ、羊毛ノ如キハ多ク之ヲ行ハス、小麥ノ如キスラ袋入ノモノハ混合セス、散荷ニテモ格付外ノモノハ、所有主毎ニ特別ノ「ビン」ニ收メテ保管スルヲ常トス。

混合保管ノ方法ニハ(甲)全然包装ヲ解キテ混合スル場合ト(乙)包装ノマ、混藏スル場合トノ別アリ、我邦ニ於テモ酒田鶴岡地方ノ農業倉庫ニ於ケル混合保管ハ甲法ニ依リ、熊本、廣島地方ノ混合ハ乙法ニ依ルト云フ、米國ノ揚穀倉庫ノ如キハ、普通甲法ニ依ルモノ、如シ、而シテ最も混合保管ニ適スル貨物ハ、最も代替性ト保管性トヲ有シ、而モ價格ノ餘リ高カラサル多量生産ノモノニシテ、内外共ニ最も多ク行ハル、ハ穀物ナレトモ、米國ニテハ此他小麥粉及食料品、銑鐵、砂糖及珈琲、或程度マテ、棉花及枯草、馬鈴薯及「オレンジ」、羊毛及煙草、大豆及玉蜀黍等ニモ行ハレ、獨逸ニ於テモ盛ニ行ハル、ハ、石油、酒精、穀物、棉花、染料等ナリト云フ。

(三)野積保管 (Yard and ground storage)

野積保管ハ即チ屋外保管ニシテ、鐵其他ノ鑛物、木材、煉瓦、砂、碎石其他ノ建築材料、電柱等、場所ヲ要スルコト多ク、而モ保管上ノ設備ヲ要スルコト比較的少キ貨物ニ關シテ行ハル、方法ニシテ、往々貨物ノ所在地又ハ置カレントスル場所(陸上又ハ水上)ヲ劃シテ、倉庫會社ニ貸貸シ、會社ハ其物品ノ保管ニ任シテ、證券ヲ發行スルコトアリ(此場合ハ寧ロ次ニ述フル管理人保管ニ屬ス)、孰レニセヨ是等商品ノ金融又ハ賣買ヲ便ナラシメンカ爲メニ行ハル、英國ノ銑鐵證券ハ、其野積保管ニ對シテ發行セラル、モノナルカ、同國金屬取引所ニ於ケル先物賣買ヲ便ニシ、其鋼鐵會社ノ掛繫ヲ行ハシメ、爲メニ同國ノ鋼鐵業ノ發達ヲ助ケタルコト少カラサルカ如シ、我邦ニ於テモ鐵、材木、就中輸入材木等ニハ此方法ニ依ル場合多シ。

法律上ノ解釋

我邦ノ商法ニ於テハ既述ノ如ク、倉庫ハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスルヲ以テ「倉庫」ヲ嚴格ニ解スルトキハ、野積保管ハ保管業ニアラスト謂フヘキカ如クナレトモ、圍繞物ヲ設ケテ管理スルトキハ、之ヲ倉庫ニ保管スルモノト看做スモノトス、畢竟便宜上ノ解釋ニ外ナラス。
米國ニ於テモ、垣ヲ造ルカ又ハ相當ノ圍ヒヲ繞ラシ、貨物ノ種類ニ應ジ、盜難若クハ火災ヲ豫防シ得ル設備ヲ施セハ、適法ノ證券ヲ發行シ得ヘシト爲ス説アリ、州ニ依リテハ法律ノ明文ヲ以テ之ヲ定メタルモノ(例ヘハ「メーランド」アレトモ棉花ノ如キ農産物ニハ之ヲ認メサルモノ多キカ如シ)。

(四)管理人保管 (Custodian warehousing)

管理人保管ハ從來耕地保管 (Field storage) ト稱セラル、モノニシテ、穀物、棉花等ノ農産物カ尙ホ

農倉ニ在ル場合ニ、其マ、之ヲ保管シ、之ニ對シテ倉庫證券ヲ發行スル方法ヲ謂フ、即チ我邦ノ「出保管」(後ニ審ナリ)ニ當ルモノニシテ(一)倉庫業者ハ保管貨物所有者ノ敷地内ニ在ル適當ノ建物ヲ借入レ(二)所有者以外ノ居住者ヲ倉庫ノ代理人兼建物及其貨物ノ管理人ト爲シ(三)是等ニ對シ相當ノ保險ヲ附シ、倉庫證券ヲ發行シテ銀行ヨリ借出スニ便スルモノナリ、而シテ斯ル方法カ案出セラレタル所以ハ、棉花及穀物ニ關シ營業倉庫ヲ利用セスシテ、銀行ヨリ貸出ヲ求ムル便宜ヲ得シカ爲メニシテ、大戰中及其後ニ於テ鐵道輸送ノ貨物カ輻輳セルト、產地ニ於ケル倉庫業ノ少キ爲メトニ因リ急激ニ増加セシカ、一九二一年ノ穀價低落ニ際シ、組合ノ宣傳ニ依リ其防止策トシテ更ニ之カ利用ヲ見ルニ至レリ、中ニハ貨物所有者ヲ以テ保管者ト爲サントセシ者アリタレトモ、法律ハ之ヲ認メス、銀行モ亦斯ル證券ニ對シテ貸出ヲ肯ンセサリシヲ以テ、斯ル希望ハ全然失敗ニ終リタリ、然レトモ一步ヲ進メテ耕作地若クハ牧場ニ在ル貨物ヲモ保管スルニ至リ、州ニ依リテハ農家私有ノ倉庫ニ特許ヲ與ヘ(出願、検査、手数料納付、見本提出等ノ手續ヲ經テ)適法ノ倉庫證券ヲ發行セシムルコト、爲セリ。

米國ニ於テハ野菜、鮭、果物ノ罐詰業、自動車工業等ノ製造業ニモ利用セラレ便益少カラス、
シガン州ニ於テハ監獄ノ工場カ特殊會社ナル爲メ、此方法ニ依リテ銀行ノ貸出ヲ仰キ居レリト云フ。而シテ聯邦準備銀行ノ如キモ、貨物ノ所有カ形式上並ニ事實上ニ於テ分類セラレ居ルコトヲ條件トシテ、此種ノ證券ヲ再割引ノ擔保ト爲スコトヲ認ムルコト、爲セリ。

(五) 冷蔵倉庫 (Cold storage or Refrigerator warehouse)

冷蔵倉庫ハ肉類、魚類、果實、鶏卵、野菜等腐敗シ易キ商品ヲ保管スルヲ以テ目的トシ、冷凍ノ爲メ特別ノ構造ト設備トヲ有スル冷室ニ保管スル方法ニシテ、一八六五年紐育ニ於テ魚類冷蔵ノ爲メニ之ヲ設ケタルヲ嚆矢トス。冷蔵庫ヲ用ヒタルハ其後四箇年ヲ經タル一八六九年ニシテ、英國カ新西蘭ヨリ冷凍肉ヲ輸入シタルハ一八七九年ナリシカ、米國ニ於テハ之カ爲メ肉類ノ罐詰業並ニ果實野菜、鳥魚、鶏卵、「バター」等ノ生産ニ大影響ヲ來シ、著シク其産額ヲ増加スルニ至レリ、而シテ冷蔵方法ハ最初碎氷及鹽ヲ用ヒテ冷却セシニ止リシカ、一八九〇年「アンモニア」液及鹽化「カルシウム」ヨリ成レル「ブライン」ヲ通スル管ヲ使用シテ冷蔵スルニ至リテ以來、大規模ノ倉庫カ建設セラレ、食料品ノ供給状態ヲ一變シ、從テ日常生活ノ一大變革ヲ生スルニ至レリ、我邦ニ於テ東京大阪等ニ此種ノ倉庫ヲ經營スル者アルモ、業績未タ舉ラス、一昨年葛原氏カ斯業ニ於テ大失敗ヲ招キタル以來、一層勢ヲ殺カレタルノ觀アリ、但シ食糧問題解決ノ一策トシテ、此種ノ倉庫ヲ設立セシメ、政府ヲシテ補助セシメントスルコトヲ畫策スル者之ナキニアラス、然レトモ此種ノ保管ニモ亦保管料、金利、品質損傷、有利販賣ノ困難(例ヘハ庫入ノ肉類、魚類ヲ一時ニ賣出スコト能ハサルカ如シ)等種々考慮スヘキ條件之アルヲ以テ、單ニ歐米ニ於テ相當ノ成績ヲ舉ケ得タリトノ理由ニノミ因リテ、直ニ其マ、之ニ模倣スルハ危険ナリト謂フヘシ。

第三款 經營ノ目的ニ依ル區別

倉庫經營ノ目的カ營利ヲ目的トスルヤ否ヤニ依リテ區別スルトキハ、之ヲ營業倉庫及非營利倉庫ノ二種ト爲スコトヲ得。

(一) 營業倉庫 (Commercial warehouse)

營業倉庫トハ一般公衆ヨリノ寄託ヲ受ケ、保管料收入ヲ主タル財源トシ、營利ノ目的ヲ以テ經營セラル、倉庫業ニシテ、我邦一般ノ商業倉庫ハ其適例ナリ、米國ノ public warehouse ト稱スルモノモ亦此一種ニ屬スルコト、嘗テ述ヘタル所ノ如シ。

(二) 非營利倉庫

營利ヲ目的トセサル倉庫ニモ亦三種ノ別アリ、即チ次ノ如シ。

(甲) 公共倉庫 ハ公私ノ非營利團體カ主トシテ公益ノ爲メニ設立シタル倉庫ヲ謂フ、即チ我邦ノ政府專賣ノ煙草及鹽ノ國有倉庫、農林省ノ米穀倉庫(是等ハ單ニ自己ノ貨物ヲ貯藏スルニ止ルヲ以テ、固ヨリ倉庫業ニアラサレトモ)、町村又ハ産業組合經營ノ農業倉庫、米國農地ノ組合倉庫倫敦港務局管理ノ商業倉庫ノ如キハ其適例ニシテ、横濱ノ蠶絲倉庫ノ如キモ、所有者ハ政府ニシテ、經營ハ株式會社ナレハ、公、私折衷ノ性質ヲ有ス、組合ノ倉庫ハ設立、保管料等ニ於テ特別ノ保護監督ヲ受クルヲ普通トス。一般ノ營業倉庫モ亦多少公益の性質ヲ有セサルニアラス、米國

ニテハ州ニ依リ揚穀倉庫ヲ公益事業 (public utilities) ノ一種ト認メ、州ノ委員會ヲシテ管理セシムト雖モ、純然タル公益的事業トシテ設立セラレタル我邦ノ農業倉庫トハ幾分趣ヲ異ニスルモノトス、米國ニ於テモ「ドック」ヲ市營 (又ハ州營) ト爲ス港ニ於テハ市營ノ倉庫ヲ有シ、保管、荷役ノ便ヲ供シ、保管料及保險料ノ低減ヲ圖リ、以テ輸送貨物ノ吸收ヲ圖ルモノ少カラサルカ、是等モ亦此種ノ倉庫ニ屬スルモノトス。

(乙) 私有倉庫 (Private warehouse) 營業的倉庫ノ増加スルニ伴ヒ、倉庫私營ノ必要ハ一面ニ於テ大ニ減少セラレタリト雖モ、特種ノ物品 (化粧品、藥品、染料ノ如ク、米國ナトニテ倉庫業者カ之ヲ喜ハサルモノ)、容積ノ大ナル原料品例ヘハ礦物、石灰石、材木、其他棉花、羊毛、煙草、砂糖等ヲ用フル製造會社ハ、經費ノ節約ト出入庫ノ便宜トヲ得ル爲メ、自ラ倉庫ヲ設立スル者少カラス、殊ニ銀行ヘ商品ヲ擔保トスル必要ナキ者ニ多キカ如シ。其他製油會社、鋼鐵會社、又ハ卸賣商人、百貨店、通信販賣店ノ如キ大商店ニモ此主義ニ依ルモノ少カラス、我邦ニ於テモ、繭、石油、産地ノ米穀ノ倉庫ハ多ク之ニ屬シ、此他各製造會社、鐵道及汽船會社、一般大商人カ自己ノ倉庫ヲ有スルハ人ノ知ル所也。

(丙) 鐵道及埠頭倉庫 (Railroad and wharf storage) モ亦私有倉庫ノ一種ニシテ、鐵道會社カ自己ノ倉庫ヲ有シ、託送貨物ヲ一時保管シ、或ハ鐵道ト船舶トノ荷役ヲ便ニスルモノナレトモ、米國ニテハ鐵道會社カ各主要地ニ倉庫ヲ所有シ、倉庫營業ヲ營ム者少カラス、最近「ドック」ニ於ケル

保管業ヲ鐵道會社ノ手ヨリ移シテ、市營ト爲サントスル運動熾ンナルカ如シ。

第四款 關稅ノ納否ニ關スル區別

倉庫ニ寄託スル貨物カ輸入稅ヲ納付セシヤ否ヤニ依リテ區別スルトキハ、自由倉庫及ヒ保稅倉庫ノ二種ト爲スコトヲ得、即チ次ノ如シ。

(甲) 自由倉庫 (Free warehouse; General warehouse)

自由倉庫トハ關稅免除ノ意ニシテ、普通ノ倉庫ヲ保稅倉庫ニ對シテ稱フルニ過キス、換言スレハ内地ノ商品、輸入商品ノ中稅關ヲ通過セル商品 (所謂「内國貨物」) ヲ保管スルモノヲ云フ。

(乙) 保稅倉庫 (Bonded warehouse)

輸入有稅品ヲ輸入手數未濟ノマ、保管スル倉庫ニシテ、寄託者ハ之ヲ内地ニ引取ラントスル場合、始メテ納稅スルコトヲ得、若シ内地ノ市況輸入ニ不利ニシテ積戻ヲ望ムトキハ、其マ、海外ヘ輸送シ、或ハ内地ニ於ケル他ノ港ヘ積送シテ、其地ニ於テ納稅スルコトヲ得ヘシ、斯ル商品ヲ保稅貨物 (Goods in bond) ト稱シ、主トシテ仲繼貿易ヲ便ナラシメンカ爲メニ設ケタル制度ナリ。

我邦ノ保稅倉庫ニハ官設ト私設トノ二種アリ、條件附ニテ内國貨物ノ藏置ヲモ認ム、官設保稅倉庫ハ稅關ニ附屬シ、其構内ニ在ル建物ヲ以テ之ニ充ツルモ、私設保稅倉庫ハ都會地ニ在ル商業倉庫ノ兼營ニシテ、大藏大臣ノ認許ヲ受ケ、擔保ヲ提供シ、其監督ノ下ニ立ツモノナリ、而シテ昭和

二年四月ノ改正法ハ保税倉庫ニ於テモ、税關長ノ許可シタル範圍内ニ於テ、貨物ノ改装、仕分
 其他ノ手入ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタレトモ、加工ハ許サ、ルカユヘニ、保税工場（舊假置場、
 ヲ認メテ、製造ノ便宜ヲ與フルコト、爲セリ、保税工場モ亦廣義ノ保税倉庫ニ屬シ、米國ノ如キ
 ハ斯ク看做スモ、我邦ニ於テハ法規上明ニ區別セラル、税關構内ノ上屋並ニ私設上屋モ亦外國貨
 物ヲ藏置シ得ル建物（又ハ場所）ニシテ、使用料（例外アリ）ヲ徵收スル點ニ於テ、廣義ノ保税
 倉庫ト看做シ得サルニアラサレトモ、是レ亦區別セラレ、單ニ保税地域ノ一種ト認メラル、ニ過
 キス。

米國ノ保税倉庫 ニハ次ノ七種アリ。

- 第一種 政府所有、又ハ借入ノ倉庫ハ検査中ノ貨物又ハ差押若クハ無申告品ヲ保管スルモノニシテ、後者ノ場合ハ *General Order Warehouse* ト呼バレ、英國税關ノ管理ニ屬スル *King's Warehouse* ニ當リ、純粹ノ保税倉庫ニハアラサル也。
- 第二種 輸入商ノ私有保税倉庫 但シ保管貨物ハ庫主ノ有スル輸入品ニシテ保税貨物ニ限ル。
- 第三種 普通ノ營業倉庫 倉庫法ニ依リ輸入、有税品ニ限リ保管スルコトヲ得、但シ必要アルトキハ、命令ニ依リ差押又ハ無申告品ヲモ收容スルコトアリ。
- 第四種 野積倉庫 庭、上屋、倉庫軌レニテモ可ナルモ、保管貨物ハ羊毛、石炭、材木、砂糖、糖、鐵、鐵其他特ニ列地ニタルモノニ限ル。
- 第五種 揚穀倉庫 但シ輸入ノ穀物ニ限ル。
- 第六種 輸入品ノ製造ノ爲メノ倉庫 但シ輸出スル爲メナルヲ要ス。
- 第七種 輸入貨物ノ精煉倉庫 同前。

右ノ中第一種ノ無申告品ヲ藏置スルモノハ收容貨物ノ倉庫ニ當リ、第二種ハ私設上屋ニシテ、第六種及第七種ハ保税工場ニ當リ、第二種ハ我邦ノ自己ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫ニ當ル。
 米國ニハ煙草、酒精含有飲料ナトニ關シ、内國税ノ保税工場ナルモノアリ、就中著シキハ「ホイスキー」倉庫ナリシカ、兼酒令以來減減スルニ至レリ（三千ヨリ三十二）。

獨逸ノ保税倉庫 ニモ亦官設、私設ノ別アリ、官設保税倉庫ニモ亦次ノ三種アレトモ、自由倉庫ハ寧ロ自由港ニ屬スルモノナレハ、事實上ニ於テハ普通倉庫ト、制限倉庫トノ二種ト爲ルナリ。

- (1) 普通倉庫 (*Allgemeine Niederlagen*)……ハ重要商業都市及ヒ國境ニ於ケル重ナル税關ニ於テ、之ヲ設立スル必要アル場所ニ設ケラレタルモノニシテ、例外ノ場合ノ外、藏置期間ヲ五箇年トス、藏置貨物ハ有税品中倉庫法ニ依テ除外セラレサルモノニ限リ、(爆發物、損敗シ易キモノ、可燃質ノモノ、傳染性ノモノヲ除ク) 寄託者ハ普通其地方ノ居住者ニ限ル、貨物所有者若クハ管理者ハ、税關官吏ノ監督ノ下ニ仕分、改装其他ノ手入ヲ行フコトヲ得、内國消費ノ爲メニ出庫スル場合ニハ、普通入庫ノ際ノ重量及品質ニ依リテ課税セラレ、一箇年藏置シタルトキ、権利者明カナラサレハ、公告シタル後賣賣ス、所有者明カナルモ五箇年ヲ經過シタルトキ亦同シ。
 - (2) 制限倉庫 (*Beschränkte N.*)……保税倉庫ノ必要アルニモ拘ラス、之ナキ場合、貨物ヲ納ル、適當ノ保管場所ヲ利用スルモノニシテ、保管期間ヲ六箇月トスル外、(1)ニ異ラス。
 - (3) 自由倉庫 (*Freie N.*)……ハ重要海港ニ於テ、其地方ノ諸倉庫ヲ港ト連絡スル如ク整備シ、而モ荷役保管ノ場所ヲ外部ト遮斷スル爲メ、堅牢ナル外壁ヲ設ケ、税關ニ關シテハ外國ト看做シタル場所ヲ云フ、手入ノ外加工ヲ行ヒ得ル自由區域也。
- 私設保税倉庫ニモ亦次ノ三種アリト雖モ、仕分倉庫ト積戻倉庫トノ區別ハ名目的ノモノニ過キス、何トナレハ、仕分倉庫ヨリ外國へ積戻スコトヲ得レハナリ。

(1) 信用倉庫 (*Kreditlager*)……ハ單ニ國內消費ノ爲メノ輸入品ヲ藏置スル倉庫ニシテ、貨物ハ關稅擔保トシテ保管セラレ、ニ過キス、藏置貨物ノ種類ニハ制限ナク（届出ヲ要ス）、改装、仕分、加工ヲ行ヒ得ルコト、共同領儲ナキ他ノ倉庫ニ異ラサルモ、

期限ハ普通六箇月トス、課税ハ入庫ノ時ノ重量ニ依ル。

(2) 仕分倉庫 (Teilungslager) ……ハ改装スヘキ貨物ヲ藏置スルモノニシテ、内地消費ト外國積戻トヲ問ハス其藏置期間ハ五箇年ナリ。

(3) 積戻倉庫 (Translager) ……トハ外國へ積戻スヘキ貨物ヲ藏置スルモノニシテ、藏置期間ハ五箇年ナリ、之ニモ(一)純粹ノ積戻倉庫ト(二)混合積戻倉庫ノ別アリ、前者ハ専ラ外國へ積戻スヘキ貨物ノミヲ保管シ、後者ハ一部ヲ輸出シ、一部ヲ輸入スル場合ニ使用セラル、モノナリ。

積戻倉庫ニハ(仕分倉庫モ)税關ト共同領備ノアルモノト、之レナキモノトノ別アリ、前者ノ手續等ハ官設保税倉庫ニ類シ、課税ハ入庫ノ時ノ重量ニ依ルモ、後者ハ藏置貨物ノ種類ト、之ヲ開扉スル者ナトニ制限アリ、課税ハ出庫ノ時ノ重量ヲ標準トス。

佛蘭西ノ保税倉庫 ニモ亦公私ノ別アリ、即チ次ノ如シ。

(1) 官設保税倉庫 (Entrepôts réels) ……ハ内地ノ都市又ハ國境ニ設置セラレ、執レニシテモ之ヲ建設スル權利ハ、許可ヲ受ケタル都市ニ在リ、都市ハ必要ノ建物ヲ提供シ、既ニ公設ノモノアルトキハ、管理費ハ州ヨリ支出セラル、都市ハ此權利ヲ讓渡スコトヲ得ルヲ以テ、商業會議所力之ニ代リ、特種ノ株式會社ヲ設立シテ之ニ代ラシムルコトアリ、而シテ公設倉庫ハ税關及倉庫當局者ノ共同領備ヲ以テシ、藏置貨物ハ總テノ有税品及禁制品ナレトモ、特別保税倉庫 (Entrepôts spéciaux) ハ杜松子酒、葡萄酒等ニ限り保管スルコトヲ得ルモノトス、保管期間ハ三箇年ナレトモ、商業上ノ必要アリ、且ツ貨物ニ異狀ナキトキハ、倉庫ハ之ヲ延長スルコトヲ得、公設倉庫ニ於テモ、作業ハ税關ノ許可及監督ノ下ニ於テノミ之ヲ行フコトヲ得ルモ私設倉庫ノ場合ニ比シテ其範圍稍廣シ、但シ貨物ノ重量ニ増減ヲ生セサルヲ限リ、混合ハ葡萄酒ヲ除ク外(他ノ酒精含有飲料ハ容器ニ佛國製ト之ナキ限り可ナリ)税關ノ監督ノ下ニ行フコトヲ得ヘシ。

(2) 私設保税倉庫 (Entrepôts fictifs) ……ハ主トシテ海港ニ在リ、普通植民地貿易港カ、若クハ一八一八年一月ノ法規ニ指定セル貨物ヲ取扱フ、公設倉庫設置港ニ設ケラル(例外アリ)、此種ノ倉庫ニ入庫センハ、輸入商ノ外豫メ徵稅官吏ノ承認シタル保證人一名アルヲ要ス、藏置貨物ハ倉庫設立ノ際認許セラレタル種類ニ限り、禁制品ヲ收ムルコトヲ得ス、藏置期間ハ原

則トシテ一箇年(穀物ト「マルセーユ」ハ二年)ナレトモ、之ヲ延長シ得ルコト、公設ノ場合ニ異ラス(但シ私設ノ場合ハ保證人ノ信用ニモ變化ナキヲ要ス)私設保税倉庫ニ於ケル作業ハ、普通税關官吏ノ認可及監督ノ下ニ行ヒ、貨物ノ損敗ヲ防クニ必要ナルモノニ限ルモ、多少ノ例外ナキニアラス、例ハ煉炭ノ製造、大理石ノ加工、製油(「マルセーユ」ニ限ル)ノ如シ。

第五款 其他ノ區別

(一) 定着倉庫ト移動倉庫 普通ノ倉庫ハ定着倉庫ニシテ米國ノ浮動揚穀倉庫ノ如キヲ移動倉庫ト謂フヲ得ヘシ、船車ハ普通倉庫トハ稱セサルモ、冷蔵船ノ如ク長ク海岸ニ繫留スルコトアルモノハ、一種ノ倉庫ト稱スルヲ妥當トス、嘗テ神戸、長崎等ニ於テ使用セラレタル庫船、戦後計畫セラレタル海上倉庫ノ如キモ亦其適例ナラン。

庫船 ハ運航ノ用ニ耐ヘサル船舶ヲ港内ニ碇繋シ置キ、甲船ヨリ取卸シタル貨物ヲ積入レ、船便ヲ待チテ乙船ニ積込ムモノニシテ、積卸貨物多キトキハ、庫船ヲ本船ニ横付トナシ、舢舨ヲ使用セサルコトアリ、頗ル便利ナリシカ、關稅法實施ト共ニ廢止セラレタリ(以上神戸)。長崎ニ於テハ管ニ仲繼貨物ノミニ止ラス、其他ノ貨物ノ藏置モ行ヒ、横濱税關ニ於テハ、明治七年七月爆發物ヲ各船會社所屬ノ庫船ニ藏置セシメタルコトアリキ。

(二) 生産、分配、消費ニ依ル區別 倉庫ノ目的カ生産者ノ爲メナルトキハ之ヲ生産倉庫ト稱スルコトヲ得、我邦ノ農業倉庫、米國ノ組合倉庫、保税工場ノ如キハ之ニ屬ス。而シテ輸入港ニ在リ

テ各地へ輸送セラルヘキ貨物（例へハ我邦ノ棉花、羊毛、外國米、小麥ノ如シ）ヲ保管スルトキハ之ヲ分配倉庫ト謂ヒ、東京大阪ノ如キ消費地ニ在リテ、主トシテ其地ニ於テ消費セラルヘキ商品ヲ保管スルトキハ、之ヲ消費倉庫ト稱スルコトヲ得、但シ嚴格ノ區別ニハアラス。

(三) 保管、手入、加工ノ區別 寄託貨物ヲ其マ、保管スル倉庫ハ即チ保管倉庫ニシテ、冷蔵庫ノ如ク特別ノ裝置ニ依リテ損敗ヲ防クモノヲ保存倉庫ト云ヒ、我邦改正法ノ保税倉庫ノ如ク改装、仕分其他ノ手入ヲ爲シ得ルモノ、若クハ米國ニ於テ一九一二年ノ關稅法ニ依リ設立ヲ認メタル手入倉庫 Manipulating warehouse)ノ如キモノヲ手入倉庫ト稱シ、保税工場又ハ米國ノ第六種第七種ノ如キ保税倉庫ヲ加工倉庫ト稱フルコトヲ得ヘシ。

米國ノ手入倉庫 ハ保税貨物ノ陳列及販賣ヲ許シ、且ツ掃除、仕分、再格付、改装、再検査ヲ行フコトヲ得セシムル倉庫ナレトモ、一九二四年末ニ於テ大藏省カ此種ノ認可ヲ與ヘタルハ、僅ニ桑港及「ニューオルレアン」ノ二箇所ニ過キス、其貨物モ東洋産落花生、支那ノ「シヨール」敷物、竹細工、東洋ノ混合糖果、豆類、革皮、帽子、絹織物等ニ限ラル、カ如シ。

第二節 倉庫ノ沿革

第一款 日本ノ沿革及現狀

(一) 古昔ノ倉庫 我邦ニ於ケル近代の倉庫業即チ保管料ヲ徵收シテ一般人ノ貨物ヲ保管スル業務ハ、明治十五六年頃ニ共萌芽ヲ發シタルモノナレトモ、貢租米ヲ貯藏シ、若クハ備荒貯蓄ノ目的又

ハ米價調節ノ爲メニ設ケラレタルモノハ、其起源頗ル古ク、殊ニ租米ヲ藩士又ハ旗本ニ交付スルニ當リ切手(切米)ヲ用ヒ、又各藩カ其產物タル米、砂糖等ヲ販賣スルニ當リ、是レ亦切手ヲ以テシ、是等ハ賣買又ハ質入ニ供セラレタルヲ以テ、宛モ現今ノ倉庫證券(形式ハ出庫指圖書ニ當ル)ノ如キ作用ヲ爲シタルモノ、如シ、而シテ稅關所屬ノ保税倉庫ハ慶應二年ノ改稅約書ニ端ヲ發シ同年五月十六日始メテ借庫規則ヲ制定シ、降テ明治二年五月十九日改正借庫規則及庫租目錄ヲ定メテ之ヲ實施セシカ、同三十年法律第十五號ヲ以テ保税倉庫法ヲ制定シ、同年七月ヨリ實施スルニ至レリ。

(A) 貢租米ノ倉庫 ニハ屯倉、正倉、穀倉院、動倉、米券倉庫等種々アリ。

- (1) 屯倉……トハ屯田ノ收穫ヲ納ムル官倉ニシテ、屯田ハ御田(ミタ)ト同シク、天皇御所有ノ稻田ナリ、垂仁帝ノ時始テ倭ニ置カレタリト云ヘハ、其起源頗ル古キモ、古昔ノ屯田ハ漢土ノ屯田トハ異レリ、景行天皇ノ時諸國ノ田部ヲシテ屯倉ヲ興サシム、孝德天皇大化ノ新政ニ當リ、官司所々ノ屯田ヲ廢シ、之ヲ群臣及伴造ニ班テ賜フ、此時屯倉ノ制度モ亦廢止セララル、蓋シ田租調庸ノ率カ定リタレハナリ。
- (屯倉ハ「ミヤケ」ニシテ、御宅、御家ト同シク、皆官家ヲ云フ屯倉ノ稱ニシテ、姓氏又ハ地名ニ三宅アル亦遺稱ナリ)
- (2) 正倉……官之ヲ諸國郡ニ置キ、正稅ノ願穀等ヲ納ル、所ナレトモ、其起源明カナラス、和銅ノ時已ニ其名アルノミ。
- (3) 穀倉院……大同年中始メ穀倉院ヲ置キ、畿内諸國ノ調錢、諸國ノ無主位職及沒官田、太宰ノ稻等、諸莊ノ物ヲ納メテ年中ノ糶ヲ勸ム、然レトモ此貯穀ノ用ハ獨リ糶ノミニ限ラス、貧民ニ賣與シテ飢民ヲ賑救シ、公卿諸人ニ賜ヒ、神寺ノ用ニ充ル等其類枚舉ニ遺アラス。
- (4) 動倉……延喜以後ハ正倉ノ名復見ヘス、動倉、不動倉ノ名アリ、動倉ハ時々ノ用ニ供シ、不動倉ハ之ヲ貯ヘテ非常ニ備ヘ、且以テ飢民ヲ賑救スル等ニ用ヒラル、蓋シ正倉ヨリ分別スル名稱ニシテ、連絡以テ康正安元ノ時ニ及フ。

(5) 米券倉庫……ハ夙ニ江州大津ニ行ハル、所ナリシカ、元和八年(西曆一六二二年)山形縣庄内ノ藩主此地ニ封セラレ、ヤ、老臣柴田某ヲシテ精勵治ヲ圖リ、産業ヲ興シ、貢租米ノ如キハ大津ノ制度ニ倣ヒテ之ヲ行ヒ、爾來連綿トシテ今日ニ至レリ、即チ貢租米ヲ保管スル倉庫ヲ設ケ、藩主以下給人ニ至ルマテノ者ニ對スル一ケ年ノ飯米ヲ納メ、切米ト稱スル小札又ハ米券ヲ發行シ、祿高ニ應ジテ數次給與シ、年豐饒ニシテ餘米ヲ生シタルトキハ、更ニ割賦セシカ、米券ハ之ヲ米問屋ニ賣渡シ、問屋ハ之ヲ現米ニ引換ヘ、多クハ大阪地方ヘ輸送シタリト云フ、維新後貢租ノ制度廢セラレ、ヤ、或ハ倉庫會社ト爲リ、或ハ地方有志ノ手ニ移リテ金融機關ニ變スルニ至レリ。

(B) 備荒貯蓄ノ倉庫 前記ノ不動倉、穀倉院ノ外、此ノ目的ヲ有シタルハ、義倉及社會ノ二種ナリ。

(1) 義倉……トハ田租ノ外、口粟ヲ收テ以テ窮民ヲ賑救スル爲メニ備フルモノニテ、賦役令義解ニ云フ「分富賑貧、其義合義、故曰義倉也」ト、令ノ制度ハ口ノ多少ヲ計テ(六歳以上口分田ヲ受クルカ故也)九等ノ戸(上々戸、上中戸、上下戸等ノ)ト爲セシカ、慶雲三年中下以下ヲ免ス、和銅元年、錢貨盛シニ行ハル、ニ至リテヨリ、資財ニ依リテ九戸ヲ別ツ、天平寶字中復中以下ヲ免シ、延喜正計式ニ至テ其法全ク定レリ、義倉ノ起源ハ支那ノ隋唐ノ時代ニ在リ、或ハ貧富ニ應ジテ徵收セシコトアルモ、多クハ富民ノ寄附ニ依リタリト云フ。

(2) 社會倉……官府ト關係ナク人民カ各居村ニ於テ共同貯蓄ヲ爲ス倉庫ヲ云フ、是レ亦支那ニ起リ、宋ノ孝宗ノ時、朱熹ノ奏議ニ依リ行ハレタルモノナリシカ、此制度ヲ我邦ニ輸入セシハ山崎闇齋ノ「朱子社會法」ニシテ朱子没後五百年ヲ經タル徳川時代ナリ、而シテ我邦ニ於テ始メテ此種ノ倉庫ヲ設ケタルハ、會津藩(保科正久公)ニシテ、其後各藩之ニ倣ヒタリト云フ。

(3) 常平倉……トハ穀價ノ貴賤ヲ平均セシムル目的ニテ官有倉庫ヲ設ケ、豐年ニハ幾分高ク買入レ、凶年ニハ低價ニ賣出シ、過度ノ騰落ヲ防カントスルモノニシテ、其起源ハ支那ニ在リ、即チ戰國ノ際魏ノ李悝ノ創案ニ係ル釋糶法ニ由ルモノナリ、前漢ノ宣帝五鳳四年ニ行ヒタルモノハ即チ常平倉ニシテ、其後、後漢唐宋各時代ニモ亦行ハレ、明ニ至リテハ豫備倉ヲ以テ之ニ代ヘ、清ニ入リテ再ヒ常平倉ヲ設ケタルモ、弊害モ尠カラサリト云フ、而シテ我邦ニ於テ始メテ之ヲ設立シタルハ、淳仁天皇天平寶字三年(西曆七五九年)五月九日ノ勅ニ依リ、平準署ヲシテ之ヲ掌ラシム、清和天皇貞觀九年、東西京始メテ常平

所ヲ置キ官米ヲ出シテ之ヲ糶ス、奈良朝時代ニハ相當ニ設ケラレタルモ、其後一時中絶シ、江戸時代ニ社會法ノ輸入ト共ニ義倉モ亦再ヒ行ハレ、常平倉モ亦發達ニ於テ行ハル、ニ至レリ、我邦ニ於テ釋糶法ノ史ニ表ハレタルハ、元明天皇和銅六年(西曆七一三年)ニシテ、國郡司等富豪ノ家ニ募リ、米ヲ路側ニ置テ賣買ニ任セシメタリト云フ。

(C) 諸藩ノ物産倉庫 ハ即チ藏屋敷ニシテ、史家ノ說ニ依レハ、徳川時代ノ初葉ヨリ流通セル所謂藏預リ切手ナルモノハ、稍現今ノ倉庫證券ニ類スル所アリ、大阪ハ當時富豪最モ多ク、貨物集散ノ中心市場タリシカ故ニ、諸國ノ大名多ク藏屋敷ナルモノヲ此都市ニ設ケ、毎年米穀其他ノ國產ヲ輸送シ、藏元(大名ノ臣下ニテ國產ノ販賣 其他之ニ關スル一切ノ事務ヲ取扱フ者)若クハ出入ノ商人ヲシテ之レヲ賣却セシメ、依テ以テ國用又ハ江戸參觀交代ノ費用ヲ辨スルノ習ヒナリシカ、其後切手ヲ以テ是等ノ廻米ヲ諸商人ヘ賣渡シ 正米ハ切手引替ノ契約ニテ、引渡請求ノ時マテ藏屋敷ニ預リ置クノ方法ヲ立テ、代金ノ支拂ハ之ヲ入札拂ト爲シ、水火盜難ハ勿論減量マテ、總テ藏屋敷ニテ保證スルコト、爲シタルカ故ニ、能ク商人間ニ流通シ、遂ニ此種ノ切手ヲ質入又ハ抵當トシテ金融ノ便ヲ圖ル者アルニ至リシト云フ、而シテ藏預リ切手ハ各種ノ貨物ニ對シテ振出サレタルモノナレト、最モ多ク流通セシハ砂糖及米ノ二種ニシテ、砂糖ノ如キハ其仲買組合ニテ入札シ、藏屋敷ヘ對スル代金ノ支拂ニ對シテハ、連帶ノ責任ヲ負フコト、爲シタルヲ以テ、其流通最モ盛ナリシカ如シ。

試ミニ當時行ハレタル米ノ切手ノ二三ヲ見ルニ、孰レモ頗ル簡單ニシテ、大體ハ次ニ掲ケタル如

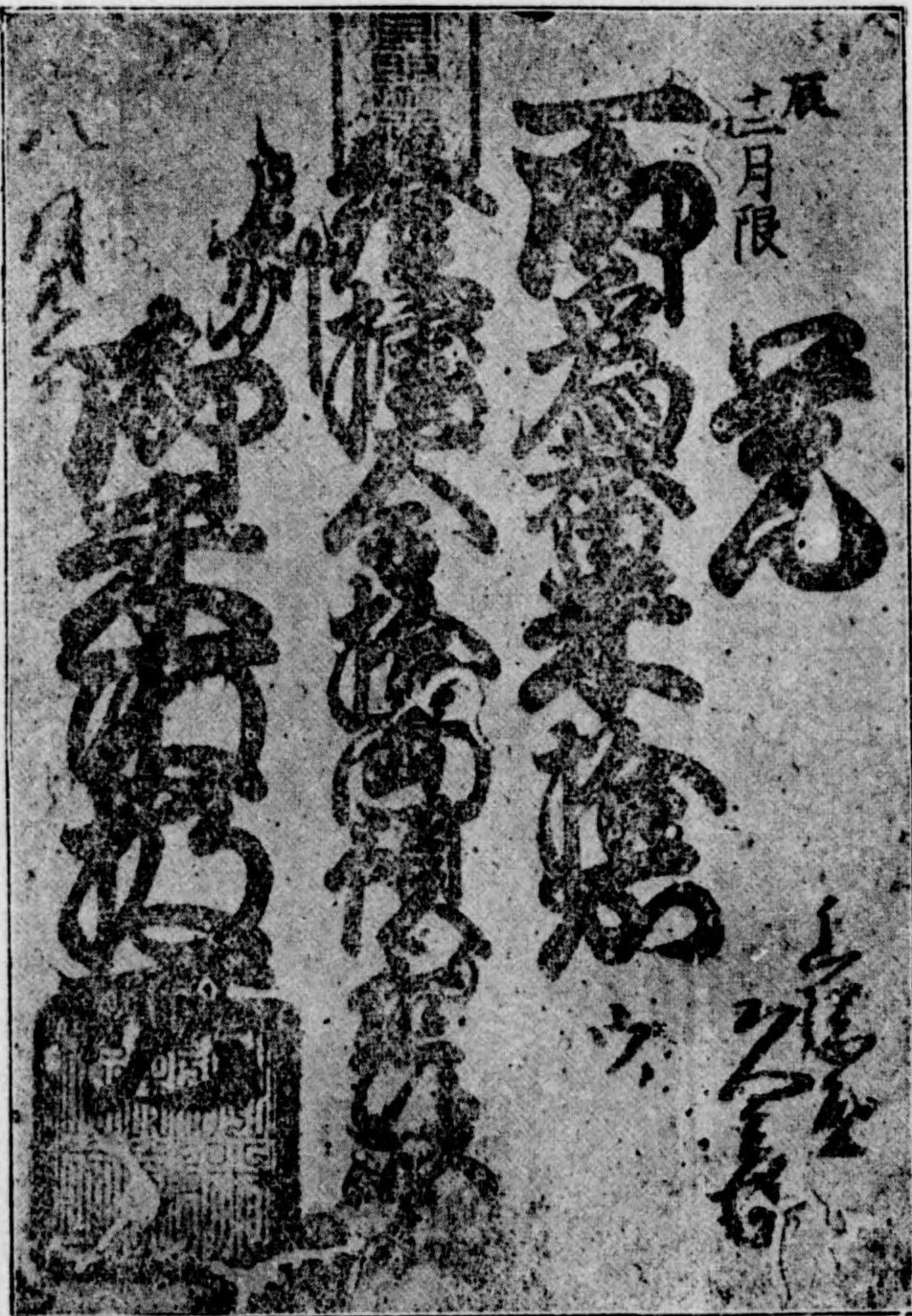
ク、期限、受取人、最初ノ買主、品種、石數、證據金、發行役所、發行日等ヲ掲ケタルモノナレト、中ニハ數量ニ代フルニ金額ヲ以テシ、例ヘハ、

一、南郷米 百兩分 金七兩也領置 水戸御備米役所印

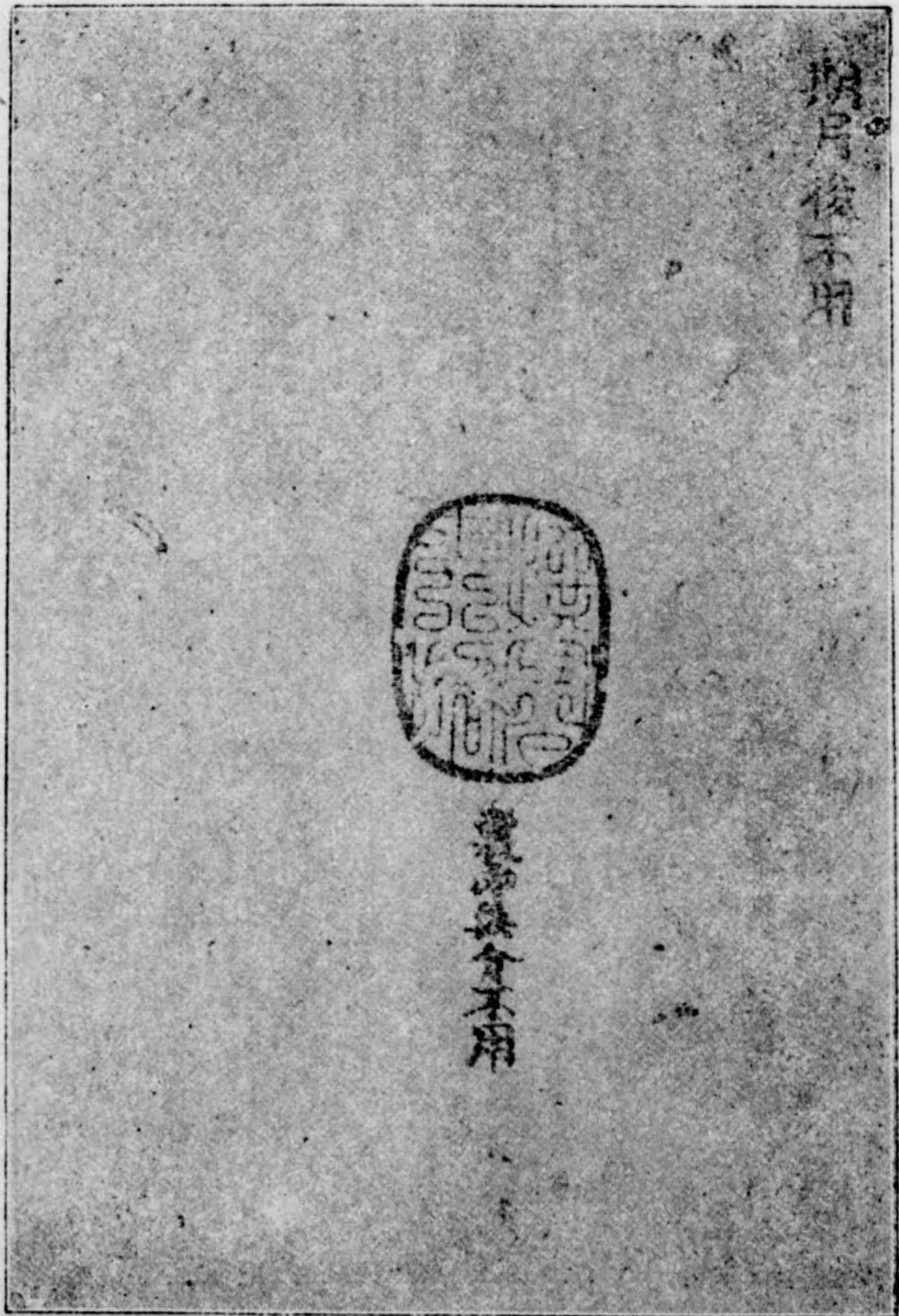
ナト、記シタルモノアリ、裏面ハ單ニ 期月後不用 ノ印アルニ過キサレモノ多キモ、又次ノ雜形ノ如ク別ニ裏印ヲ押シタルモノアリ。

藏預リ切手ノ性質ハ略前述ノ如クニテ、其物品ヲ代表シテ賣買轉帳セラル、點、手附賣買ニ用ヒタル點及ヒ質入ニ供セラレタル點等ハ、倉庫證券ニ類スル所アリト雖モ、藏屋敷ナルモノカ、單ニ諸侯ノ產物販賣所タルニ過キス、藏預リ切手ノ發行モ 販賣方法ノ一形式タルニ止マルニ反シ、現今ノ倉庫會社ハ他人ノ商品ヲ保管シ、倉庫證券ノ發行ヲ以テ主タル義務ト爲シ、其設立ノ目的モ亦保管料ヲ獲ルニ在ルヲ以テ、藏屋敷ハ此點ニ於テ現今ノ倉庫會社トハ異ナレリ、既述ノ如キ屯倉、義倉ノ類モ亦固ヨリ營業的倉庫ノ起源ニハアラス、然レトモ我邦現今ノ倉庫業ハ、外國ニ發達セル倉庫業アルヲ聞キテ起リタルニアラス、現ニ三菱倉庫ノ如キハ、三菱家一派ノ者カ銀行ノ食堂會議ニ於テ、談偶徳川時代ニ行ハレタル米穀倉庫ノ事ニ及ヒ、其便益ノ少カラサルヘキラ期シテ、試ミニ倉庫營業ヲ開始シタルヲ以テ其起源トシ、其後現今ノ如ク改良ヲ加ヘ、體裁ヲ備フルニ至リタルハ、外國ノ制度ヲモ調査シ、商法ノ制定モアリタルニ由ル。

(面表手切り預藏)



(面裏手切り預藏)



四四

(二) 維新後ノ沿革 ノ梗概ヲ述フレハ次ノ如シ。

明治以後ノ沿革 維新後ニ於ケル我邦倉庫會社ノ鼻祖ハ東京深川ニ設ケラレタル倉庫會社ニシテ、明治十五年十一月資本金六萬五千圓ヲ以テ朝吹英二、原善三郎、梅浦精一等ノ諸氏カ設立シ、別ニ金融上ノ便ヲ圖ランカ爲メ、資本金貳拾萬圓ノ均融會社ヲ起セシカ、僅々三年ニシテ解散セリ、之ト前後シ同十六年五月ニ大阪ニ於テ鴻池家ノ者資本金貳拾萬圓ヲ以テ、大阪倉庫會社並ニ融通會社ヲ起シ、大津及兵庫ニ支店ヲ置キ、又明治十七年ニハ神戸ニ棧橋會社、十八年ニハ大津ニ大津倉庫會社起リ、次テ二十一年東京ニ東京倉庫會社現ハレ、同年六月ニ京都倉庫會社ノ設立ヲ見ルニ至レリ、爾後明治二十七年、八年頃マテハ、斯業依然トシテ變化ナカリシカ、日清戰後一般商業ノ振興ト共ニ、各種ノ倉庫會社陸續新設セラレ、大正八年末日ニ至ツテハ、會社組織ノ倉庫業者實ニ五〇一、拂込資本金額約五千萬圓、積立金八百九十萬圓ニ上ルヲ見タリ、而シテ、近年全国各地ニ農業倉庫ノ起ルアリ、鹽倉庫、蠶絲倉庫ナト特別ノ倉庫モ設立セラレ、ニ至リタレトモ、之ヲ歐米ノ倉庫業ニ比較スレハ、尙ホ遙ニ幾層ノ下位ニ在リ、我邦斯業ノ前途モ亦遑遠ナリト謂フヘシ。

更ニ數字ニ依リテ本邦ニ於ケル倉庫業發達ノ跡ヲ尋ヌルニ、明治二十二年ニハ會社ノ數僅ニ七、拂込資本金六萬圓ニ滿タス、二十五年ヨリ二十七、八年頃マテハ漸ク増加ノ形勢ヲ示シタルモ、尙ホ社數五十二、拂込資本金百參拾萬圓ニ達セサリキ、即チ次ノ如シ。

年度	社數	拂込資本金	年度	社數	拂込資本金
明治二五	一一	一八一、九〇〇 ^四	二七	三八	九四九、八六一
二六	二〇	四九四、八六二	二八	五二	一、二八七、七五〇

然ルニ日清戰後、即チ三十年ニ於テ社數俄然倍加シ、資本金モ亦四百餘萬圓ト爲リ、三十三年ニハ社數二百〇二、資本金六百七拾餘萬圓ト爲リシカ、日露戰役中ハ、却テ減少シ、戰後即チ三十九年ヨリ更ニ發達シタルコト、次表ニ示スカ如シ(記入ナキ年ハ變化少シ)

年度	社數	拂込資本金	年度	社數	拂込資本金
明治三〇	一一〇	四、〇〇八、〇八一	大正三	二六六	一五、八四九、三九四
三二	一四七	四、七〇七、一四七	四	三〇三	一五、九一九、七三四
三三	二〇二	六、七〇四、八一三	大正元	三三九	一五、四三九、七二二
三六	二四九	六、三三〇、五六七	三	三九一	一七、九六〇、四八八
三七	二三三	五、七〇八、七〇〇	四	三八九	一七、五七二、〇六四
三八	二三五	五、一四四、二五八	五	四〇八	一八、三一三、五一九
三九	二四八	七、八四八、八五二	六	四五五	二一、〇三〇、二二六
四〇	二七三	一〇、七〇八、九七一	七	四四六	三一、八五二、八五五
四一	二五九	一一、五三七、三五三	八	五〇一	四九、七二二、六二一
四二	二五二	一四、五九〇、二八八			

右數字中、三九、四〇兩年度ニ於テ著シク増加シタルハ、一般會社熱ノ高マルニ伴ヒタルト、經濟界股賑ナリシトノ爲メニテ、四一、四二年ニ入りテ社數ノ減少シタルハ、基礎ノ薄弱ナル會社カ、財界不振ノ爲メニ消滅シタルモノト見ルヘク、爾後ノ發達ハ堅實ナルモ、戦後ノ瘡痍尙ホ未タ癒エス、斯業ノ發達モ稍遅々タルノ觀アリ、大正六年以來再ヒ増加シタルハ歐洲大戰ノ影響ニ因リ、企業熱勃興シタル爲メニシテ、尙ホ大正九年後ノ増資及新設會社ノ資本金ヲ見ルニ、次ノ如シ。

倉庫會社新設及擴張資本金累年表(甲)

大正九年	二六、二四六	大正十一年	一五、五七〇	大正十三年	一、二七〇	大正十五年	一一、五〇〇
同十年	五、一五〇	同十二年	三〇、四〇〇	同十四年	七、八一七		

(備考) 右ノ統計ハ日本銀行ノ調査ニ係リ、株式會社ノ中資本金十萬圓以上ノモノナリ。

倉庫會社新設及擴張資本金累年表(乙)

九年	三十六社	四、六〇〇	十一年	十八社	九、三〇〇	十三年	五社	一、〇〇〇	十五年	十社	五、八〇〇
十年	十社	五、八〇〇	十二年	十二社	三、七〇〇	十四年	二十一社	三、三〇〇			

(備考) 右ノ統計ハ三井銀行ノ調査ニ係ル。

尙ホ大正十四年末ノ會社總數ハ四五三、公稱資本金及出資額一六九、〇五八、〇〇〇圓、積立金一〇、七一九、〇〇〇圓、内株式會社ノ數三七八社、拂込資本金一一四、七八〇、〇〇〇圓、積立金一〇、五六二、〇〇〇圓ナレハ、大戰後財界不況ナルニモ拘ラス、資本金ハ却テ増加セシワケニテ、此外農業倉庫等ヲ加フルトキハ、更ニ其發達ノ大ナルヲ知ルヘシ。

(三) 本邦倉庫在庫品ノ大勢 本邦重要倉庫ニ於ケル戰前戰後ニ於ケル貨物出入狀況ヲ觀ルニ、明治四十五年六月末ニ一億二千二百餘萬圓、大正元年十二月末ニ九千四百餘萬圓ト云ヘルカ如ク大體一億圓内外ニ止リ、歐洲戰亂ノ初期タル大正三年十二月ニモ、一億二千五百萬圓ニ過キサリシカ、五年十二月末ニハ漸ク大戰ノ影響ヲ受ケ、二億八千萬圓ニ上リ、六年末ハ四億三千五百萬圓、七年六月末ニハ五億四千五百萬圓、八年六月末ニハ六億四千六百萬圓、同年十二月末ニハ七億五

千萬圓ニ上リタルカ、九年ニハ財界過度ノ膨脹ヲ示シ、金融ハ梗塞の警戒ニ變シ、株式ノ暴落ニ伴ヒテ、諸商品モ低落シ、好況ニ馴レテ思惑的在荷ヲ擁セル商工業者ハ、孰レモ不況來ニ驚キ、各倉庫ニ貨物ヲ寄託スルノ已ムナキニ至レリ、今此間ノ激増ヲ示セハ次ノ如シ。

八年十二月末	七五一、五一八、六二一	九年 四月末	一、一〇八、六七六、二二九
九年 一月末	七六四、四六八、八六九	同 五月末	一、二六五、二九六、〇七五
同 二月末	八二四、〇九四、九一八	同 六月末	一、二七六、二〇四、六六一
同 三月末	九三四、六六〇、一一九	同 七月末	一、二八五、二八六、三九八

然レトモ大正四年ノ暮頃ヨリ物價ハ漸ク騰貴シ、九年三月ニ其頂點ニ達シ、爾來俄ニ低落シタルヲ以テ、平時ハ金額ニ依リテ、大體ノ趨勢ヲ窺フコトヲ得レトモ、此ノ如キ波亂ノアリタル時代ニハ、物價ト個數トヲ併セテ比較セサルヘカラス、乃チ物價(日本銀行ノ調査ニ依ル)ヲ加減シテ比較スルニ、大正三年十二月末ヲ一〇〇トスルトキハ、五年十二月末ハ一四四・五ト爲ルヲ以テ、五年末ノ在庫高ハ約一億九千萬圓、六年末ノ指數ハ一八一ナレハ、約二億四千萬圓、即チ三年末ノ約二倍ニテ、其他モ亦次ノ如シ。

七年 六月	物價	二〇六	訂正在庫高	二六四、〇〇〇、〇〇〇	九年 三月	物價	三五七	訂正在庫高	二六二、〇〇〇、〇〇〇
八年 六月	物價	二五〇		二五八、〇〇〇、〇〇〇	九年 六月	物價	二七五		四六四、〇〇〇、〇〇〇
八年十二月	物價	三二〇		二三五、〇〇〇、〇〇〇	十年 三月	物價	二二二		〔實六三九、一五一、三四四〕 〔訂三〇一、五〇〇、〇〇〇〕

見ルヘシ、八年末ハ一見三年末ニ比シ六倍ノ觀アルモ、事實ニテ六年末ト大差ナク、又九年三月モ亦七倍半ニ見ヘテ、實ハ二倍一割、九年六月ノ如キ頂點ノ十倍モ實ハ三・七倍ニ過キサリコトヲ、又十年三月ハ九年六月ニ比シ、宛モ半減シタルノ觀アルモ、僅ニ三割五分減ニ過キサリナリ、更ニ九年一月以來半期ノ個數ヲ見ルニ、次ノ如シ。

九年一月	二七、八四三、六〇五	三月	二七、六二八、一九一	五月	三七、六〇一、〇二六
二月	二七、五二三、八九六	四月	二九、六二五、五四二	六月	三一、三三四、四四三

即チ三月ハ一月ニ比シ却テ減少シタルニモ拘ラス、金額ハ却テ一億七千萬圓ヲ増加シ、六月ノ五月ニ對スル關係亦然リ、唯個數ノミヲ見レハ、八年八月頃ヨリ九年三月頃マテ約二千六七百萬個ナリシモノ、四月ヨリ漸ク増加シ、其後更ニ減少シタルモノ、如シ。

再ヒ金額ヲ見ルトキハ、九年七月末ノ十二億八千五百萬圓ヲ絶頂トシ、爾來漸減ノ傾向ト爲リシカ、其原因ハ(一)物價低落、(二)生産制限、(三)輸入激減等ニシテ、即チ八月ハ十二億四千萬圓、九月ハ十一億圓、十年一月ハ七億八千萬圓、二月七億一千萬圓、三月ハ六億四千萬圓ノ少額、即チ戰前ノ六倍(實ハ三倍)又十一年八月末ニハ、五億二千萬圓(二倍)ニ過キサリニ至レリ。更ニ大正十二年以後、各四月末日ノ在庫金額ヲ見ルニ、次ノ如シ。

十二年四月末	物價	二〇七	十三年四月末	二二八	五五一、九八九、四一一
		四一八、九七二、九五七	十四年四月末	二二四	六一三、五九九、二五九

十五年四月末 一九一 五一、六四三、五七一 昭和二年四月末 一八〇 四七六、五六一、五七八

即チ大震災後稍増加セシモ、最近ニハ再ヒ減少ノ傾向アリ、但シ物價ノ低落カ數字ヲ少カラシメタル一原因タルハ言ヲ俟タス、例ヘハ昭和二年四月末ノ訂正金額ハ二億六千四百七十六萬圓ニシテ、十四年四月末ノ二億八千六百七十三萬圓ニ比シ、僅ニ八分減ニ過キサレカ如シ。

- (四)本邦重要倉庫及其在庫品 本邦ノ倉庫營業者ハ其數數百ニ上ルモ、重ナルモノハ一百前後ニ過キス、即チ次ノ如シ。
- (一)東 京 東神、澁澤、東京、住友、帝國、日本、三菱、渡邊ノ八倉庫
 - (二)横 濱 船渠、横濱、新港、貿易、浪花、東神、三菱、商品、帝國、興亞、共立ノ十一倉庫
 - (三)大 阪 浪花、杉村、東神、住友、三菱、東洋ノ六倉庫
 - (四)神 戶 東神、兵庫、住友、川西、三菱、森本、鈴鹿ノ七倉庫
 - (五)愛知三重 市洋、牛田、岡崎、四日市、津市、内外、東神ノ八倉庫
 - (六)京 都 第一、村井、千本、共同、取引所附屬ノ五倉庫
 - (七)下關、門司 東神、三菱、下關、浪花、澁澤ノ五倉庫
 - (八)和 歌 山 南海一倉庫
 - (九)中 國 姫路、瀬川、廣島物産、明治運送ノ四倉庫
 - (十)北 陸 新潟、敦賀中央ノ二倉庫
 - (十一)長 崎 平松、高見、松本、中村ノ四倉庫
 - (十二)長 野 諏訪ノ一倉庫
 - (十三)東 北 青森、福島ノ二倉庫
 - (十四)函 館 辨天、小熊、金森、佐々木、安田、浦田、龍紋氷室、及紀、葛西、森ノ十倉庫

(十五)小 樽 小樽倉庫外十九倉庫(合計二十倉庫)
(十六)臺 灣 臺灣倉庫
總計 九十九倉庫

前記ノ如ク三菱倉庫ノ如キハ、横濱、大阪、神戸及門司ニ大規模ノ支店ヲ有シ、之ト相對スル三井系ノ東神倉庫モ亦同様ニシテ、住友モ大阪以外東京及神戸ニ支店ヲ設ク、安田モ嘗テ神戸ト大阪トニ於テ斯業ヲ營ミ、鴻池モ亦其系統ノ倉庫ヲ有ス、即チ我邦ノ商業倉庫中大規模ノモノハ亦富豪ニ依テ經營セラレ、渠等ニ依テ大勢ヲ左右セラル、モノ、如シ、是レ願フニ(一)從來ノ歴史ト(二)固定資本額ノ大ナル割合ニ收益率少ク、宛モ土地ニ放資スルカ如キ「じみ」ナル營業ナルト(三)渠等ノ經營スル銀行業ノ放資機關タラシメンカ爲メナルヘシ。

更ニ在庫貨物ノ金高及數量ヨリ觀ルトキハ、大阪ヲ第一トシ、神戸東京之ニ次キ、(但シ個數ハ常ニ東京ヲ第二位トス)横濱及愛知、三重ハ第三位、其他ハ遙ニ下ルモノ、如シ、今昭和二年四月末日ノ在庫高ヲ見ルニ次ノ如シ。

順位	倉庫名	金額	數量
(1)	大 阪	一六三、三八八、八九〇	五、九七九、八八〇
(2)	神 戶	一一五、八九三、二二七	三、五六八、一九〇
(3)	東 京	七八、六〇八、九〇九	二、五六〇、六二一
(4)	横 濱	五五、八二四、三二一	一、六七八、七五七
(5)	愛知	三八、三七七、三一〇	一、四八〇、〇三一

第一章 緒論 倉庫ノ沿革

之ヲ戰前ニ比較スルニ、大正三年四月ニハ、米穀(一〇、九〇一)砂糖(八、八四四)織物(三、四七九)金物(二、九七三)棉花(一、八二七)紙及原料(一、〇九七)肥料(六七六)絲類(六六九)ノ順序ニテ、合計參千參百貳拾七萬圓ナリキ、米ノ如キハ、米價騰貴シ、東京ニ米ノ集中セル時期ニ多ク、砂糖ハ臺灣糖豐作ナルカ、瓜哇糖ノ輸入多キトキハ入庫多シ、又毛織物ノ如キハ、製造會社カ好況ニシテ、株券ノ價高ク、其信用増進ノ結果、當業者ノ金融圓滑ナルトキハ、倉荷證券ニ依リテ貸出ヲ求ムルノ必要少キヨリ、入庫高モ亦隨テ減少スル傾アリ、其他ノ製造品及其原料モ亦然ルカ如シ、但シ其商品ノ不況永キニ互リ、内外市場ニ投資ヲ行フ時期ニ至レハ、在庫高モ亦固ヨリ減少スルモノトス。

(二)横濱諸倉庫ノ在庫品 ノ特色ハ生絲ノ保管高多キト、輸入外米、食料品、機械等ノ多キ點ニ在リ。生絲ハ當時不況ノ爲メ殊ニ多キカ如シ(昭和二年四月末日ノ合計……五五、八二四、三二二圓

絲類		米穀		機械類		雜食料品		砂糖		金物製品	
品目	金額	品目	金額	品目	金額	品目	金額	品目	金額	品目	金額
絹絲	三、八七〇	外國米	三、〇九七	機械類	四、二二二	雜食料品	一、五八八	精糖	七五五	金物製品	一、二二六
毛絲	三〇	臺灣米	四五			雜品		分蜜糖	七〇〇		
雜絲	三〇〇	内地米	一五								
綿絲	一	朝鮮米	六								
合計	三、二二二	合計	六、六	合計	四、二二二	合計	一、五八八	合計	一、四五五	合計	一、二二六

此他染料塗料(八三〇)、棉花(八〇七)、織物(六八七)、油脂及蠟類(五五二)等アリ、遡テ戰前ノ在庫高ヲ見ルニ、大正三年四月末日ニハ米穀(二、九三二)、金物(二、一一七)、織物(一、五八八)、砂糖(二、三三三)、麻及麻製品(九四八)、肥料(二九一)、藥種及染料塗料(三二〇)、木材(二一〇)、食料品(二九〇)等ノ順序ニテ、合計一千百六十五萬圓ニ過キス、同期ニ於ケル東京在庫品ノ三分ノ一ニ過キサリシカ、現今ハ七八割ニ及フニ至レリ。

(三)大阪諸倉庫ノ在庫品 中重ナルモノハ、織物、砂糖、米穀、棉花、紙及其原料、絲類ニテ、金額孰レモ著シク多ク、就中綿織物及毛織物、棉花、分蜜糖、洋紙ヲ然リトス、昭和二年四月末ノ重ナル在庫品ハ次ノ如シ。(合計……一六三、三八八、八九〇圓)

織物	品目	金額	砂糖	品目	金額	棉花	品目	金額	米穀	品目	金額	紙及原料	品目	金額	鐵類及金物	品目	金額	藥品及染料	品目	金額	羊毛	品目	金額
合計	三、四四		合計	三、四四		合計	三、四四		合計	三、四四		合計	三、四四		合計	三、四四		合計	三、四四		合計	三、四四	
綿織物	二八、九五五		分蜜糖	三〇、七六六		印度棉	二二、四五五		朝鮮米	二二、〇三三		洋紙	三二、〇九五		鐵材	五、三三九		藥品	三、七九		羊毛	六、〇三三	
毛織物	一〇、七九九		精糖	六、七三〇		外國棉	七、〇五二		外國米	四、四七〇		和紙	四、三三三		鐵物	七、〇三三		染料	三、〇三三		羊毛	一、五五〇	
雜織物	二、〇六八		雜糖	一、〇六一		雜織棉	一、〇六一		內地米	二、〇三三		抄紙	一、〇六一		金物	四、〇三三		雜物	一、〇六一		羊毛	一、五五〇	
組織物	一〇〇					雜棉	一、〇六一		臺灣米	二、〇三三		原料紙	一、〇六一		物品	四、〇三三							

此他絲類(六、〇二六)、地金類(三、七〇七)、機械類(一、六七七)、雜食料品(九五七)、糞(九四六)等アリ、之ヲ戰前ニ比較スルニ、大正三年四月末ニハ、砂糖(一二、七三五)、棉花(一〇、九〇二)、織物(九、三八〇)、米穀(三、三七九)、金物(三、一二五)、紙及原料(一、八一九)、絲類(一、三九五)、肥料(一、一六三)ノ如キ順序ニテ、合計四千八百四十萬圓ナリキ。

(四)神戸諸倉庫ノ在庫品 ノ中重ナルモノハ、我邦輸入品中重要ナル棉花、羊毛、移輸入米、其他生

絲等ニシテ、生絲ハ震災後此地ヨリ輸出セラル、モノ漸次増加シタルト(二割内外)、絲價低落ノ爲メナリ、昭和二年四月末ノ重ナル在庫品ハ次表ノ如シ。(合計……一五、八九三、二七圓)

棉花	品目	金額	米穀	品目	金額	羊毛	品目	金額	絲類	品目	金額	藥品及染料	品目	金額	織物	品目	金額	鐵及金物	品目	金額	紙類	品目	金額
合計	五、二七二		合計	三〇、四四五		合計	三、七六六		合計	五、七四四		合計	五、〇三三		合計	二、三三三		合計	一、〇三三		合計	一、〇三三	
米國棉	二、八六八		外國米	九、三三二		羊毛	二、三三三		絹絲	五、〇三三		藥品類	一、〇三三		毛織物	一、〇三三		鐵材	一、〇三三		洋紙	一、〇三三	
印度棉	三、六三三		朝鮮米	五、二二二		雜毛	一、四三三		綿絲	三、三三三		染料類	一、〇三三		綿織物	七、九三三		鐵物	七、九三三		和紙	一、〇三三	
支那棉	九、三三三		內地米	四、一六六					雜絲	一、三三三		塗料	一、〇三三		絹織物	二、九三三		雜物	二、九三三		抄紙	一、〇三三	
雜棉	一、二六五		臺灣米	二、六六六										雜織物	二、四三三					原料紙	一、〇三三		
雜棉	九、二二二		雜穀	二、二二二																			

此他重ナルモノハ護謨及製品(二、三〇九)、機械類(一、五三六)、肥料類(一、二二九)、皮革及製品(一、〇八七)、油脂及蠟類(一、〇一三)等ニシテ、之ヲ大戰前ニ比較スルニ大正三年四月末ニハ、棉花(二一、一九二)、米穀(七、二二三)、織物(一、九六三)、羊毛(一、五五〇)、肥料(一、三七四)、

金物(一、〇九四)、麥粉(一、三四〇)、藥種及染料塗料(五四〇)、軸木(四九〇)等ノ順序ニシテ、合計四千六十萬圓ナリキ、而シテ大正元年ニハ神戸三千五百五十萬圓、大阪貳千九百萬圓、二年六月ノ如キモ神戸四千八百萬圓、大阪四千萬圓(東京ハ貳千八百萬圓)ナリシカ、大正三年以來ハ常ニ大阪ニ一籌ヲ輸スルモノ、如シ。

(五)愛知、三重諸倉庫ノ在庫品 中重ナルモノハ(一)砂糖(一〇、三一九)、(二)米穀(六、七五四)、織物類(五、二二八)、絲類(四、三五三)、棉花(三、六三九)、繭(二、五五五)等ニシテ、合計三八、三七七、三一〇圓ナリキ。

(六)下關、門司諸倉庫ノ在庫品 中重ナルモノハ(一)米穀(一〇、五三九)、砂糖(四、二八九)、紙類(一、五七八)、酒及飲料(八〇六)等ニシテ、合計一九、三七五、七三八圓ナリキ。

(七)京都諸倉庫ノ在庫品 ノ中重ナルモノハ(一)苧(五、三九六)、(二)米穀(二、二二二)、紙類等ニテ、合計一一、四八一、三九七圓ナリキ。

(八)小樽及函館ノ諸倉庫在庫品 中重ナルハ米穀ニシテ、次テ金物ナリ、小樽ノ合計ハ一〇、二八六、八八五圓、函館ノ合計ハ九、八四八、四〇二圓ナリキ、其他各地ノ在庫品ハ臺灣(一千百萬圓)ノ外、大抵二、三百萬圓内外ナリ。

昭和二年四月末ニ於テ全國ヲ通シテ多カリシモノハ次ノ如シ。

全國倉庫重要商品

砂糖		糖		花		棉		計	
分蜜糖	精糖	雜糖	計	印度棉	米國棉	支那棉	雜綿棉	雜棉	計
五、四七、七三三	一、四、四七、七三三	三、三、七、六八	八、二、六、三三	三、七、三、七、七	三、九、四、三、七	一、三、五、一、二	三、三、〇、七、三	三、三、〇、七、三	七、六、三、四、八、四
外國米		米		絲		雜		計	
朝鮮米	內地米	臺灣米	計	絹絲	綿絲	毛絲	雜絲	雜絲	計
二、三、六、五、〇	二、四、一、六、七	二、二、〇、三、〇	二、〇、七、〇、〇	四、〇、四、五、七	六、六、八、九、七	四、一、〇、八、二	一、六、四、六、五	一、六、四、六、五	五、三、九、三、七
織物		物		紙		羊毛		計	
綿織物	毛織物	絹織物	雜織物	洋紙	洋紙	羊毛	羊毛	塗料及染料	計
三、〇、三、三、七、五	一、七、一、〇、二、一	七、三、三、九、二	四、三、三、三、三	三、四、三、九、九	三、四、三、九、九	三、三、九、四、九	三、三、九、四、九	七、七、七、〇、〇	一、五、二、三、四、九
金物金物製品		藥		鐵		豆		計	
煙草	藥	鐵材	鐵材	豆	豆	小麥	小麥	食料品	計
一〇、四、四、〇、一	一〇、四、四、〇、一	一〇、四、四、〇、一	一〇、四、四、〇、一	九、一、五、一、二	九、一、五、一、二	五、五、七、六、一	五、五、七、六、一	五、五、七、六、一	五、五、七、六、一

大正三年四月末日ニ於ケル主ナルモノハ棉花(三二、五四四)、米及豆(二六、五九四)ニシテ、此中外米(一六、七三二)、内國米(七、八三九)、豆類(二、〇二三)、粗製糖(二二、九九六)、綿織物(八、六六一)、金物(七、五三四)ニテ内鐵材(四、三五四)、肥料(五、九六三)ニテ海産ヲ除ク、洋紙(二、六八三)等ナリキ。

扱テ全國諸倉庫ノ在庫品ヲ通觀スルニ、例ヘハ各地方ノ農業倉庫、新潟ノ如ク主トシテ米穀肥料

ヲ保管スルモノ、若クハ函館ノ如ク食料品ト米穀トヲ主トスルモノ、或ハ信州諏訪倉庫ノ如ク繭及生絲ヲ主トシ、福島縣ノ絹絲倉庫ノ如ク、是レ亦繭及生絲ヲ保管スル、農業又ハ工業専門ノ倉庫ハ暫ク措キ(是等ハ農業又ハ製造家ノ金融機關ト爲ル)前記阪神京濱其他諸倉庫ニ寄託セラル、貨物ハ、總テ商人又ハ製造家ノ機關、殊ニ金融機關又ハ賣買機關ト爲ルモノニテ、神戸、横濱ヲ始メ、關門、長崎諸港ノ如キ主タル貿易港ニ集ル貨物ハ固ヨリ、東京、大阪ノ如キ尤大ノ人口ヲ包容スル都市ニ保管セラル、貨物ト雖モ、一旦其倉庫ニ收メラレテ、更ニ他地方ニ分配セラレ、或ハ其附近ノ工業原料ト爲ルモノ少カラサルカ如シ、蓋シ其主要貨物タル、外國米、粗製糖、棉花、羊毛、金物、織物、肥料、紙ノ如キハ、倉庫所在地ニ於テ、直接日用ニ消費セラル、モノ少カルヘケレハナリ。

(但シ紐育ノ如キハ、其倉庫ニ集ル貨物ノ九割(輸出品ヲ除ク)ハ市内ニ於テ消費セラル、貨物ナリト云フ)

輸テ外國貿易ト倉庫トノ關係ヲ窺フニ、輸出品ハ倉庫ニ寄託セラル、モノ比較的少ク、倉庫ヲ利用スルモノハ輸入品、若クハ内國産品ノ内國消費貨物ニ屬スルモノ、如シ、例ヘハ生絲、絹織物、銅、輸出綿絲等ノ如キ、輸出重要品カ之ヲ利用スル割合ハ割合ニ少キカ如シ、(大正九年ノ春暴落以來ノ現象ハ例外ナリ)是レ願フニ輸入ハ買方ニシテ、荷爲替金ノ支拂等金融ノ必要多キモ、輸出ハ賣方ニシテ、荷爲替ノ便アリ、倉庫ニ託シ金融ノ便ヲ求ムルノ必要ナキ爲メニ職由スルモノニシテ、輸出貨物カ積出港ニ在ル時期短少ナルカ如キハ(是レ地方生産者カ輸出時期ニ臨ミテ、地方ヲ發送スルニ由ル、尤モ輸入モ亦其時期ナキニアラサルモ、輸入ノ時期ト、内地消費即チ内地

販賣ノ時期トハ同時ニ爲ス能ハサルコト少カラス、殊ニ見越輸入ノ場合ニ於テ然リトス)其補助原因タルニ過キサルモノトス、蓋シ輸入貨物ニシテ其賣捌ノ時期ト輸入ノ時期トカ遠カルモ、若シ金繰ノ必要ナケレハ、單ニ保管ノミノ爲メ、殊更ニ營業者タル倉庫業者ニ依頼スル必要少カルヘケレハナリ。(保税倉庫ヲ利用スルハ、亦主トシテ金繰ノ爲メ也)

今輸入品ノ太宗タル棉花ニ付テ觀察スルニ、其大部分ハ神戸ニ輸入セラレ横濱ハ其五分ノ一ニ過キス、是レ我邦紡績業ノ大部分カ京阪附近ヨリ以西ニ存在スルカ爲メニシテ、棉花ノ分布割合ハ大阪附近中國筋六割又ハ六割五分、東京二割、名古屋附近一割五分ト云ヘルカ如キ所以ナリ、即チ棉花入庫高ノ神戸、大阪ニ多ク、東京ニ少キ所以ニシテ、(横濱ニ少キハ東京ニ廻ルカ爲メナリ)以テ工業及輸入貿易ト寄託品トノ關係ヲ推知スルコトヲ得ヘシ。

次ニ外國米ヲ見ルニ大正二年ニハ其輸入高神戸千百萬圓、横濱千四百萬圓ト云ヘル割合ナリシモ年度ニ依テ同シカラス、入庫高ハ阪神ト、京濱トハ略同額ニ在ルモノ、如シ。又、毛織物ノ輸入高モ、神戸稍多キモ(大正二年ニ神戸五百六拾萬圓、横濱四百五拾萬圓)是等ハ一方ハ大阪一方ハ東京ニ轉スルモノト見ヘ、東京、大阪ノ在庫品伯仲ノ間ニ在リ、(但シ内國産モ寄託セラル、ヲ以テ、完全ニ比較シ難シ)其他銑鐵、鐵板、鐵管ノ如キ双方ニ輸入セラレ、大阪又ハ東京附近ノ鐵工場ニ入リテ、市内若クハ各地ニ分配セラル、爲メニヤ、金物ハ從來兩者在庫品大差ナカリシカ、京濱ノ合計ト大阪トノ在庫高ト伯仲スルニ至レリ、實綿(肥料ト爲ル)ノ如キハ神戸ニ輸入セララル、

ノミナルヲ以テ(少額ナレトモ)入庫ハ阪神ニ限ラル、ヲ見ルヘシ。而シテ輸入砂糖ハ現今多ク爪哇ノ原料糖ナレトモ(其輸入ハ主トシテ神戸ナリ)、原料ノ大部分ハ臺灣移入ニ屬シ、寄託ハ大阪又ハ東京ノ倉庫ニ依ルモノ、如シ、又内國米ノ如キハ全國各倉庫ニ寄託セラル、モ東京、大阪ニ多キハ市民消費高ノ多キト、之ニ伴フ取引方法發達シ、相場ノ中心タルカ爲メナルヘシ。尙ホ工業トノ關係ヲ見ルニ、全國ヲ通シ主タル在庫品ハ、米穀、海産物、食料品等ヲ除ケハ、棉花、粗製糖、羊毛、鐵材、抄紙原料、繭、軸木、實綿ノ如キ工業原料ニアラサレハ、織物、絲、紙、麻又ハ金物製品ノ如キ製成品ニ外ナラサルヲ以テ、工業ノ勃興ト斯業トハ最モ密接ノ關係ヲ有スルモノト知ルヘシ。

更ニ倉庫ハ年内如何ナル時期カ最モ充滿スルヤヲ見ルニ、入庫貨物ノ種類ニ依リテ同シカラス、内國産米穀カ其出廻期節ニ多ク、輸入品ノ輸入時期ニ多キハ言フヲ俟タサルモ(棉花ノ輸入ハ十二月ヨリ翌年七八月頃マテ盛ンニ、輸入米ハ三四月ヨリ六七月ニ多ク、羅紗ハ五、六、七月ニ盛ンナルモ、例ヘハ鐵塊ノ如キ、毎月大差ナキモノモ之アリ)之ヲ統計ニ徵スルニ、例年平均(全國)多忙ナルハ三四月頃ヨリ八九月頃マテナル如シ。

月次	個						金						額					
	大正15	大正14	大正13	大正12	大正11	大正2	大正15	大正14	大正13	大正12	大正11	大正2	大正15	大正14	大正13	大正12	大正11	大正2
1月	15,678	20,529	18,046	21,502	17,782	8,856	500,232	517,291	462,708	398,722	501,729	99,681						

2	16,237	21,154	18,879	20,344	27,924	8,981	499,094	538,140	503,246	391,155	562,82	106,167
3	17,601	22,790	21,949	21,193	27,887	9,016	511,643	613,399	551,989	418,973	576,941	118,474
4	18,210	22,525	22,371	22,229	27,747	9,425	529,079	638,407	555,294	446,579	597,20	217,304
5	17,626	20,936	23,540	22,963	27,153	9,813	514,775	620,779	552,662	477,970	591,928	141,304
6	16,447	18,431	22,863	23,223	23,999	9,707	515,483	604,598	558,058	506,052	516,820	115,255
7	15,827	16,882	22,716	23,112	23,670	9,723	529,701	609,960	564,325	506,477	529,594	150,015
8	15,833	16,669	22,121	23,664	23,472	10,917	577,415	694,131	637,039	502,058	530,721	145,004
9	16,561	15,996	21,377	27,839	24,072	12,900	518,848	500,974	506,278	388,878	509,721	132,838
10	16,397	15,258	19,518	19,196	27,991	13,150	478,229	572,266	478,311	404,062	467,554	121,350
11	17,378	15,139	18,987	17,491	21,679	12,510	474,337	511,447	452,961	402,457	427,433	21,337
12	18,323	15,963	19,995	17,926	23,604	14,222	475,948	507,069	400,514	433,471	402,692	127,247

農業倉庫ノ概況 大正九年七月二十五日ニ於ケル農業倉庫ノ總棟數ハ千八百ニシテ、其建坪六萬七百二十二坪アリ、之ヲ經營主體別ニ別ツトキハ、産業組合六百三十、農會四十六、町村十五ナリシカ、爾來急速ノ發達ヲ遂ケ、大正十五年六月末現在ノ總棟數四千三百十、此建坪十六萬二千七百坪、經營主體二千百十二ノ内、産業組合千九百四十、農會百十三、公益法人四十二、町村十七ニシテ、總收容力ハ次ノ如シ。

穀物……一二、四四九、九八八俵 繭……一、〇一四、六五九貫

更ニ大正十四年ノ出入貨物中重ナルモノ、數量ヲ見ルニ次ノ如シ。

農業倉庫出入庫貨物數量表 (大正十四年度)

品目	單位	數量			品目	單位	數量		
		繰越	入庫	出庫			繰越	入庫	出庫
米	俵	一、六七、二五八	八、四〇、三二二	七、七三、〇五三	米	俵	一、二七、〇九六	九、九、七六八	八、八、四四九
精米	同	六、四〇八	一七、四、四四	一七、〇、〇六五	精米	同	一、三、五、五五	一、三、五、五五	一、三、五、五五
外米	袋	三、〇、七、九	七、七、五、六六	八、二、三、七三	外米	袋	三、〇、七、九	七、七、五、六六	八、二、三、七三
麥類	俵	九、五、六	二、五、六、三三	二、四、〇、六七	麥類	俵	九、五、六	二、五、六、三三	二、四、〇、六七
豆類	同	三、〇、〇、六三	八、〇、〇、〇〇	七、五、五、六九	豆類	同	三、〇、〇、六三	八、〇、〇、〇〇	七、五、五、六九
雜穀	俵	五、八、九、五	三、五、六、六八	三、〇、〇、五、四	雜穀	俵	五、八、九、五	三、五、六、六八	三、〇、〇、五、四
其他	同	二、九、六、四	六、九、九、六	一、〇、三、六、五	其他	同	二、九、六、四	六、九、九、六	一、〇、三、六、五
肥料	個	一、四、四、三五	一、三、〇、六、九	一、三、〇、六、九	肥料	個	一、四、四、三五	一、三、〇、六、九	一、三、〇、六、九
木材	俵	三、九、六、六	三、九、六、六	三、九、六、六	木材	俵	三、九、六、六	三、九、六、六	三、九、六、六
農産物	同	八、〇、五、〇	八、〇、五、〇	八、〇、五、〇	農産物	同	八、〇、五、〇	八、〇、五、〇	八、〇、五、〇
其他	個	四、五、六	四、五、六	四、五、六	其他	個	四、五、六	四、五、六	四、五、六
茶	貫	四、五、六	四、五、六	四、五、六	茶	貫	四、五、六	四、五、六	四、五、六
果實	箱	七、三、三、三	七、三、三、三	七、三、三、三	果實	箱	七、三、三、三	七、三、三、三	七、三、三、三
繭	貫	三、三、二、七	三、三、二、七	三、三、二、七	繭	貫	三、三、二、七	三、三、二、七	三、三、二、七

尙ホ二、三ノ貨物ニ付キ寄託者ノ割合ヲ見ルニ次ノ如シ。(a)生産者 (b)地主 (c)其他

玄米 (a) 四四・七% 一八八、八三一人 (b) 三〇・五% 六八、七三九人 (c) 二四・八% 一七、九三〇人
 麥類 (a) 四一・二% 三三、〇八七人 (b) 五・八% 一、〇五八人 (c) 五三・〇% 二、九五四人
 繭 (a) 三一・六% 一九、三四七人 (b) 六八・四% 一、〇三三人

(備考) ……%ハ數量ノ割合ナリ。
 海上倉庫 歐米諸港ヨリ本邦ヘ輸入セラル、貨物中ニハ、更ニ我邦ヨリ東洋、南洋方面ニ輸送セラル、モノ少カラス、是等貨物ノ多クハ一旦神戸又ハ横濱ニ陸揚入庫ノ上、次ノ船舶ヲ待テ始メテ目的地ニ輸送セラレ、所謂「トランシツプ」ナルニ重荷役ヲ爲サ、ルヘカラス、一方内地各港間ノ輸送貨物及輸出品中ニモ、亦之ト同様ノ不便ヲ忍ビ居ルモノ少カラサルヲ以テ大正八年我邦ノ有志間ニ、歐米諸國ニ行ハル、海上倉庫制度ヲ我邦ニ設立スルノ議アリ、資本金一千萬圓ヲ以テ、日本海上

倉庫株式會社ヲ創設シ、神戸、兵庫及横濱ニ大規模ノ倉庫ヲ築留シ、傍ラ曳船業ノ兼營センコトヲ企畫シタルト、財界不況ノ爲メ惜イ裁解散ノ非運ニ陥リタリ。

鹽倉庫 鹽ハ倉庫ヲ汚損シ易キ爲メ、普通倉庫業者ハ其保管ヲ驢ハサルノ風アルヲ以テ、政府ハ鹽專賣用倉庫ヲ、外鹽移輸入港タル門司、鐵道輸送力缺乏ノ爲メ、配給圓滑ヲ欠キ易キ長野其他ノ山間地方、冬期航運ノ困難ナル伏木、敦賀並ニ漁業鹽其他鹽ノ大需要地タル小樽等十箇所ヲ選定シ、大正九年度ニ總敷地三千餘坪ノ倉庫ヲ設立スヘク計畫セリ、此收容力ハ約一億斤内外ナルカ、從來ノ計算上少クモ三億斤ノ鹽ヲ常備シ置ク必要アルヲ以テ、尙ホ此外ニ約二倍ノ倉庫ヲ増設スルノ必要アリト云フ。(鐵道省ハ經費八百七十萬圓ヲ投シ、昭和二年ヨリ六年計畫) (ニテ、全國ニ約二百五十箇所ノ倉庫ヲ建設スルニト、爲セリ)

常平倉 政府ハ米價調節ノ策トシテ、大正十年四月米穀法ヲ制定シ、米穀ノ賣買、交換、加工又ハ貯藏ヲ行フコト、セシカ、之ヲ私設倉庫ニ寄託スルトキハ、保管料ニ於テ失フ所少カラサルヲ以テ(豫定ノ三百萬石ヲ貯藏ストセハ、一ケ年三百六七十萬圓ニ上ル)差當リ、三千萬圓ヲ投シテ百萬石收容ノ倉庫ヲ建築スルノ計畫ニシテ、大正十五年マテニ完成シタルハ大阪(三十萬石)、及ヒ東京(三十萬石)ノ二箇所ナルカ、酒田及ヒ門司ニモ建設中ニシテ、此外五萬石乃至十萬石收容ノ倉庫ヲ數箇所ニ建設スル計畫ナリト云フ。

保稅倉庫 ノ狀況如何ヲ觀ルニ、官設ニハ横濱、神戸、大阪、門司、長崎、函館各地ニ在リ、私設ニモ横濱、東京、神戸、大阪、長崎、門司、馬關、大里等ノ諸港ニ在リ、京濱、阪神等ハ孰レ

モ數箇所ニ及フ、多クハ普通倉庫ノ兼營ナレトモ、亦獨立ノモノモ之ナキニアラス、今明治三十
四年以降ノ入庫高ヲ見ルニ次ノ如シ。

年 度	入 庫 高	年 度	入 庫 高	年 度	入 庫 高
三 年	三、六八〇、〇〇〇 ^円	〇 年	三九、七七二、〇〇〇 ^円	二 年	一一五、二八九、〇〇〇 ^円
三 年	(明治) 三、六八〇、〇〇〇 ^円	一 年	四二、六二二、〇〇〇 ^円	一 年	三八、七六四、〇〇〇 ^円
三 年	一、九七一、〇〇〇 ^円	二 年	二四、九六五、〇〇〇 ^円	一 年	二八八、二六六、〇〇〇 ^円
三 年	一五、〇七九、〇〇〇 ^円	三 年	三〇、二一〇、〇〇〇 ^円	一 年	一七五、九一五、〇〇〇 ^円
三 年	一、二八二、〇〇〇 ^円	四 年	二九、四四、〇〇〇 ^円	一 年	一六七、八三一、〇〇〇 ^円
三 年	二、八〇六、〇〇〇 ^円	元 年	六六、八五九、〇〇〇 ^円	一 年	一九九、一四五、〇〇〇 ^円
三 年	三三、四六七、〇〇〇 ^円	元 年	(大正) 六六、八五九、〇〇〇 ^円	一 年	

即チ明治三十五年以來漸ク増加シ(多少物價騰貴ノ爲メ金額増加セシナランモ)偶四十二年度ノ如
ク、著シク少ナキ年アリシモ、元年ニハ俄然六千七百萬圓ト爲リ、又翌二年ニハ更ニ倍加スルノ
盛況ヲ觀ルニ至レリ、其後減少セシカ最近漸増ノ形勢ヲ示スニ至レリ。

保税倉庫ニ於ケル在庫高ノ多キハ、近年十月乃至十二月ニシテ、三月頃ヨリ減少ス、大正十四年
末ニ於ケル主ナル在庫品ノ金額ヲ見ルニ次ノ如シ。

保税倉庫貨物在庫表 (大正十四年度)

砂 糖	一五、三九〇、〇四九 ^円	毛 織 物	五、二九四、九三〇 ^円	紙 類	一、〇六八、五五九 ^円
機 械 類	七、五五一、九八四	小 麥 粉	四、八〇七、八三五		八五二、四〇七

石 油	六、九七四、三一五	織以外ノ金 屬及同製品	二、〇二五、〇三二	藥材化學 及製藥類	七六〇、六七七
-----	-----------	----------------	-----------	--------------	---------

第二款 外國ノ沿革

(一)古昔ノ歐羅巴 遠ク埃及「パピロン」ノ如キ時代ニ於テモ、主タル産物ハ穀物ノ如キ農産物
ニシテ、國王ノ歳入モ亦之ニ依ル場合多カリシカハ、單ニ貯藏ノ目的ヲ有スル穀倉ノ必要ナリシ
ハ言フ俟タス、又凶歳ニ備フル爲メニ貯藏スル穀倉、國王ノ寶物倉庫ノ如キモ各所ニ存在シ、希
臘ノ「アテネ」ニ於テハ、住民ノ食糧ノ不足ヲ補ハンカ爲メ、黑海地方、「シリア」及ヒ埃及ヨリ穀
物ノ輸入ヲ仰キ、其低廉ナル平均價格ヲ維持センカ爲メニ、再輸出ヲ禁シ、賣買ヲ監視シタリト
云ヘハ、常平倉ニ類スル倉庫之アリタル筈ナリ、羅馬ニ於テモ亦食糧ノ供給ニ意ヲ注キ、埃及、
亞弗利加等ヨリ之ヲ輸入シ、「チベル」河畔ニハ一大穀倉アリ、階段ニ依リ河面ト接續セシメテ荷
役ニ便シ、「アペンチン」以南ノ全市區ハ殆ント穀倉(Horrea)ヲ以テ充タサレタリト云フ、然レ
トモ是等ハ固ヨリ營業トシテノ倉庫ニハアラザリキ。

營業倉庫ノ起源ハ中世伊太利ノ商業都市ニ在リ、當時波斯、支那等ヨリ多量ノ穀物其他ノ食糧品
葡萄酒、香料、絹、毛織物、寶石等ヲ輸入セシカ、是等ノ商品ヲ保管スルノ必要ヲ感シ、卒先倉
庫ヲ建築セシハ「ヴェネチア」人ニシテ、渠等ハ倉庫ニ關シテ擔保ヲ提供スルノ方法ヲ始メ、又

流通的證券ヲ發行シ（就中絹及羊毛商人間ニ流通ス）「ロンバルデー」ノ銀行ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ行ヒタリト云フ、而シテ伊太利ノ諸都市ニ於テ斯業カ勃興セシ以前ニ在テハ、倉庫ハ多ク國王又ハ國家ノ所有ニ屬シ、任意穀物其他ノ食糧品ヲ分配セシカ、「アドリアチック」海ノ沿岸ニ於テハ、有力ナル商人ノ「ギルド」カ營利ノ爲メニ之ヲ建設シ、保管場所ヲ單ニ貸貸セシカ、其後「ギルド」ノ崩壞ト共ニ市有ニ移リ、十四世紀頃ニ於ケル「ヴェネチア」市有倉庫ノ寛大ナル政策ハ有名ナルモノナリキ、是等ノ市有倉庫ハ營業的ノモノニシテ、單ニ義倉又ハ常平倉庫ノ目的ノ爲メニ市有トセシ穀倉ハ「ヴェネチア」以外ノ伊太利諸都市、全歐羅巴並ニ英國ニ於テモ至ル所ニ存在セリ、其後航海業カ發達シ保管ト荷役ノ必要ヲ感スルト深ク、更ニ鐵道業ノ進歩、銀行ノ發達ト共ニ、倉庫業ハ全然面目ヲ新ニスルニ至レリ。

(二)英國ニ於ケル沿革 歐洲ニ於テ始メテ倉庫ヲ設ケタルハ、英國ノ「リヴァプール」ニシテ、今ヲ距ルコト約二百年前即チ千七百〇八年ニ在リ、然レトモ當時ノ「ドックス」ノ目的ハ單ニ船積貨物ノ積込及陸揚ヲ便スルニ在リテ、一般商品ヲ保管シ、之ニ對シテ預證券ヲ發行スルニ至リタルハ、其後ノ案出ニ係レリ、而シテ倫敦ニ於テハ、當時ハ未タ此ノ種ノ設備アルナク、貨物ノ陸揚ハ總テ公設ノ波止場ヲ用ユヘキ規定ナリシカ故ニ、商人ノ不便少カラザリシヲ以テ、時ノ宰相「ピット」ハ率先シテ之レカ設立ヲ勸メ、始メテ「アイル、オヴ、ドックス」成ルヲ告ケタリ是レ即チ倫敦ニ於ケル「ドックス」ノ嚆矢ニシテ、爾來商業ノ發達ト共ニ漸次其數ヲ加ヘ、今日

ニ於テハ貨物積卸ノ機關モ完備シ、鐵道モ縱横ニ敷設セラレテ非常ノ便利ヲ供スルニ至レリ。

保税倉庫ノ萌芽ハ和蘭ニ在レトモ、英國ニ於テモ夙ニ十七世紀ノ後半ニ此制度ノ利用ヲ認メラレ、唯相當ニ發達シタルハ十八世紀ノ終リナリキ、即チ保税倉庫ハ一六六〇年ニ起ラントセシカ、埠頭業者及貿易商等ノ反對ニ遇ヒ、其後一七三三年ノ「ロホル」ガ煙草及葡萄酒ノ倉庫ヲ起サントセシモ、是亦反對セラレテ中止シ、一七九九年西印度貿易ノ爲メニ、同船渠成立セリ、最初ハ輸入商ニ對シ關稅ノ割賦拂ナ許シ、内地輸入ノ場合ニハ殘額ヲ一定期間ニ納入スヘク證書ヲ差入レシムル制度ナリキ、從テ若シ再輸出ヲ爲ストキハ、既納ノ税金ヲ還付スルモノト定メ、以テ輸出ノ獎勵ヲ圖リタリ、十八世紀ニ入り此制度ハ漸次發達セシカ、佛蘭西ノ「チユルゴ」モ亦試ニ之ヲ施行シ、英國ニ於ケル發展ハ「アダム、スミス」ノ推獎ニ負フ所少カラサルカ如シ、一八〇三年ノ倉庫ハ法倫敦港内ニ於ケル廣大ナル倉庫地域ヲ認メ、倫敦船渠ノ諸會社カ設立セラレ、エト、爲リ、漸次他ノ諸港ニ及フニ至レリ。一八〇三年ノ設置期間ハ十五箇月ナリシカ、其後之ヲ延長セリ。

(三)佛國ニ於ケル沿革 佛國ニ於テ始メテ倉庫ヲ設ケタルハ、千八百四十八年ニシテ、當時同國ノ商業界ハ恐慌ノ爲メニ大ニ紊亂シ、貨物市場ニ停滯シテ金融逼塞シ、製造業者ハ續々工場ヲ閉ツルノ慘狀ヲ呈シタルヲ以テ、政府ハ此困厄ヲ救済センカ爲メ、其方策ノ一トシテ茲ニ倉庫會社ヲ設立セシムルコト、爲シ、六大倉庫ノ設立ヲ見シカ、事情此ノ如クナルヲ以テ、政府ノ倉庫會社ニ對スル監督頗ル嚴密ニシテ、營業者ノ不便甚キモノアリタルヨリ、國論沸騰、商業會議所ノ改革案ト爲リ、人ヲ英國ニ派シテ、同國ノ制度ヲ研究シ、遂ニ千八百五十八年及五十九年ノ改正ト爲リ、其後屢々之ヲ改正シタルモ、積年ノ遺風容易ニ脱スルコト能ハス、今日ト雖モ尙ホ干渉ノ臭味ヲ存シ、到底英國ノ如ク自由ナル能ハサルカ如シ、例ヘハ其設立ニ於テモ認可主義ヲ採リ倉庫業ヲ營マントスル者ハ、先ツ地方長官ニ請願シ、地方長官ハ商業會議所又ハ商事裁判所ニ

諸問シ、既ニ認許ヲ與ヘタルトキト雖モ、二萬法乃至十萬法ノ保證金ヲ要ストシ、唯商業會議所又ハ市會ヨリ設立ヲ請願シ、私人ニ託シテ其業務ヲ行ハシムル場合ニ限りテ、之ヲ要セスト爲スカ如キ、其適例ナリ。

佛國ニ於テ保稅倉庫ヲ法定シタル一六六四年ノ勅令ニシテ「コレベアー」ノ考案ニ係リ、十一ノ都市ニ之ヲ設立シ、輸出入共ニ課稅ヲ免除セラレ、輸入品ハ六箇月以内ニ輸出セシムルコト、爲シ、一六八八年廢止セシモ、幾何モナク再興シ、輸入品ニ對シテ證券ヲ發行シタリト云フ。

此他獨逸、白耳義、伊太利、埃地利、露西亞、西班牙、和蘭諸國(註)モ前世紀ノ中葉ヨリ漸ク倉庫ニ關スル條例ヲ設ケ、今日ニ於テハ世界ノ商業地ニシテ、其設立ヲ見サルモノ殆ント之ナキニ至レリ。

(註) 獨逸ニ於テ倉庫會社ノ始メテ起レルハ一八七二年ニシテ「マインハイム」ノ會社ヲ嚆矢トス、是レ英、和、白等ノ制度ニ倣ヘルモノナリ、白耳義ハ一八四六年佛國ノ制度ニ倣ヒ始メテ、倉庫法ヲ制定シ、瑞西モ亦佛國ニ則ツテ之ヲ定メタルノトス

第三節 倉庫ノ利害

倉庫カ一般商業者ニ與フル便益ハ頗ル多大ニシテ、其利用ノ程度如何ハ、依テ以テ一國商業ノ發達ヲトスルニ足ルヘシ、今其利益ノ重ナルモノヲ考フルニ大凡五アリ、曰ク經費ノ節減、曰ク金融ノ疏通、曰ク價格ノ維持、曰ク取引ノ便利、曰ク貿易ノ進捗、曰ク危險ノ擔保即チ是レナリ、

以下序ヲ追フテ之ヲ略說セン。

(一) 經費ノ節減 我邦從來ノ慣習ノ如ク、商人カ各自自家ノ倉庫ヲ設ケ、ソレソレ商品ヲ貯藏シ取引毎ニ一々運搬セシムルモノトセンカ、先ツ敷地ハ交通ニ便ナル地ヲ選ハサルヘカラサルカ故ニ、之ニ對シテ多額ノ資本ヲ固定セシメ、建物モ堅牢ニテ火災、盜難其他ニ耐フルモノタルヘキヲ以テ、之ニ對シテモ少カラサル資金ヲ投入セサルヘカラス、其他貨物ノ出入、手入レニ就キテモ相當ノ人員ヲ雇入レテ給料ヲ支拂ヒ、租稅公課ノ負擔ニ任スルノ必要アルノミナラス、商品ノ種類ニ依リ、又賣買ノ期節ニ依リテハ、空シク倉庫ノ全部又ハ一部ヲ空虛ニ爲シ置クコトアリ、然ルニ倉庫會社ニ託スルコト、ナセハ、單ニ僅少ノ保管料ヲ支拂フノミニテ、凡テ前述ノ如キ失費ヲ避ケ、店舗モ簡單ニ使用人モ少ク、資本ノ運用モ充分ナルヲ得テ、資本固定ノ患ヒナキヲ得可シ、サレハ此一事ノミニシテモ倉庫ノ利益ハ餘リアリトイフヲ得ヘケン。

(二) 金融ノ疏通 倉庫ハ以上述ヘタルカ如キ、土藏建設ノ費用、其他ノ資金、及雜費ヲ節約セシムル外、更ニ特筆大書スヘキ一大利益ヲ有ス、即チ銀行業者ト相俟テ、金融上ノ便利ヲ與フルノ點ニシテ、我邦ニテハ從來倉庫證券ノ流通未タ充分ナラス、却テ現物ヲ銀行ニ質入シ、銀行ヨリ更ニ倉庫ニ預ケ入ル、ノ形式ヲ採リ、約束手形ヲ倉庫證券ニ代用シテ、以テ資金ヲ借り入ル、カ如キ狀態(後出)ナリシカ故ニ、到底歐米ノ如キ盛大ナル證券ノ流通ヲ見ルニ至ラスト雖モ、英國ノ如キハ倉庫預リ證券ノ轉讓頗ル頻繁ニシテ、之カ爲メニ日々行ハル、所ノ競賣ハ驚ク可キモ

ノアリト云フ。(我邦ニ於テモ、最近之カ使用ハ著ク増加シタルカ如シ)

商人カ單ニ倉庫ニ對シテ貨物ノ保管ヲ依頼スルニ止マルカ、又ハ借庫トシテ倉庫其物ヲ貸借スルニ過キストセンカ、倉庫ノ利益モ亦極メテ簡單ニシテ、前ニ述ヘタル經費ノ節減ト、後ニ述フル危険ノ擔保トノ二者ヲ出テスト雖モ、預ケ人ノ依頼ニヨリテ預證券及ヒ質入證券(近年ハ一枚ノ倉荷證券多シ)ヲ發行シタリトセハ、前者ハ以テ賣買ニ使用スヘク、後者ハ以テ擔保ニ供シ得ヘキノミナラス、殊ニ貨物ヲ代表シテ所謂物權的效力ヲ有シ、一片ノ紙片ヲ交付セハ、例ヘハ數十百俵ノ米穀ヲ讓渡スルト同様ノ結果ヲ生スル如キ便宜アルヲ以テ、貨物賣買ノ都度、現物輸送ノ運賃ト手數ヲ省クハ勿論、質入上ノ利益少カラサルナリ、蓋シ現品ノ質入ハ普通銀行業者ノ好マサル所ニシテ、商況利ナラス現品ノ賣却不利ナルカ如キ場合ニ於テハ、商人ハ資金ノ融通ヲ得ンカ爲メ、往々賣買ヲ餘儀ナクセラル、コトアルモ、貨物ハ其儘倉庫ニ置キ、證券ヲ以テ銀行其他ヨリ資金ヲ借り入レ、一時ノ急ヲ凌キ、之ヲ取リタル銀行其他ノ質權者ニシテ更ニ資金ノ必要アルトキハ、再ヒ他ニ質入シ、丙、丁、戊ト順次流用スルニ至ラハ、其效ヤ思ヒ半ニ過クルモノアルヘク、金融上恰モ手形割引ト同様ノ便益ヲ與フヘケレハナリ、又都合ニ依リ、一通ノ倉荷證券ヲ利用シ得ルコト後述ノ如シ。

右ハ倉庫證券ノ發行ニ伴フ普通ノ融通法ナルモ、近來深川三菱倉庫株式會社ハ一便法ヲ按出シ、荷爲替附貨物ノ荷受主ヲシテ荷受ノ資金ナキモ、永ク貨物ヲ處置スル能ハサルカ如キ不便ナカラ

シムル爲メ、特ニ運送會社ト荷受人トノ間ニ仲介シ、運送業者ノ爲メニ一時庫入シ、更ニ銀行ヨリ信用ヲ得テ、貨物引換證ヲ活用シ、然ル後荷受人ニ對シ見本抽出ノ便即チ賣主ヲ發見シ、資金ヲ得ルノ便法ヲ興フト云フ、是レ亦倉庫カ金融上ニ及ホス利益ノ一ナラン(後出)。

(三)價格ノ維持 商品ノ相場ハ供給夥多ノ爲メニ低落スルコト少カラス、然レトモ實際現存スル物品ノ分量カ直ニ相場ヲ左右スルニアラスシテ、賣ラントスル商品ノ量カ需要ニ比シテ多キ時ハ其相場ヲ下落セシムルナリ、故ニ此ノ如キ時ニ際シ、荷主ニシテ資金ノ餘裕アリ、強腰ニ構ヘテ猥リニ投資ヲ試ミサル時ハ、能ク商品ノ市價ヲ維持スルヲ得ヘシ、倉庫ハ又此便益ヲモ供スルモノニテ、供給夥多ノ時期ニ於テハ之ヲ倉庫ニ託シ、且ツ證券ニ依リテ資金ヲ融通シ、徐ロニ需要ノ起ルヲ待ツテ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘシ。米麥ノ如キ供給ノ時期一定セルモノ、又ハ損敗シ易キ貨物ハ殊ニ此利益ヲ受クルコト頗ル大ナリ、倉庫業ハ斯ノ如ク時期ニ因ル市價ノ差ヲ補フト同時ニ、冷蔵船車ノ如キハ、場所ニ因ル市價ノ差ヲ調節スルノ效少カラス。

(四)取引ノ便利 右ノ如ク倉庫ノ發行スル證券ハ其流通自在ニシテ、直接現物ヲ運送受授スルノ勞ナクシテ、安全且ツ迅速ニ賣買セシムルカ故ニ、此點ニ於ケル取引上ノ便利既ニ多大ナルノミナラス、倉庫ハ、同種ノ商品ヲ多量ニ收集シ、而モ產地、品位ハ買手ノ選擇ニ任スルカ如キ便宜アルヲ以テ、製造業者輸入商等ニ對シテハ好販賣所タリ、又、卸、小賣ノ商人ニ對シテハ頗ル便利ナル仕入地タルノ觀アリ、現ニ英國倉庫會社ノ公賣場(Public Sales Room)ニ於テハ、寄託主ノ

依頼ニ應シ、時々預證券ノ競賣ヲ行ヒ、其一特色トシテ有名ナルモノナルカ、此方法ヲ始メタルヨリ、商人其他一般ノ消費者ニテ此處ニ集ル者少カラス、延ヒテ倉庫業ノ繁榮ヲ加ヘタルコト著シキモノアリト云フ。

取引所ノ關係 取引所ニ於ケル穀物其他商品ノ賣買ハ、内外共ニ將來ノ引渡ヲ約スル先物取引ニ屬スルヲ以テ、一定ノ標準見本ニ據リ、各品種若クハ銘柄ニ對スル格付ヲ定メテ賣買セラル、ヲ常トス、而シテ格付ハ我邦ノ如ク各取引所ニ於テ之ヲ定メ、指定倉庫ハ單ニ現物ノ受渡ト代金ノ受授ヲ取扱フニ止ルモ、米國ニ於テハ農務省カ一定ノ格付ヲ定メ、取引所ノ監督スル認定倉庫ハ其格付ニ據ル保管貨物ノ倉庫證券ヲ用ヒ、充分ノ信用ヲ以テ受渡ヲ行フカ故ニ、取引上ノ便少カラスト云フ、孰レニセヨ大量ノ代替商品ヲ賣買セシムルコトヲ目的トスル取引所ナル機關ト、其保管ト取引ニ便宜ヲ供スル倉庫業トハ、離ルヘカラサル關係ヲ有スルヤ多言ヲ要セス。

終點役務 倉庫ハ貨物ノ保管ヲ本務ト爲スモ、之ニ伴ヒテ種々ノ荷役ヲ行フヲ常トス、即チ汽車、汽船ヨリノ積卸、小荷物ノ蒐集及配達ノ如キ所謂小運送、ソレ等ノ準備行爲タル仕分其他ノ手入、貨物ノ移送ノ如キ類ニシテ、是等ヲ終點役務 (Terminal facilities) ト稱シ、荷主ノ便宜少カラサルト同時ニ倉庫ノ收入モ亦少カラス、中ニハ保管料收入ヨリ多キモノアリト云フ。

米國倉庫ノ終點役務 米國ニ於テハ從來此種ノ役務ハ主トシテ鐵道會社ノ業務トセラレ、殊ニ集配ノ如キハ專ラ其行フ所ニシテ、荷送主モ、荷受主モ共ニ無料ニテ (但シ自己ノ責任) 鐵道ノ上屋ニ保管セラレタリシカ、一九〇六年ノ「ヘップス」



シ」法 (特別割引禁止法) 制定以來大ニ衰へ、最近十五年間ニ於テ倉庫業就中商品倉庫ノ重要業務ト爲リ、中ニハ主トシテ此種ノ業務 (殊ニ集配、輸送) ナ行ヒ、保管業務カ却テ附屬的ニテ、倉庫モ狭少ナルカ如キモノアリ、運送取扱業務ノ如ク小荷物ヲ集メテ一車積 (Pool car) ト爲シ、以テ運賃ヲ省キ、各地ノ倉庫ト聯絡ヲ取リ、之ヲ各地方ニ送リテ配達ノ勞ヲ探リ、市内配達ノ貨物ノ如キモ、多クハ倉庫ニ託シ、船車ノ聯絡ノ如ク、更ニ貯藏ノ必要ナキ業務オモ取扱ヒ、「シカゴ」「カシス」、シチー「ミンニアポリス」ノ如キ大集散地ニ於テハ、此種ノ業務最モ熾ンナリト云フ。

英國ニ於テハ一九〇九年諸船渠會社カ、倫敦港務局 (半官半民ノモノ) ノ管理ニ屬シテヨリ、同市ノ荷役ハ主トシテ其手ニ依リテ行ハル、一方ニ、從來ノ船渠業者モアリテ之ヲ行フモ、其組織不完全ニシテ、荷役賃モ亦高シト云フ。

(五) 貿易ノ進捗 保税倉庫カ輸入税未済ノ商品ヲ保管シテ、輸入貿易ヲ便ナラシムルハ、後ニ述フル所ノ如クナルカ、普通ノ倉庫モ亦重要輸入品ヲ保管シテ、其藏置場ヲ供シ、其金融ヲ疏通シ、輸出品ト雖モ多少斯業ノ便益ニ浴スルモノナレハ、倉庫業ノ發達ハ外國貿易ノ盛衰ニ影響スル所尠カラサルナリ。

(六) 危險ノ擔保 商人カ各自自家ノ倉庫ニ商品ヲ保管シ居ルトキハ、其危險負擔ハ固ヨリ自己ノ頭上ニ在リテ、盜難其他雇人ノ怠慢過失等ヨリ生スル損害モ、亦自ラ負擔セサルヘカラス、隨テ注意監督上居常ノ心勞云フヘカラサルモノアルニ反シ、之ヲ倉庫ニ委託スルトキハ、天災、事變其他全ク已ヲ得サル事由ニ基クモノ、若クハ氣候ノ變遷、貨物ノ性質、荷造ノ不良等ニ因ルモノ外、倉庫ハ充分ノ責任ヲ負フテ保管ノ義務ヲ盡スカ故ニ、此點ニ於テモ預ケ主ノ利益少カラス、又火災保險ノ如キモ、商人各自附ケ得ラレサルニアラサルモ、自ラ保險會社ト交渉スルハ面倒ナ

ルヲ以テ、不知不識ノ間ニ之ヲ附スルヲ怠リ、爲メニ意外ノ損失ヲ招クコト珍シカラス、然ルニ倉庫ハ多ク保險ニ附スルノ習慣ニテ、倉庫ハ安全ナル建物内ニ藏置シ、且ツ一纏メニ保險會社へ依頼スルカ故ニ、保險料モ亦割安ナル等ノ利アルヘシ。

一般倉庫ハ單ニ貨物ノ保管ヲ爲スニ止リ、我邦ノ倉庫ノ如キモ、貨物ノ性質、氣候ノ變遷ニ因ル損害ハ、賠償ノ責ニ任セサルモ、彼ノ冷蔵倉庫ノ如キハ、貨物ノ腐敗減損等ヲ除ク保存行爲ヲモ營ムモノニテ、是亦倉庫業ノ一新利益ナルヘシ。

右ハ保管倉庫ノ主ナル利益ナルカ、此他附隨ノ業務ニ伴フ利益ニシテ、亦輕視スヘカラサルモノアリ、例ヘハ代金取立トテ、預ケ主ニ代リ庫入貨物ノ賣却代金ヲ取立テ、且ツ現物受渡ノ勞ヲ取ルモノ、又前述ノ如ク貨物ノ轉送トテ庫入貨物ヲ遠隔ノ地ニ賣却シタルトキ、荷主ニ代リテ入庫ノママ送達スルモノ、其外割引ノ周旋等ノ如シ、殊ニ貨物ノ轉送ノ如キハ、米國ニ於テハ寧ロ主要業務ト見ルヘク、鐵道、船舶トノ連絡實ニ至便ニシテ、尙ホ市場ノ景況ヲ蒐集シテ之ヲ報告シ或ハ荷主ノ爲メニ商品ノ仕入ヲ行フナト、種々ノ便宜ヲ與ヘ居レリト云フ。

(倉庫ノ弊害) 倉庫ハ以上ノ如ク種々ノ利益ヲ有スルカ故ニ、之カ利用宜シキヲ得ハ、以テ一國商業ノ發達ニ貢獻スル所尠少ニ止マラサルヘキモ、利弊相伴フハ數ノ免レサル所ニシテ、往々之ヲ害用シ、弊竇ヲ醸シタルコトアリ、即チ空荷證券ノ發行ニシテ、現品ノナキモノニ對シ、宛モ之レアルカ如ク裝フテ、倉庫證券ヲ發行シテ資金ノ融通ヲ得ルコト、猶ホ空手形ノ如ク爲スノ點

ニシテ、現ニ我邦ニ於テモ、先年兵庫倉庫ハ此種ノ惡策ヲ弄シテ大失敗ヲ露ハシ、延イテ海外取引先ノ信用ヲ墜シタルコトアリ、又函館ノ某倉庫モ空證券ノ發行ニ關シ紛擾ヲ極メタリト聞ク、抑モ倉庫ハ信用ヲ基礎トスル者ニシテ、殊ニ倉庫證券ノ流通ノ如キハ、全ク信用ニ依リテ行ハレ一朝之ニ疑ヲ挾ムニ至ランカ、遂ニ之ヲ受授スル者ナク、隨テ倉庫ノ利益ハ大部分失ハル、コトトナラン、商業信用ノ發達尙ホ幼稚ナル我邦ノ如キ國柄ニ在ツテハ、右ノ如キ失態ヲ生スル、或ハ自然ノ勢ヒナランカナレトモ、退イテ我國倉庫業ノ狀況ヲ窺フニ、一般商人ハ未タ證券ノ利用ヲ知ラス、倉庫事業ハ尙ホ其發程ニ在ルノ秋ニ當リ、假令一二ニテモ此ノ如キ事實ヲ耳ニスルハ惜シム可キ事共ナリ。

此他(一)保管料荷役賃高率ニシテ、而モ料率ヲ協定シ、獨占的ト爲ルノ弊アリ、(二)之カ爲メ却テ物價ヲ高ムル虞ナキニアラス、(三)殊ニ投機ヲ促ス場合ニ於テ然リトス、從テ是等ノ弊害甚キニ至ラハ、相當ノ取締法ヲ設ケテ監督スルノ必要アリ、其他尙ホ商法ヲ改正スル外、猶別法(即チ一般倉庫法)ヲ制定シテ、斯業ノ改善ヲ圖ルト同時ニ、制限ヲ加フルノ必要アルヘシト信ス。

[註] 米國ニ於テモ從來倉庫業ニハ種々ノ弊害アリ、我邦ノ如ク(一)空證券ヲ發行シ(In anticipation of goods or on the promise of owners to deliver into storage)(二)或ハ寄託物ヲ利用シテ賣買シ、(三)若クハ穀物、棉花其他最モ多ク倉庫ヲ利用スル貨物ニ於テ、在庫高ノ統計ヲ利用シテ投機賣買ヲ行ヒ(四)鶏卵、鳥肉、野菜等冷蔵庫ヲ利用スル貨物カ、買占ノ便ヲ供シ肉類ノ如キモ商人ヲシテ市場ノ供給ノ制限スルコトヲ得セシメ、砂糖ニ於テハ在庫品ノ統計ヲ針小棒大ニ吹聴シタルカ如キコトアリ、倉庫ノ利益ヲ減殺シタル場合少カラス。

米國某倉庫業者ノ如キモ、倉庫證券ノ危險ハ(一)貨物ニ關スル記載方虛偽又ハ不完全ナルコト、(二)倉庫方保管貨物ヲ自ラ利用スルコト(三)相當ノ注意ヲ拂ハサルコトノ三點ニ在リトシ、是等ノ場合ニ於テハ、倉庫ノ貨物ニ對スル全部又ハ一部ノ財產權ヲ失フヤモ圖リ難ク、唯損害賠償ノ權利ヲ殘スニ過キサルモノト爲シ、更ニ倉庫業者ノ誠實ナルコト、其營業ニ堪能ナルコト、及金錢上ノ責任ヲ感スルコトハ、實ニ倉庫ノ顧客ヲ誘引スルノ效アルノミナラス、尙商業社會及一般金融社會ヲシテ、其倉庫證券ヲ信用セシムルノ利益アリト爲セリ。

米國ニテハ往々自己ノ私有倉庫ニ保管セル貨物ニ對シ、倉庫證券ヲ發行スル者アルモ、此ノ如キハ單純ナル保管證書ナレハ貨主又ハ買主ニ云爲セラレサル間ハ、貨物ヲ請求シ得ヘキモ、發行者方破産スルカ、貨主又ハ買主方之ニ對シテ權利ヲ主要スルトキハ、證書所持人ハ何等ノ財產權ヲモ有スルコト能ハサルヘシ、又米國ニハ商人又ハ製造會社カ、其商品又ハ製造品ヲ保管シ取扱ハシムル目的ヲ以テ、別ニ倉庫會社ヲ設立シタルモノアリ、此種ノ倉庫中ニハ往々其支配人ヲシテ貨物ナキ證券ヲ發行セシメ、又ハ證券ナキニ出庫セシムルコトナトアリ、又或ハ倉庫會社自ラ商賣ヲ試ミ、入庫貨物少キトキハ、一般市場ニ於テ或商品ヲ買入レ、之ヲ入庫シテ他地方ノ銀行ヨリ資金ヲ仰クカ如キモノモ之アリト云フ、然レトモ近年ハ倉庫業者ノ自覺ト倉庫法ノ完備トニ因リ、米國ニ於テモ倉庫業ニ伴フ往時ノ弊害ハ大ニ減少シ、就中著シキハ、冷蔵倉庫ト穀物及棉花ニシテ、棉花倉庫ノ如キハ一九一六年以來、全然面目ヲ改メタリト云フ。

〔註〕 倉庫證券ハ寄託契約ヲ根據トスルモノナレハ、寄託契約ニシテ存在セサルカ、又ハ無效ナルトキハ、其證券モ亦當然無效ナラサルヘカラス、隨テ空證券ノ所持人ハ倉庫ニ對シテハ、唯其故無過失アル場合ニ於テ、之方損害賠償ヲ爲シ得ルノミニ止ル、故意ノ場合ニ於テハ倉庫ハ詐僞トシテ刑法上ノ制裁ヲ受クルノ理ナリ。

第二章 倉庫ノ業務

第一節 業務ノ種類及會社ノ組織

倉庫ノ行フ業務ハ國ニヨリ地方ニヨリ、將又會社ニヨリ、多少ノ差異アルヲ免レスト雖モ、茲ニハ大體我邦ノ重ナル會社カ現ニ取扱フ所ニ依リテ説明シ、外國ノ倉庫業ハ後章其節ニ至リテ述フルコト、スヘシ、今其重ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ。

一、貨物ノ保管 二、倉庫證券ノ發行 三、倉庫ノ賃貸 四、火災保險

五、委託販賣及代金取立六、貨物ノ轉送 七、割引ノ周旋

右ノ中貨物ノ保管及ヒ倉庫證券ノ發行ハ學者ノ所謂主要業務ト稱スルモノニシテ、此二者ヲ行フ者ハ現今ノ觀念ニ於ケル倉庫業者タルヲ妨ケス、第三以下ハ所謂附隨業務ナルモノニシテ、一般商業ノ發達ニ伴フテ、漸次倉庫業者ノ營業範圍ニ入りタルモノナリ、今參考ノ爲メニ三菱倉庫會社ノ營業規則ヲ見ルニ、其總則中

第一條 當會社ノ倉庫營業課目ハ左ノ如シ

- 一、貨物ノ保管
- 二、保税倉庫業務
- 三、保税工場業務
- 四、倉庫ノ賃貸

第二章 倉庫ノ業務 業務ノ種類及會社ノ組織

- 五、當會社各營業所間ニ於ケル受寄物ノ轉送
- 六、受寄物ノ委託販賣及ヒ代金ノ取立
- 七、前各項ニ附帶スル諸般ノ業務

トアリ、此項目中ニ於テ證券發行並ニ火災保險ヲ省キタルカ如キ觀アルモ、一ハ保管ニ伴フモノト認メ、他ハ別ニ列記スルノ要ナキモノト爲シタルカ爲メナラン。

今倉庫カ主要業務ノ外、種々ノ附隨業務ヲ兼營スル理由ヲ考フルニ、其主ナルモノハ次ノ如シ。

- (1) 倉庫ノ主要業務ハ受働的ニシテ、比較的簡單ナルヲ以テ、之ニ關係スル他ノ業務ヲ兼營スルノ餘地アルコト
- (2) 倉庫ハ多額ノ資本ヲ固定スルモノナルニ、其純收入ノ割合ハ比較的少キヲ以テ、他業ニ依リテ之ヲ補フノ必要アルコト

(註) 大正六年頃ニ於ケル東京ノ二、三倉庫ノ利益配當率ヲ見ルニ、年五分、七分、七分三厘、八分三厘ナトニテ、多キモノ割ニ上リタルハ稀ナルカ如シ。

- (3) 倉庫ハ銀行業(日本)若クハ鐵道業(米國)ノ如キモノト密接ノ關係ヲ有シ、往々其附屬物タルモノ之レアルヲ以テ、手形割引、貨物轉送等ニ對シ、特別ノ便宜ヲ有スルコト。

- (4) 保管貨物ニ關シテ、質入、賣買、轉送等種々ノ便宜ヲ供スルハ、延ヒテ主要業務ヲ發達セシムルノ手段ト爲ルコト (Being a business man in a competitive industry, the warehouseman is seeking to attract business, to build up goodwill. Whatever he can do to secure this good

will, he is glad to do..... Dunoon: Marketing)

- (5) 他ノ會社、例ハハ保險會社、運輸會社、銀行等へ交渉スル場合、荷主カ個人的ニ行フヨリ有利ナル條件ヲ得ルコト。

以下各種ノ業務ヲ説明スルニ當リ、先ツ倉庫ノ組織ヲ述フヘシ。

我邦ニ於テ倉庫業ヲ營ム者ハ多クハ株式會社ニシテ、事實上個人ノ資本ヲ以テ成立スルモノト雖モ、荷主ノ信用若クハ意ヲ迎ヘンカ爲メ、並ニ租稅輕減等ノ爲メニ、故ラニ形式上之ヲ株式組織ト爲シタルカ如キモアリ、尤モ舊三井倉庫ノ如キ合名組織ノモノ、又ハ濫澤、中村倉庫部ノ如キ個人ノモノモアレハ、一概ニハ言ヒ難シ、支店ハ三菱倉庫株式會社ノ如ク大阪、神戸等樞要ノ商業地ニ有スルモノアレハ、又全ク之ナキモアリテ一樣ナラス、内部ノ組織ハ例ニ依テ社長、取締役、監査役等ノ全體ヲ總括スルアリ、次ニ支配人、副支配人ヲ置キ、係ハ入庫係ヲ始メトシテ出庫係、庶務係(會計、統計等ノ事務ヲ取扱フ)用度係、及貨物係(又倉庫係、現場係トセ云ヒ、倉庫及貨物ノ出入ヲ監督ス)等ニ分チ、ソレソレ分業ニ依ルコト、他ノ業務ニ於ケルカ如シ、倉庫業カ倉庫ノ敷地、建物等ニ要スル所ハ廣大ナルヘキヤ當然ナルモ、業務ノ性質上、人夫以外ノ係員ハ比較的多カラサルカ如シ、尙ホ是等ノ點ハ後章倉庫ノ經營編ニ於テ詳説スヘシ。

第二節 貨物ノ保管

第一款 保管ノ意義

(一)寄託 俗ニ物ヲ預カルト云フニ種々ノ意義アリ、銀行カ金ヲ預カルト云フハ、名ハ預カルト云ヘト其實金錢ヲ借入ル、ニ齊シク、法律上消費貸借ノ規定ヲ準用ス、銀行ハ預リタル百圓札トカ、十圓札トカ、其現物ヲ返スノ義務ナク、單ニ同一金額ヲ返却スレハ足ル(利息ハ別問題)モノナレハナリ、之ニ反シテ倉庫會社カ物ヲ預ルハ右ト全然趣ヲ異ニシ、預リタル現物ヲ引渡スヘキ義務アルコト、猶ホ普通人カ他人ノ物ヲ預リタル場合ノ如シ、唯異ルトコロハ、普通人ノ預リタルヨリ少シク重キ責任ヲ負フニ在ルノミ。(銀行ノ預キチ民法上ノ不規則寄託トスルモ、是亦消費貸借ニ準ジテノ規定ヲ準用スルモノナルヲ以テ、事實上消費貸借ニ準ジ)

寄託トハ當事者ノ一方カ其受取リタル或物ヲ、相手方ノ爲メニ保管スルコトヲ約スル契約ニシテ(民法第六百五十七條)之ニ報酬ヲ受クルモノ(有償)ト、受ケサルモノ(無償)トノ別、及ヒ商業上ノモノト、商業以外ノモノ(假ニ民事上ノ寄託ト呼フ)トノ別アリ、即チ

寄託

民事寄託 無償 原則 普通ノ注意
有償 例外 善良ノ注意
商事寄託 有償 原則 善良ノ注意
無償 例外 善良ノ注意

民事上ノ寄託、例ヘハ友人ノ物ヲ預リタルカ如キ場合ニ於テハ、別ニ報酬ヲ出ス約束ナキ以上ハ、

之ヲ請求スル權利ナケレト、商業上ニ於テハ、營業ノ範圍内ニ於テ預リタルモノ、例ヘハ販賣ヲ依頼センカ爲メ積送シ來レル物ノ如キハ、之カ保管料ヲ請求シ得ルノ權利アルモノトス。

又民事上ノ寄託ニテ無償ナルモノハ、自分ノ物ニ對スルト同様ノ注意ヲ以テ保管スレハ可ナルモ、商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ寄託ヲ受ケタルトキハ、假令報酬ヲ受ケサルトキト雖モ、所謂善良ナル管理者ノ注意(又良家父ノ注意、若クハ抽象的注意ナト、云フ)ヲ爲スヲ要ス、商事有償寄託ヲ本業トスル倉庫會社ノ注意ノ程度モ、亦固ヨリ斯ノ如クナラサルヘカラスルヤ明カナリ。

(二)注意ノ程度 茲ニ善良ナル管理者ノ注意ト云フハ畢竟程度問題ナレトモ、ソノ理想トスル所ハ、自己ヲ標準トセス、一般人ヲ標準トシタル精密ノ注意ニシテ、例ヘハ若シ自己ノ物ニ對スルト同一程度ノ注意ニテ足レリトセンカ、受寄者生來粗漏ナルトキハ、自己ノ力ノ及フタケノ注意ヲ與フレハ、ソレ以上ノ責任ナシト雖モ、善良ナル管理者ノ注意ト云フトキハ、必ラスヤ通常人ノ爲スヘキ精密ノ注意タルヲ要スルカ如シ。

倉庫ハ他人ノ貨物ヲ保存管理スルヲ業トスルモノナルヲ以テ、原則トシテハ此目的ニ適應スル建設物ヲ有セサルヘカラスト雖モ、我商法ハ單ニ注意ノ程度ヲ定メテ「善良ナル管理者ノ注意」ト爲スニ止マリ、建物ニ關シテハ、何等ノ制限ヲ加ヘサルヲ以テ、苟モ此程度ノ注意ヲ加フルコトヲ得ルニ於テハ、如何ナル種類ノ建物ニテモ、如何ナル構造設備ヲ以テスルモ、毫モ妨ケナキノ理也、唯東京府ニ於テハ、危險物ヲ藏置スル倉庫ノ建築ニ關シテハ「危險物取締規則」(大正十四年

三月一日施行)ナルモノアリテ、綿密ニ建築法ヲ制限スルヲ以テ、此規定ニ準據セサルヘカラス、又保税倉庫、農業倉庫、保税工場等ニ於テハ、其施行規則ニ於テ、建物ニ關スル事項ヲ記シタル書面ヲ願書ニ添附シ、變更ノトキモ届出ツヘキ義務アルノミ、而シテ保税倉庫ニ就テハ、歐米各國多少ノ制限ヲ加フルヲ常トシ、殊ニ英國ノ如キハ最モ精密ヲ極ムト雖モ、一般倉庫ニ關シテハ、亦單ニ注意ノ程度ヲ定メ、之ヲ各人ノ任意ト爲スモノ多キカ如シ、米國ハ州ニ依リ倉庫法及判決例ヲ異ニスル國柄ナルカ「ペンシルヴェニア」外ニ、三ノ州ヲ除ケハ、倉庫ノ建築法ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケタルモノナシ、今之ニ關スル二三ノ例ヲ示セハ次ノ如シ。

(一) Mississippi州……ニ於テハ倉庫業者ノ貨物保管ニ對スル責任ヲ、相當且普通ノ程度ニテ足リ、一般人カ自己ノ私事ニ對シテ加フル如キモノニテ可ナリトシ、更ニ倉庫ノ建築法ニ就テモ、アラユル出來事ニ耐ユルヲ要セス、單ニ普通ノ出來事ニ對シテ安全ナルハ充分ナリト爲セリ。

(It is only required of a warehouseman that he should exercise reasonable and ordinary diligence in the keeping and preservation of articles intrusted to him, such as men exercise in their own private affairs.

A warehouseman is not required by law to construct his buildings secure from all possible contingencies, but they are sufficient if reasonable and ordinary safe against ordinary and common occurrences.

(二) Tennessee州……ニ於テハ「普通ノ注意」ヲ解シテ、佳良且ツ適村ノ倉庫業者カ類似ノ場合ニ示スヘキ注意、若クハ自己ノ業務ニ經驗アリ且ツ忠實ナル商人カ、其業ヲ行フニ當リ示スヘキ注意ナリトシ、倉庫ハ適當ノ建物ナルヲ要スルモ、必ラスモ耐火性ナルヲ要セス、且ツ倉庫業者ノ負擔スル危險ノ程度ニ適應スル方法ヲ以テ、此建物ヲ監視セサルヘカラスト爲ス。

(三) New York州……ハ、大體「ミシシッポイ」州ニ等シク、注意ノ程度ハ普通ノ注意ニテ足リ、如何ナル不注意カ普通ノ例

意ト爲ルヤハ、畢竟事實問題ナリトシ、舉證ノ責任ハ亦我法律ノ如ク倉庫業者ニ在リト爲セリ。

米國ニ於テハ農産物ニ關シテ米國倉庫法(United States Warehouse Act, 1916)ヲ制定シ、農産物倉庫ヲ公認シ、之ヲ検査監督シ、以テ其證券ノ信用ヲ増加スルコトヲ圖リ、又各州ノ商業ニ關スル法律ヲ統一スル目的ヲ以テ組織セラレタル、州法統一全國委員會ハ、倉庫證券ニ關シテモ亦模範的ノ法律(Uniform Warehouse Receipts Act)ヲ設ケ、現今ニ於テハ僅ニ四州ヲ除ク其ノ他ノ州、並ニ「コラムビア」「アラスカ」比律賓、「ポートルコ」ニ至ルマテ、悉ク之ヲ採用スルニ至リ、從テ注意ノ程度ノ如キモ接近スルニ至レリ(尤モ之ハ普通法ノ事項ナレト)、即チ倉庫業者ノ注意ハ「同標ナル貨物ノ相當注意深キ所有者カ行フヘキ程度」ナルヲ要スルモ、此程度ノ注意ヲ爲スモ避ケ得ヘカラサリシ喪失又ハ損害ニ對シテハ、反對ノ契約ナキ限リ責任ナシト定ム、而シテ倉庫業者ハ他ノ寄託者ノ貨物ト區別スルニ止ラス、同一寄託者ノ貨物ニテモ、別ニ倉庫證券ヲ發行シタルトキハ、ソレ等トモ區別スヘキ義務アリ、畢竟寄託物ヲ其マ、返還スルノ義務アル爲メナレトモ、特約又ハ商業上ノ習慣アルトキハ、混合保管ヲ行ヒ得ヘシト定ム。

我法律ハ倉庫ニ命スルニ、善良ナル管理者ノ注意ヲ爲スヘキコトヲ以テスルモ、此規定ハ單ニ保管營業者タル倉庫ノ責任ニ關スル規定ニ過キスシテ、公益的規定ニアラサルヲ以テ、豫メ特約ヲ以テ、此程度ノ注意ヲ爲サ、ルモ可ナル旨、例ヘハ輕過失ニ因ル火災ヨリ蒙レル損害ハ倉庫之ヲ賠償セスト定ムルモ、固ヨリ有效ナルモノトス、蓋シカ、ル契約ハ公ノ秩序又ハ善良ナル風俗ヲ害スルモノニアラサレハ也(明治四十四年七月七日函館控訴院判決例)但シ故意又ハ重過失ニ由ル損害ハ、豫メ特約ヲ以テスルモ、之ヲ免ル、コトヲ得サルモノトス(明治二十六年四月、及二十七年十一月大審院判決例)

(三)保管 寄託ハ「預ケル」方ノ側ヨリ觀タル言葉ニテ、寄託ヲ受クル者、即チ受寄者(例ヘハ

倉庫ノ側ヨリ觀レハ、寄託ヲ受ケテ保管スルヲ目的トス、保管ハ蓋シ保存管理 (Preservation and safe-keeping)ノ行爲ナリ、商法第三百五十七條ハ倉庫營業ノ定義ヲ下シテ曰ク、「倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ」ト。

右ハ保管ノ法律上ノ意義ニシテ本節倉庫業ノ一部タル保管モ、亦此意義ノ保管ニ外ナラス、即チ倉庫ノ根本ノ業務ニシテ、商人其他ノ依頼ヲ受ケテ、或ル種ノ貨物ヲ預リ、一定ノ保管料ヲ申受ケ、預ケ主ノ請求ニ依リテ出庫スルモノナリ (混合保管ノ例外アルコト、既述ノ如シ) 而シテ倉庫證券ハ、後ニ述フルカ如ク、預ケ主ノ求メニ依リテ發行スルモノニテ、保管アレハ必ラス倉庫證券アリト云フニアラサルヲ以テ、保管ハ其レ自身獨立ノ業務タルナリ、今少シク其實際手續ヲ述ヘ、次ニ保管物、保管料等ニ及ハン。

次ニ考察スヘキハ混合保管ノ我邦法律上ニ於ケル關係ニシテ、商法ニハ何等之ニ關スル規定ナキカ故ニ、民法ニ依ルヘキヤト云フニ、此寄託ハ民法上ノ普通ノ寄託ニアラサルト同時ニ、倉庫ヲシテ之ヲ消費セシムルコトヲ約スルモノニアラサルヲ以テ、民法第六百六十六條ノ不規則寄託ニモアラス、然ラハ、全國別個ノ契約ナリヤト云フニ、若シ然リトセハ倉庫ハ寄託ヲ受クル者ニアラサルコト、爲リ、商法ニ於ケル倉庫業ト看做ス能ハス、其證券モ亦從テ物權證券ト云フコト能ハサルニ至ル、農業倉庫法ハ特ニ之ヲ規定シタルヲ以テ、此種ノ倉庫ハ差支ナキモ、普通ノ倉庫ニ在テハ甚不都合ノ結果ヲ生スルヲ以テ、一日モ早ク之ニ關スル規定ヲ加ヘンコトヲ望ムモノナ

ルカ、現時ノ法制ノ下ニ於テハ、如何ニ之ヲ解釋スヘキヤ、或ハ「民法ノ共有ノ規定ヲ適用スルノ理ナルモ、斯クテハ倉庫ハ共有者ノ承諾ナクシテ、出庫ヲ許ステフ違法行爲ヲ爲スコト、爲ルヘシ」ト云フ者アリ、之ヲ普通ノ共有ナリト認ムルトキハ、是亦當然ノ結果ナレトモ、此共有ハ事實上普通ノ共有ニアラサルヲ以テ、共有ニ關スル規定ヲ準用スルコト能ハサルヘシ、斯ル矛盾ハ立法當時ニ於テ、混合保管ノ如キ寄託ノ生スルヲ豫想セザリシ爲メナルハ、言フマテモナキコトナルカ、予ハ之ヲ調和センカ爲メニ、之ヲ寄託類似ノ契約ト認メ、同時ニ現在農業倉庫ノ行フ混合保管ノ慣習ヲ商慣習法ト認定シ (事實亦然リ)、商法ノ規定ナキ場合ニ、先ツ商慣習法ヲ適用スル條件ニ依リテ、之ヲ適法ノモノ (即チ適法ノ寄託契約) トシ、從テ其他ノ混合保管ニ對スル證券モ當然物權證券タルヘシト爲サハ可ナラスヤト考フル者ナレトモ (松本博士亦然リ) 法ノ改正ナキ間ハ、普通ノ倉庫ニ關シテハ満足ノ解釋ヲ爲ス能ハサルナリ。

現今我邦ノ法制ニテハ、混合保管ニ關シテハ、農業倉庫ノ外何等ノ規定ヲ存セサルコト、上述ノ如クナレトモ、舊商法ニハ之ニ關スル規定ヲ存シタリ、即チ

第六百七十六條

品種ニ從ヒ個數、重量又ハ其他ノ尺度ヲ以テ保管ヲ託シタル物品ニ就テハ、同個數、同重量又ハ其他ノ同尺度ヲ以テ、其還付ヲ要求スルヲ得、但シ性質ニ從ヒ特定物ト看做スヘキモノハ此限ニアラス

第六百七十七條

數人ヨリ保管ヲ託シタル換用物混交セタルトキハ、其保管各其預ケ主、預ケ高ニ應ジテ全額ノ共有者トナリ、且其割合ヲ以テ全額ノ紛失又ハ危險ヲ負擔スル者トス。

第六百七十八條

換用物ノ保管ニシテ契約又ハ商業慣習上、其使用權又ハ處分權ノ預リ主ニ屬スルトキハ、預リ主ニ於テ該

資料又ハ其他ノ報酬ヲ受クルト否ト、又預ケ主ニ利子ヲ拂フト否トヲ論セス、其保管物ノ所有權及紛失若クハ損害ニ係ル危険ノ責ハ預リ主ニ移ルモノトス。

此第一ノ條文ハ普通ノ混合保管ヲ規定セルモノニテ、「ロエスレル」氏ノ草案ヲ觀ルニ

保管物ノ換用品タルノ故ヲ以テ保管ノ性質ヲ變スルコトナケレハ、預リ主ハ此ノ如キ物品ニ付キ所有權ヲ得ルニアラス、又使用權ヲ得ルニモアラス、而シテ普通ノ原則ニ依リ責ヲ負フヘキニアラサレハ、其紛失破損ノ危険ハ預ケ主ノ知ル所ナリ、唯其異ル所ハ同一品ヲ返還セスシテ、同一品種中ノ同一數量ヲ還付スルニ在リ、預リ主ハ左ノ權アリ。

其一 數人ヨリ受ケタル同一保管物ヲ混同シ、更ニ分別セスシテ保護スルコト。

其二 假令混同ヲ爲サ、ルモ、正實ナル取引上ヨリ生シ得ニ所有權ヲ使用スルニ出テサレハ、他ノ同一品ヲ同數量ニテ還付スルコト。

是レ獨逸新商法ノ規定ニ類スルモノニテ、其第四百十九條ハ「代替物ノ保管ノ場合ニ於テハ明示ノ許諾アル場合ニ限り、倉庫營業者ハ種類及品質ヲ同クスル他ノ物ト混合スル權利ヲ有ス」、倉庫營業者ハ此場合ニ於テモ受寄物ノ所有權ヲ取得スルコトナシ、倉庫營業者ハ混合ニ因リテ生シタル總寄託物中ヨリ各寄託者ニ屬スル持分ヲ返還スルコトヲ得ヘク、他ノ關係者ノ合意ヲ必要トセス、寄託物ノ所有權カ倉庫營業者ニ移轉セラレ、倉庫營業者カ種類、品質及數量ヲ同クスル物ヲ返還スル義務ノミヲ負フ場合ニ於テハ本節ノ規定ヲ適用セス」ト爲セリ。此後段ハ前記第三ノ條文ニ該當スル、所謂不規則寄託ニ關スルモノナレトモ、前記第三ノ條文ハ、主トシテ銀行預金ヲ規定シ、從トシテ此種ノ保管ニ關セシムルモノ、如シ。

又前記第二ノ條文ハ第一ノ條文ト矛盾スルヤニ見ユルモ、「或ハ其物品ノ所有權ト危険ト預リ主

倉庫)ニ移ラントノ疑ナカラシメン爲ナリ」ト云フ。

所有權ノ移轉セサル普通ノ混合保管ヲ「數量寄託」又ハ「集合保管」ト云ヒ、消費貸借的ノモノヲ「混藏寄託」又ハ「消費貸借的混合保管」ト云ヒ、不規則寄託ハ是等兩種ヲ含ムト爲ス者アリ。要スルニ是等ノ用法未タ一定セサルモノ、如シ。

第二款 貨物預ケ入手續

預ケ主ハ倉庫會社ノ顧客ニシテ、顧客多クレハ、收入モ亦隨テ多キカ故ニ、倉庫カ依頼人ノ多キヲ望ムハ固ヨリ當然ナルモ、是等得意先ハ單ニ寄託、保管ノ關係ノミニ止マラス、爾後種々ノ信用關係ヲ生スルモノナルヲ以テ、物品サヘ持參セハ、何人ニテモ預カルト云フモノニアラス、界限ニ名アル商人ノ外ハ、倉庫ハ之ヲ承諾スル前、多少其財產、商賣振等ヲ探知スルヲ常トス、又預ケ主ノ側ヨリ云フモ、自己ノ貴重ナル財產ヲ委託スル所ナルカ故ニ、倉庫ノ資本金、積立金、建物其他ノ堅固ナルヤ否ヤ等ハ勿論、重役ノ信用、營業振、利益配當ノ割合等ヲ調査シ、單ニ保管料ノ低廉ナル點ノミニ眩惑セラレ、危険ナル倉庫ニ託スルカ如キコトナキヲ要ス。

扱今實際預ケ主ノ預ケ入手續ヲ見ルニ、會社ハ必要ノ書式ヲ備ヘ置クカ故ニ、預ケ主ハ先ツ會社ヨリ右ノ如キ申込書(寄託申込書又保管預ケ申込書トモ云フ)ヲ乞ヒ受ケ、相當欄ニ貨物ノ種類、品質、數量、荷造ノ種類、個數並ニ記號其他價格、住所及ヒ氏名又ハ商號等必要ノ事項ヲ

記載シテ會社ニ差出スヘシ。

寄託申込書

第 〇 〇 號		記 荷 號 造	品 種 個 數	質 品 數
均 平 個 壹	量 總	箱 入	壹 號 毛 斯 里 晒	五 個
壹 千 參 百 碼	六 千 五 百 碼			
要 摘		格 價	額 總	
箱 傷 ミ ア リ		壹 千 五 百 圓 也	五 千 貳 百 五 拾 圓 也	

右貴社營業規則承諾之上寄託候也

住所氏名 東京府下大井町三、四八〇

昭和二年八月八日

東洋毛織株式會社 御中

三菱倉庫株式會社東京支店

右雛形ノ中摘要欄ハ 損傷アル場合若クハ火災保險ヲ附セサル場合ナトニ、其旨ヲ記入スル爲メナ
 〃會社ハ通例此種ノ申込書ニ依ラシムルノ習ヒナルモ、場合ニヨリテハ送狀又ハ口頭ノ申込ヲ承
 諾スルコトアルヘシ、孰レニシテモ會社カ申込ヲ承諾シタルトキハ、直ニ庫入スヘキ倉庫及入庫
 時日ヲ指定シ、愈貨物到着ノ上ハ、貨物係ノ役員ハ預ケ主又ハ其代理人ト立會ノ上、申込書ニ依
 〃構造ノ種類、個數並ニ記號ヲ検査シタル後、原狀ノマ、之ヲ庫入シ、之ニ對シテ、所定ノ「入
 庫通知書」ヲ交付スヘシ、尤モ會社ハ貨物ノ種類、品質、數量ニ就テハ、荷物開閉ノ爲メ、其品
 質、價格等ニ影響ヲ及ホスノ恐ナキモノニ限り、相當ノ検査ヲ施シ、又預ケ主カ相當ノ手數料ヲ
 出シテ依頼スルトキハ、精密ニ内容ヲ検査シテ之ヲ證明スルコトアルヘシ、而シテ斯ク預ケ入ノ
 手續ヲ了シタル後、預ケ主ヨリ何物ヲモ請求セサルトキハ、單ニ會社ノ帳簿ニ記録シ置クニ止ル
 〃モ、預ケ主ヨリ請求スルトキハ、預證券及質入證券又ハ倉荷證券其他單純ナル貨物預證書（又禁
 流通貨物預證書、別扱貨物預證、禁流通預證書等ノ名アリテ一定セス）若クハ保管貨物通帳ヲ發
 行スヘシ。

第三款 保管貨物

高法ハ倉庫ノ保管スヘキ貨物ノ種類性質等ニ關シテ何等ノ制限ヲ加ヘス、單ニ「他人ノ物品ノ保
 管スル……」トノミ規定セルカ故ニ、如何ナル貨物ト雖モ保管シ得ルカ如キモ、倉庫營業ノ性質上

商品ニアラサルモノ、例へハ日用ノ衣類、家具、什器ノ如キモノハ之ヲ保管セス、(歐米ニ於ケル其向キノ特別倉庫ハ之ヲ保管ス)又倉庫ハ他人ノ貨物ヲ現狀ノマ、安全ニ保存管理スヘキモノナルコト、前述ノ如クナルカ故ニ、貨物ノ性質上保管ニ適セサルモノ、例へハ腐敗若クハ變性シ易キモノ、爆發物ノ如キ危険ナルモノ、惡臭ヲ放ツモノ等ハ、冷藏庫、石油倉庫等ノ外、之ヲ保管セス、若夫公債、株券等ノ如キ有價證券、金銀、寶玉其他ノ貴重品又ハ、貨幣等ノ如ク、容積ニ比シテ價格甚大ナルモノハ、本來興業銀行、第一銀行、正金銀行等ニ於テ取扱ヒ居ル特別保護預ノ目的トスル所ナレトモ、近來倉庫ニ於テモ亦多少保管スルカ如シ、今我邦倉庫業者ノ保管スル貨物ノ種類如何ト見ルニ、倉庫ノ所在地ト其種類ニヨリテ一様ナラス、或ハ信州地方ノ如ク藪專門ノ倉庫、其他石油、米等一種ノ物品ニ限リテ預ルモノアレハ、近來一般商品倉庫ノ如ク、概括的ニ保管セサル貨物ヲ定メ、當會社ハ危險貨物、變質又ハ損傷シ易キ貨物、荷造ノ不完全ナル貨物其他當會社カ保管ニ適セスト認メタル貨物ノ寄託ヲ受ケサルコトアルヘシト定ムルモノ多キカ如シ、三菱、營業規則第七條、住友同第七條)要スルニ保管貨物ノ種類ハ區々ニシテ一定セスト雖モ、實際本邦普通ノ保管貨物ハ、多ク米、麥其他穀類、砂糖、棉花、織物、絲類、葉蓆、紙類、麥粉、食料品、羊毛、鐵材、金物製品、雜金屬、染料塗料及藥品、油及蠟等ナルカ如シ。右ハ一般倉庫ニ就テ其保管貨物ヲ述ヘタルモノナレト、米國ノ家財倉庫カ家財ノミヲ保管シ、又冷藏倉庫カ特別ノ設備ヲ作リテ(空氣ヲ冷却、乾燥、新鮮ナラシムル等ノ設備)腐敗シ易キ物品、

例へハ肉類、果實、野菜類ヲ保管スルハ勿論ナリトス。

第四款 保管料及其他ノ費用

(一)保管料ノ性質 保管料ハ貨物保管ノ報酬ニシテ、倉庫營業ノ主タル目的ナリ。

而シテ普通ノ場合ニ於テハ、倉庫ノ使用料、及保管ノ責任ニ對スル報酬等ヨリ成立スルモ、現今ハ特ニ不要ノ旨ヲ述ヘサレハ、火災保險料ヲ包含セシムルモノ珍シカラス、又貨物取扱料ノ如キハ、之レヲ込メタルモノナキニアラネト、倉庫構内ニ於ケル貨物ノ出入、運搬等ノ爲メニ使役スル仲仕人夫ハ、總テ其會社附屬ノ者ニ限り、貨物入庫ノ際、別ニ之ヲ受取ルモノアリ、孰レニセヨ倉庫カ保管料、出入賃、又ハ看實賃トシテ請求スルモノハ、豫メ一定ノ表ト爲シ置クカ故ニ、此表ニ依リテ仕拂フモノナレト、保管ニ伴フ其他ノ從タル費用例へハ供託競賣等ノ處分費、運賃其他ノ立替金、手数料等ハ其都度實費ヲ申受クルノ定メナリトス。

(二)保管料及諸費用支拂ノ時期 保管料其他ノ費用ヲ請求シ得ル時期ニ關シテ、少シク注意ヲ要スルハ、商法第三百七十七條ノ規定ナリ、同條ニ曰ク

倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ、保管料及立替金、其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得、但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ、割合ニ應ジテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

ト、是レ蓋シ民法カ保管ニ必要ナル費用ニ關シテハ(保管ノ報酬即チ保管料ハ民法ニ於テモ固ヨ

リ後拂ナリ) 受寄者ヲシテ其都度前拂ヲ請求シ得ルコト、爲シタルカ爲メニテ、其理由トスル所ハ若シ商事ノ寄託ニ於テ、前若クハ中途ニモ請求シ得ルモノトセハ、預證券ニ依リテ貨物ヲ轉讓セシメ、其現在所有者ノ知レサルカ如キ場合ニハ、寄託物ヲ競賣シテモ其支拂ニ充ツルコトヲ許サ、ルヘカラス、斯クテハ貨物所有者ノ知ラサル間ニ、現物ノ數量減少シ居ルト云フカ如キ奇觀ヲ呈シ、取引上ノ不便少カラサルノミナラス、法律ハ報酬、立替金等ノ債權ニ對シテハ、倉庫業者ニ留置權ヲ與ヘ、其效果トシテ優先ノ辨濟ヲ得セシメタルヲ以テ、受寄物出庫ノ時ニ受取ラシムモ、毫モ損失ヲ與フルノ虞ナシ、唯一部出庫ノ場合ハ、前述ノ如キ弊害ナキ故、其割合ニ應ジテ支拂ハシムルハ當然ナリト云フニ在リ、然ルニ我邦倉庫ノ營業規則ニ依レハ供託、處分、保存其他之ニ類スル臨時ノ費用ハ、出庫ノ際引取人ヨリ申受クルモ、運賃其他ノ立替金及手数料、檢査料等ハ即時其依頼人ヨリ支拂ハシメ、或ハ豫メ寄託主又ハ預證券所持人等ト契約ヲ結ヒ、保管料其他諸般ノ費用ヲ毎月一定ノ日ニ(例ヘハ二十日)寄託主又ハ證券所持人ヲシテ支拂ハシムルコト、爲スモノアリテ、毫モ不都合ナシト云フ、畢竟我邦ニ於ケル證券ノ流通未タ發達セス、所持人ノ知レサルカ如キ場合稀ナルト、倉庫ノ便宜トニ因ルモノニテ、隨テ此規定ハ、營業規則等ニ於テ支拂時期ヲ定メサル場合ニ於ケル、倉庫ノ權利ヲ定メタルモノト爲ルナリ。

(三)保管料ノ定メ方 保管料ヲ定ムル標準ハ、專ラ保管貨物ノ容積ノ大小ニ依ルヲ可トスヘキカ如クナルモ、同一容積ノモノニテモ、價格ノ大小ニ依リテ保管ノ責任ヲ異ニスルヲ以テ、價格ノ

大小モ亦其標準ノ一ト爲スヘシトノ理由ニ因リ、我邦ノ保管料ヲ此點ヨリ區別スルトキハ次ノ三種ト爲スヲ得ヘシ。

(第一)從量保管料 トハ貨物ノ數量ニ依リ、一箇月若干ト爲スモノニテ、穀類、棉花、毛絲、羊毛、昆布等ニ之アリ、是亦數量ノ種類ニ依リテ次ノ三種ニ細別スルコト得。

(a)容積保管料 トハ容積ニ依ルモノニテ例ヘハ一石(穀物及種子)、一才(毛絲及麻絲、木綿以外ノ織物、鏡用玻璃等)ニ付キ何程ト爲スカ如シ。

(b)重量保管料 トハ重量ニ依ルモノニテ、例ヘハ百斤(砂糖、羊毛、銅鐵線ノ類)拾貫目(糠、長切昆布等)百封度(マニラロープ)若クハ一噸(鐵板及鐵條等)ニ付キ何程トスルノ類ナリ。

(c)個數保管料 トハ例ヘハ一俵(米)、一枚(大豆粕)、一本(花莖)、一個(肥料 綿絲等)百把(軸木)ニ付キ何程ト爲スカ如シ、現今ハ多クハ是レナリ。

(第二)從價保管料 ハ專ラ貨物ノ見積價格(普通保險價格ヲ採ル)ノ若干歩合ト爲スモノニテ、例ヘハ京濱ノ私設保税倉庫ニ於テ、貴重品及ヒ高價品ニ對シ、從價萬分ノ三十乃至五十ノ從價率ヲ用フルノ類ナリ、震災前マテハ、普通保管料中、鈺力ニ用ヒタルモ、爾來廢止セリ。(大正元年末マテハ穀物等ヲ除キ總テ百圓ニ付日歩何厘ト云ヘル從價率ナリキ)

(第三)折衷保管料 ハ主トシテ從量率ヲ採リ、之ニ從價率ヲ加味セルモノヲ云フ、是亦三種ノ別アリ。

(a)各種ノ物品ニ對スル、一定ノ從量率ヲ定メ、之ニ依リテ算出セル保管料へ、保險價格ノ若干歩合(例へハ千分ノ二、萬分ノ二十等)ヲ加フルモノニテ、從來ヨリ大阪ニ行ハレ、現今京濱並ニ阪神等ノ諸倉庫カ採用セル制度ナリ。

(b)各種ノ物品ニ對スル一定ノ從量率ヲ定メ、更ニ保管貨物一個ノ價若干圓(例へハ參百圓)ヲ超ユルトキハ、其超過金額ニ對シ百圓ニ付キ若干錢(例へハ四錢)ヲ附加シテ、之ヲ一箇月ノ保管料ト爲スモノ(神戸ノ舊制度ニ之アリ、米國ニテモ家財倉庫又ハ商品倉庫等ニ於テ用ヒラル)

(c)大體百圓ニ付キ一日若干錢又ハ若干厘ト云ヘル日歩ヲ定メ、唯米麥、雜穀ニ限リ百俵(又ハ百袋)一箇月何圓何拾錢ト爲セシ、大正元年末マテノ京濱諸倉庫ノ保管料ノ如キモ、表ノ組織上ヨリ觀ルトキハ、亦折衷主義ヲ採レルモノナリ(但日歩ノモノ大多數ナルヲ以テ、又第二種ニ屬スルモノト見ルモ可ナリ)

保管料ハ亦荷役賃、看買賃、拼直賃等ノ諸費用ヲ加算スルヤ否ヤニ依テ、單一保管料及綜合保管料ノ二種ニ區別スルコトヲ得、我邦ハ總テ單一保管料ナレトモ、英米等ニハ是等ヲ綜合シタルモノアリ、例へハ倫敦港務局ノ綜合保管料(Consolidated Rates)ノ如キハ其一例ニシテ、或ル商品ニ限リ之ヲ作リテ公示シ、在庫中輸入品販賣ノ準備ヲ行ハントスル荷主ニハ、各種ノ料金ヲ別々ニ支拂フヨリ、却テ利益ナリト云フ(保管料ハ六週間分ヲ收ム)米國ノ穀物ニモ此例アリ。

更ニ期間ノ單位ニ依リテ區別スルトキハ、月極ノモノト日歩トノ二種ニ區別スルコトヲ得、月極

トハ一箇月何程ト爲スモノニテ、現今普通ニ用ヒラル、制度ナリ、之ニモ京濱諸倉庫ノ如ク、一曆月ヲ一日ヨリ十日マテ、十一日ヨリ二十日マテ、二十一日ヨリ月末マテノ三期ニ分チ、此一期ヲ單位トシテ徵收スルモノト、阪神地方ノ如ク、一曆月ヲ十五日マテト十五日後トノ二期ニ分チ、亦此一期ヲ單位ト爲スモノトノ別アリ、日歩ハ前述ノ如ク一日百圓ニ付キ何程ト爲スモノニテ、日數ノ積數ニ依リテ保管料ヲ算出スルモノナレト、現今之ニ依ルモノ稀ナリトス、但シ信州諏訪倉庫株式會社ノ如ク、繭及生絲ノ保管料ヲ、一石若クハ一捆ニ付一日何錢ト定メタルモノ之ナキニアラサルモ、一般倉庫ニハ斯ル例極メテ少シ。

翻テ歐米諸國ノ制度ヲ窺フニ、國ニ依リテ區々ナレトモ、多クハ純然タル從量率ヲ用ヒ、我邦ノ如キ從價及從量ノ折衷法ヲ用ユルモノハ、近年米國ノ家具倉庫、商品倉庫等ニ之ヲ見ル外之アルヲ聞カス、之モ(b)ノ方法ニ依ル、純然タル從價率ニ至ツテハ、其例極メテ稀ナリ、而シテ其從量率ハ如何ナル單位ヲ採ルヤ、又其制度如何ヲ見ルニ、重ナルモノハ次ノ如シ。

(1)米國ノ保管料 ハ倉庫ノ種類即チ保管貨物ノ種類ト地方トニ依リテ、之ヲ定ムル方法ト料率ノ割合トヲ異ニスルモ、例外ノ場合ノ外從量率ニシテ、其單位ハ從來一俵、一箱、一樽、若クハ一「ブッシュェル」等ヲ標準トシ、今尙ホ是等ヲ用フルモノ少カラサレトモ、近年運送會社ノ例ニ倣ヒ、百封度ヲ單位トスルモノ少カラス、期間ハ多ク一箇月ニシテ、料金ハ何仙ニテ稱へ、支拂モ亦月末拂ト爲スモノ多キカ如シ、次ニ其二、三ノ例ヲ示スヘシ。

(1) 穀物倉庫ノ保管料及荷役賃モ亦地方ニ依リテ異レト、重ナル都市ニ於ケル最近ノ(一九二四—一九二五ノ冬期)割合ヲ見ルニ次ノ如シ。

米國商品倉庫保管料

都市	罐詰 (四十封度函)		乾果 (五十封度函)		安全燐寸 (三百封度函)		洗濯機械 (二百五十封度函)	
	保管料	荷役賃	保管料	荷役賃	保管料	荷役賃	保管料	荷役賃
ボルチモア	〇・〇一	〇・八〇	〇・〇一	〇・九五	〇・一五	〇・八〇	〇・二五	一・二〇
市 俄 古	〇・〇一	一・二五	〇・〇一	一・二五	〇・一八	一・六〇	〇・八〇	一・四〇
市 俄 古	〇・〇一	一・二五	〇・〇一	一・二五	〇・一八	一・六〇	〇・八〇	一・四〇
ミネソア	〇・〇一	一・〇〇	〇・〇一	一・〇〇	〇・一六	一・六〇	〇・二八	二・〇〇
ニューヨーク	〇・〇一	一・〇〇	〇・〇一	一・〇〇	〇・一五	一・六〇	〇・二五	二・〇〇
紐 育	〇・〇一	一・〇〇	〇・〇一	一・〇〇	〇・一五	一・六〇	〇・二五	二・〇〇
紐 育	〇・〇一	一・〇〇	〇・〇一	一・〇〇	〇・一五	一・六〇	〇・二五	二・〇〇
桑 港	〇・〇一	〇・六八	〇・〇一	〇・六八	〇・一八	一・六〇	〇・二八	一・九七
シアトル	〇・〇一	〇・六〇	〇・〇一	〇・七五	〇・一八	一・二〇	〇・一八	一・九七

(保管料ハ一個一箇月ニ對スル割合ニシテ、荷役賃ハ一噸ニ對スル割合ナリ)
 一、一箇月未滿ハ一箇月分ヲ徵收シ、最初ノ荷物ノ庫入日ヨリ起算シ、翌月ノ相當日ノ前日ニ至ル、豫約シタルトキハ豫約ノ日ヨリ起算シ、共ニ期間滿了ノ日カ日曜日又ハ法定ノ休日ニ當ルトキハ、次ノ營業日ヲ以テ末日トス。
 二、一般ノ慣例トシテ、保管中賣渡シタルトキハ、賣主ハ全一箇月ノ保管料ヲ支拂フノ義務アルモ、寄託契約ハ消滅シ、新ニ買主ト契約シタルモノト看做サル、ヲ以テ、若シ引續キ藏置スルトキハ、新ニ契約ヲ締結スルヲ要ス。

保管期間ハ賣買ト共ニ更新セラル、ヲ以テ、期間ノ中途ニ賣渡ストキハ、殘部ノ期間ニ對スル保管料ハ解約金ノ如ク、倉庫ニ收メラル、コト、爲ルヘシ。
 三、倉庫ノ責任ハ特ニ價格ヲ告ケ、割増保管料(超過價格ニ對シテヶ月千分ノ一位)ヲ支拂ヒタル場合ノ外、一立方呎ニ付八弗(又ハ五弗トスルモノアリ)若クハ一封度ニ付二十五仙ヲ以テ限度トス(保管料カ容積單位ナルヤ重量單位ナルニ依リテ異レリ)
 (2) 穀物倉庫ノ保管料ハ(一)混合保管ノ場合ト(二)袋入ノ場合トニ依リテ異リ、更ニ地方ニ依リテ異ルノミナラス「ボルチモア」ノ如キ汽車卸ト船卸トニ依リテ區別セリ、混合保管ノ場合ニ於テハ、保管期間ヲ第一期ト其後ノ二區分ト爲シ、第一期ヲ「自由期間」(Free time)ト呼ビテ、出入賃オモ加算セタル、庫入ノ爲メノ最少日數ヲ定ム、此日數ハ五日、十日、十五日、二十日等ニシテ一定セザレトモ、寄託者ハ少クモ之ニ對スル保管料ヲ支拂フヲ要シ、其後ハ一日何分ノ一仙ナル日歩ニ依リ、均一率ノ保管料ヲ支拂フモノトス、從量ノ單位ハ噸ヲ以テスル外、大抵「ブッシュ」(凡ソ二斗)ニシテ、例ハハ次ノ如シ。

米國穀物倉庫保管料 (一九二四年現行)

都市	第一期保管料	同日 日數	日歩	都市	第一期保管料	同日 日數	日歩
ボルチモア	二仙(貨車卸)	二〇日(海岸倉庫)	1/25仙	ニューヨーク	一仙	一〇〇日	1/25仙
市 俄 古	二仙(汽船揚)	一〇日(市内倉庫)	1/20仙	紐 育	7/8	一〇日	1/25仙
市 俄 古	1/4仙	一〇日	1/20仙	シアトル	1/21仙	一〇日	1/25仙
ミネソア	1/2仙	一五日	1/30仙	袋	六仙(屯)	二〇日	3/4仙(屯)

*「ニューヨーク」(アンズ)ノ第二期保管料中、輸入ノ分ハ(一)最初ノ十日ハ百封度ニ付一仙、爾後十日毎ニ四分ノ三仙トス「サルヴェストン」ノ如キモ亦同シ「サルヴェストン」ハ第一期一仙四分ノ一ニシテ、日數及第二期ヲ次ノ四種ニ分ツ(毎噸料ヲ含ム)。

(1)輸出……10日、 $\frac{1}{2}$ 仙 (1)沿海……10日、五日毎 $\frac{1}{4}$ 仙
 (三)輸入……10日〔最初10日、 $\frac{1}{2}$ 仙 (四)内國……五日、第二期ハ輸入ト同シ
 (其後10日毎 $\frac{1}{4}$ 仙) 〔ミルウオーキヤ〕ノ第二期保管料ハ(一)「コンクリート」建…… $\frac{1}{20}$ 仙、(二)木造…… $\frac{1}{25}$ 仙ノ如ク區別ス。
 特種荷役賃 検査料、看貨賃ノ如キ特種荷役賃(公任セラレタル吏員ノ行フ荷役ノ)ハ入庫出庫ノ區別ノ外、汽船ト貨車ト
 ニ依リテ異レリ、「ホルチモア」及紐育ノ例ヲ示セハ、次ノ如シ。(單位千「ブッシュェル」即チ約二百石)

特種荷役賃 (一九二四年現行)……仙

都 市	檢 査 料				看 貨 賃			
	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫	入 庫	出 庫
ホルチモア	貨車ヨリ 倉庫ヘ	汽船ヨリ 倉庫ヘ	倉庫ヨリ 貨車ヘ	倉庫ヨリ 汽船ヘ	貨車ヨリ 倉庫ヘ	汽船ヨリ 倉庫ヘ	倉庫ヨリ 貨車ヘ	倉庫ヨリ 汽船ヘ
紐 育	五五	五五	三五	三五	一〇〇	五五	三五	二五
	七五	七五	七五	七五	五〇	五〇	一	五〇

(3)棉花倉庫 ノ保管料ハ(一)鐵道ノ倉庫ト(二)棉花ノ集散都市トニ依リテ異レリ、鐵道ノ倉庫ハ(甲)歷練済ノモノト(乙)然ラザル
 ルモノトニ依リテ區別シ(甲)ノ自由期間(之ハ無料ナラン)ハ四日乃至一週間ニシテ、爾後ハ二日マテ一俵五仙、二日ヲ超
 ヘ六日迄十仙、六日ヲ超ヘ十一日迄二十仙、十一日―十六日、二十五仙、十六日―二十六日三十仙、二十六日以後ハ一日一
 仙ノ如ク定メ、(乙)ハ稍安シ、共ニ藏置場所ヲ供スル報酬ニ過キサレモノトス。
 南部集散都市ニ於テハ、(一)保管料ハ一俵一箇月ニ付二十五仙、(二)荷役賃(出入貨、札附、検査、證券料ヲ含ム)一俵二
 十五仙位ノモノ多ク、自由期間アレハ、三日、五日、十五日ノ如ク區別ナリトス。

(4)羊毛倉庫 羊毛ノ保管料ハ太平洋岸ノ産出地方ト、東部ノ輸入都市トニ依リテ大差アリ、前者ニ於テハ保管期間長キニ互ル
 爲メ、月極トセス翌年三月十四日又ハ十五日マテ(又ハ五箇月ノ如ク限ルモノアリ)一封度ニ付何仙(例ハ一仙半)爾後
 一箇月十分ノ一仙ノ如ク定ム、此割合ハ表面上荷役賃(出入庫貨、看貨賃、保険料ヲ含ム)ナレトモ、事實上荷役賃ヲ含ム
 保管料ニシテ、仕分、荷造、壓搾等ノ特種荷役賃ハ別ニ之ヲ定ム(例ハ一封度ニ付キ四分ノ三仙ノ如シ)
 「ホストン」、「フイラアルフイア」、紐育ノ如キ都市ニ於テハ、一箇月定メトシ、内國産ト輸入品トニ依リ、更ニ荷積單位(Ton
 per)カ二十俵ナルヤ、三十五俵若クハ五十俵ナルヤニ依リ、一單位ニ付キ保管料其他ヲ、例ハ次ノ如ク定ム。

保管料 看貨賃
 出入貨 三五仙 一五仙
 三十五俵ニ付 濠洲、佛蘭西産 三〇仙
 (5)家財倉庫 ノ保管料モ倉庫ノ所在地、建物、貨物ノ種類等ニ依リ區々ナレトモ、普通一立方呎ヲ單位トシ、料率ハ二分ノ一
 仙ヨリ二仙ニ及フ、普通耐火的、新式ノ上等倉庫ニテ、一仙半前後、大都市ノ高級倉庫カ二仙ナリト云フ(種類ノ部参照)
 此種ノ倉庫ハ賠償ノ限度ヲ一個ニ付五十弗以内ト定メ、五十弗以上ノ責任ヲ負フ場合ハ、寄託者カ價格ヲ告ケ、此超過價格
 ニ對シ、割増保管料(二百分ノ一)ヲ支拂ヒタル場合ニ限ル、此方法ハ鐵道會社ノ割増制度ニ倣ヘルモノニ外ナラス。(商品
 倉庫、保税倉庫ナトニモ此例アリ)
 (2)英國ノ保管料 英國ニテモ亦單位ヲ數量ニ限リ、例ハ一噸(砂糖)、一樽(酒類)百「ブッシュェ
 ル」(小麥其他ノ穀類)等ニ付キ、志、片ヲ以テ表ハスヲ常トス、期間ハ殆ント一週間ト定マレ
 ルモノ、如シ。

第二章 倉庫ノ業務 貨物ノ保管
 (3) 佛西ノ保管料 佛蘭西ノ定メ方モ亦多ク數量ニ依リ、例ヘハ百基、千基(佛一噸)、若クハ一〇三

II) Rates on Sugar, Not Otherwise Rated.

Goods.	Rates						Rent per Week.	
	Landing.	Reweighing, Repiling, or Rehousing.	Delivery to		Amount.	Quantities on which Charged.		
			Land Conveyance.	Water Conveyance.				
Sugar—								
Bags or mats	per s. d. 4 2	s. d. 2 1	s. d. 2 1	s. d. 4 2	s. d. 0 4	per ton		
Baskets	4 2	2 1	2 1	4 2	0 5	"		
Casks	4 2	2 1	2 1	4 2	0 5	"		
Cube, from America or Japan—								
Barrels	4 2	2 1	2 1	4 2	0 5	"		
Cases	4 2	2 1	2 1	4 2	0 4	"		
Granulated, from America—								
Barrels	4 2	2 1	2 1	4 2	0 5	"		
Packets	4 2	2 1	2 1	4 2	0 4	"		

Cane sugar, not otherwise rated.

Consolidated rate, including 6 weeks rent from landing and sampling at landing :—

Bags or mats, 1 cwt. each or over.....	per gross ton	s. d. 6 3
" " under 1 cwt. each.....	"	7 6
Baskets	"	8 0
Casks	"	10 0

Sorting and lotting in addition on bags,

baskets or mats

General bulking rate, when ordered at landing :—(omitted)

I) Rates on Starch Flours.

The Port of London Authority, by virtue of the powers enabling them in that behalf appoint, as from the 1st September, 1917, the following rates, rents, or sums to be taken or received in respect of the under-mentioned goods imported and brought into, landed or deposited within, or delivered from their docks or works :—

Landing and delivery rate, including weighing, average sampling, and 14 days' rent from first date of landing.....

	Per ton	s. d.
rent from first date of landing.....	5	6
Reweighing.....	2	1
Repiling or Rehousing	2	1
Rent per week after 14 days	0	4

When starch flours are imported in small bags the landing and delivery rate will be increased as follows :

	Additional Rate Per ton	s. d.
Bags 140 lb. to 110 lb. each—tariff rate	1	0
" 109 " " 98 "	1	3
" 97 " " 80 "	2	2

1. The minimum charge on any parcel landed is 1s. 6d.
 2. The rates do not include fire insurance.
 3. The rates and charges in this schedule are not subject to discount.
 4. The regulations published in the general rates on imports apply.
 5. The Port Authority are only responsible for the goods being properly protected from external damage, and they will not be answerable for any losses or deficiencies which may be due to natural causes or to vermin; nor will they be answerable for any losses or deficiencies unless the extent of such losses or deficiencies is agreed prior to the removal of the goods from the premises of the Authority.
 6. The Port Authority will not be responsible for loss or damage by fire, or otherwise, arising after delivery of the goods has been made to receiver's craft, railway truck or van, or in respect of goods temporarily landed by or on behalf of ship owners for re-delivery.
 7. The Port Authority will not be answerable for any delay, loss or damage arising from combination or strikes of any persons in their own employ, or in the service of others, nor for any consequences arising therefrom.
- Under authority given by Act of Parliament the rates are subject to revision from time to time.

クトリツトル、一個等ヲ標準トスルモ、往々價格千法ニ付キ何程ト定メタルモノ之ナキニアラス、金額ハ法又ハ參ニテ、期間ノ單位ハ普通一箇月ナリ。

(4) 獨逸ノ保管料 ハ亦一箇月ニ付キ、個數又ハ其他ノ數量ニ付キ、若干布トス、例ハ次ノ如シ
(但シ保稅ノモノニテ大戰前ノ割合也)

苹果	一箱...多布	棉花	東印度一俵...拾五布	綿實、綿	千基...五拾布
	一樽...拾布		合衆國一俵...貳拾五布	箱及粉	
麥酒	一箱...拾布	カカオ及珈琲	一袋...五布	椰子實	百基...八布
穀類	重キ	袋入	千基...四拾布		
	輕キ	バラ	同...五拾布		
	袋入	同	千基...五拾布		
	バラ	同	六拾布		

(5) 印度ノ保管料 ハ英國ノ如ク一週間ヲ單位トシ、數量ハ一噸ヲ單位トスルモノ多キモ、其他俵、立方呎等アリ、例ハ

穀物、一噸	棉花(袋入)一俵	セメント、一噸	古新聞紙(袋入)一立方呎
倉庫賃...四錢	貳錢	六錢	貳錢
出入賃...貳拾錢	六錢	參拾貳錢	貳錢

(6) 濠洲ノ保管料 モ亦英國ノ如ク一週間單位ニテ、一噸、一本、一樽、一箱等ニ付キ若干志及ヒ片トス。

(四) 保管料定メ方ノ長短 右ノ如ク保管料ヲ定ムル方法ニ種々アレトモ、孰レニ依ルヲ可トスヘキカ、少シク之ヲ論評スヘシ。

抑モ料率ニハ保險料ノ如ク純然タル從價率ヲ採ルヘク、又實際上之ヲ採リツ、アルモノアリ、又運賃ノ如ク元來數量本位ナルヘクシテ、之ニ從價率ヲ加味シ(或ハ全ク從價何分ノ若干トセル貨物アリ)タルモノアリ、又租稅、手数料ノ如ク目的物ニ依リ從價、從量孰レカヲ用ユルモノアレハ、租稅中ニテモ關稅ノ如ク、本來從價率タルヘクシテ、實際ノ便宜上、從量率ヲ割出シ、主トシテ之ニ依ラシムルモノ之アリトス。

今保管料ノ場合ヲ考フルニ、右各種ノ中最モ近キハ運賃ナレトモ、倉庫ハ運送人ノ如ク貨物ヲ輸送スルヲ主タル業務ト爲スモノニアラス、之ヲ安全ニ保存シ管理スルヲ以テ本領ト爲シ、保管料ハ此報酬トシテ徵收スルモノナルヲ以テ、最モ保管ノ費用、勞苦、危險アルモノニ對シ、多額ノ料金ヲ賦課スヘキハ洵ニ賭易キノ理ナリ、即チ、保管ノ場所、空間ヲ多ク占領シ、取扱ノ手数ヲ要シ、危險多キモノニ對シテハ、是等ノ少キモノニ對シテ、多クノ報酬ヲ要求スヘキ筈ナルヲ以テ、數量本位ニ依ルヘキモノ、就中容積本位ニ依ルヘキモノナルヤ多言ヲ要セサルナリ、世界各國力爭テ從量率ヲ採用セルハ蓋シ所以アリト謂フヘシ、我邦ノ諸倉庫ノ如キモ、固ヨリ計算ノ基礎ヲ數量殊ニ容積ニ採リテ各種ノ割合ヲ算出セルモノナルコト、後ニ述フル所ノ如シト雖モ、或ハ舊制度ノ如ク日歩ヲ用ヒ(是亦算出ノ基礎ハ數量ニアレト、時價ニ依リテ、實際ノ負擔ヲ異ニ

スルロト、爲ルヲ以テ、從價率ヲ加味セルモノナリ。或ハ現制度ノ如ク從價若干歩合ヲ加フルハ純然タル從量率ヲ不公平ナリト爲シ、幾分ノ從價率ヲ加味スルヲ正當ナリト觀ルカ爲メニテ、齊シク一俵ノ砂糖ニテモ（同一容積、重量ノモノト假定ス）拾圓ノモノト拾五圓ノモノトハ、保管ノ責任ヲ異ニシ、同一ノ米ニテモ、石拾貳圓ノ場合ト、貳拾圓ノ場合トハ、責任ノ程度ニ於テ差異ナカルヘカラスト云フニ在リ、一應尤ナル理由ニシテ、畢竟損害賠償金額ノ多寡ニ歸スル理由ナレトモ、退ヒテ考フルニ、各種損害ノ中、火災ニ起因スルモノハ、火災保險ヲ附シ、其料金ヲ保管料中ニ加ヘ、其責任ヲ保險會社ニ轉嫁セシムル今日ノ制度ニ於テハ、此損害ヲ考慮スルノ必要ナク、又（一）天災、事變、強盜、其他抗拒スヘカラサル災厄ニ由ル損害（二）氣候ノ變遷、防疫、鼠喰、蟲入、其他寄託物自身ノ性質若クハ瑕疵、荷造ノ不完全等ニ由ル損害（三）火災保險ヲ附セサル場合ニモ、倉庫ノ普通ノ輕過失ニ因ル火災ノ損害等ハ、總テ除外スル倉庫多ク、歸スル所竊盜、毀損、雨漏等ノ損害ニテ、倉庫ノ過失ニ由ル場合ノミ、賠償ノ責任アルコト、爲リ、實際家ノ説ヲ聽クニ、賠償スル場合ハ比較的少シト云ヘハ、價格ニ依リテ料率ヲ左右スルノ理由ハ、事實上極メテ薄弱ナリト云ハサルヘカラスト。（少クモ我邦ニ於テハ）

從價率ヲ擁護スル第二ノ理由トシテ、價格大ナルモノハ、料金ヲ負擔スル能力大ナルカ故ニ、價格ニ依テ料率ヲ異ニスルハ正當ナリト云フ者アリ、然レトモ保管料ハ報酬ナルカ故ニ、租税ノ如ク負擔能力ニ比例セシムヘキモノニアラスト。米カ一俵七圓ノトキハ、五圓ノトキヨリ保管料カ

高シト云ハハ、誰カ其沒條理ニ驚カサラン、然リ理論上負擔力ヲ云爲シテ料率ヲ高下スルハ健ニ謂レナシト雖モ、更ニ營利事業タル倉庫業ノ方面ヨリ觀ルトキハ、第一ノ理由ヲ名目トシテ、價格貴キモノニ重課スルハ、寄託主ノ感スル所少クシテ、收益ヲ多カラシムルノ利益アリ、寄託主モ亦些少ノ割合ノ増額ハ之ヲ甘受スルニ吝ナラサルヘキナリ、之ヲ要スルニ、從價率ヲ加味スルノ制度ハ、主トシテ營業上ノ便益ニ基クモノナリト謂フヲ得ヘシ。

保管料ニ從量率ヲ採ル理由ハ、既ニ述ヘタル如クナルカ、更ニ實際上ノ利益ハ數量就中個數、使數ノ如キハ容易ニ之ヲ知ルヲ得テ料率ノ適用ニ誤リナク、料率ニシテ改定セラレサル間ハ、寄託者ハ容易ニ保管料ノ金額ヲ知ルヲ得ルノ利益アリ、諸掛ノ豫算上便益少カラサルニ反シ、現今ノ如キ折衷法ニ依ルトキハ、料率ハ表面上一定セル如クニテ、其實變動常ナキ價格ノ萬分ノ若干ヲ加フルヲ以テ、事實上ノ料率ハ、價格ノ變動ト共ニ絶エス變化シツ、アルノ理ニテ、營業者モ寄託主モ不便少カラサルヘシ、唯實際ニ於テハ入庫ノ際ニ於ケル保險價格ヲ以テ見積價格ト爲スカ故ニ、此弊少キヲ得ルモ、是レ既ニ從價率ヲ加味スルノ精神ニ反スルモノニシテ、假リニ此方法ヲ認容スルモ、保險價格ナルモノハ、保險會社ノ任意ニ定ムルモノナルヲ以テ、極メテ不精確、獨斷的ナルノ缺點アリ、且ツ入庫者ハ、入庫ノ場合ニ至ラサレハ、自己ノ寄託セントスル貨物ノ保管料カ果シテ幾何ナルヤヲ、精密ニ計算スルコト能ハサルノ不利益ハ、尙ホ依然トシテ存在スルモノトス、是故ニ假リニ從價主義ヲ加味スルヲ可ナリトスルモ、豫メ此意義ニ於ケル料率ヲ作

成シ、同一種ノ貨物ノ中等差ノアルモノハ、之ヲ數種ニ分チテ料率ヲ定ムルコト、尙ホ關稅ノ從量稅ノ如ク爲スヲ便トスヘシ。

今數年前ノ料率表ヲ觀ルニ、砂糖ノ中精製糖ハ每百斤一俵壹錢九厘ニテ、粗製糖ハ同百斤貳錢ノ割合ナリキ、此一厘ノ差ハ精製糖ノ取扱容易ナル爲メナルヘキカ故ニ、假ニ百斤ノ見積價格ヲ

精製糖 貳拾圓 粗製糖 拾圓

ナリトセハ、當時ノ從價率萬分ノ五(二千分ノ一)ヲ採リ

(精製糖) ¥.019 + $\frac{¥.020}{2000}$ = ¥.019 + ¥.010 = ¥.029 (貳錢九厘)

(粗製糖) ¥.020 + $\frac{¥.10}{2000}$ = ¥.020 + ¥.005 = ¥.025 (貳錢五厘)

ノ如ク改正セハ可ナルヘシ、而シテ此見積價格ハ、過去二、三年又ハ五年ノ平均ヲ採レハ充分ニテ、之カ爲メ多少實際ノ市場價格ト杆格ヲ生スルモ、此ノ如キ些少ノ缺點ハ、此方法ヨリ享クル利益ヲ沒スヘクモアラサルナリ、斯クテ時價著シク騰落スルニ到ラハ、其時始メテ、此率ヲ改メタル料率表ヲ作ルモ妨ケナカルヘシ、若夫從價率ヲ別計算ト爲スヲ、料率表ノ外觀ヲ低廉ナラシムルノ商略ナリト云ハ、予輩亦何ヲカ云ハン。

予ハ唯各國ニ其例稀有ナル從價率加味主義ヲ全廢シテ簡明ナル從量率ト爲スノ時期ニ到ルノ日ヲ待ツ者ニシテ、斯ノ如ク一理アルカ如クニシテ、不理不便ナル制度ノ存スルハ、我邦現今ノ倉庫業カ未タ發達セサル爲メ、會社モ顧客モ此不便ヲ感スルノ機會少キヲ信スルト同時ニ、多少斯業

ノ利用ヲ妨クルナキヤヲ危ム者ナリ。

人或ハ運賃ノ例ヲ擧ケ、運賃モ亦貨物ノ運送、保管ニ對スル報酬ナレトモ、高價品ニハ從價率ヲ用ヒ、若クハ從價率ヲ加味スルニアラスヤト云フ者アラシモ、運送業ノ主タル目的タル輸送行爲ハ、當業者カ運送手段ヲ選フニ注意スル外、自己ノ直接ノ監視ノ下ニ此行爲ヲ爲サシムル能ハサルノ不便アリ、隨テ滅失毀損ノ機會モ少カラサレトモ、倉庫業者ハ親シク使用人ヲ管理シ、保管ニ注意スルコトヲ得ルノ利アルヲ以テ、之ヲ同日ニ論スヘカラス、且ツ運賃ノ中純然タル從價率ヲ用ユルモノハ金銀有價證券ノ如キ貴重品ナルヲ常トシ、是等ハ總輸送貨物中ノ一小部分ニ過キス、鐵道ニ於テ從價率ヲ併用スルハ、一部貴重品ニ止ルモノトス。

擬從量率ヲ可トスルモ、何故ニ内外共重量ヲ用ユルモノ之アリヤト云フニ、荷造ノ内容區々ナルカ、散荷ナルモノ如キカ、若クハ重量ヲ以テ稱ヘル習慣アルモノノ如キハ、便宜上之ニ依ルヲ利トスヘキ點アリ、國ニ依リテハ、多ク一噸何程ト爲スモノ之レアリ、又近年米國ニ於テハ鐵道トノ聯絡上百分度ヲ單位トスル風アリト云ヘト、之トモ貨物ノ種類ニ依リテ料率ヲ區別シ置クヲ以テ、同一貨物ナルトキハ、重量二倍ノモノハ、容積モ亦二倍ナレハ、結局容積ニ依リタルコト、爲ルナリ。

(五)割増ト割引 我邦ニハ、貨物ノ種類ニ依リ、從價率ヲ割増スルノ例ハ之レアルモ、外國ノ如ク、寄託貨物ノ數量多キトキ、期間長キトキ、常得意ナルトキ特ニ割引スルモノ尙ホ稀ナルカ如シ、

常得意割引ノ如キハ、實際上或ハ實行シ居ル向キモ之アルヤモ許ラレサレトモ、其他ノ割引法ヲ行フモ、想フニ斯業繁榮ノ一策タルヲ疑ハサルナリ。倫敦港務局ノ如キモ亦從來各會社カ行ヒ來レル慣習ニ從ヒ、或種ノ商品ニ限リ、保管料其他ノ費用ニ對シ、一定ノ割引ヲ與ヘ居レリ、但シ(一)解船賃、車力賃(二)輸入商ノ爲メノ立替金(三)輸入商ノ支拂ヒタル引渡料ニハ及ハサル定メニシテ、局外ノ倉庫業者モ亦相當ノ割引ヲ爲シ、其割合比較的多カリシモ、近年大體上局内ノ割合ト大差ナキコト、爲レリ。

〔註〕 關防倉庫ノ割引 信州關防倉庫ニテハ、生商ノ保管料一石、一日三錢ナルモ、四十日ヲ經過スレハ一日二錢トス、又前年十二月ヨリ其年十一月迄ノ保管料、乾燥料、手数料等ノ總額カ一千圓以上ニ達スルトキハ、金額ニ依リ三分乃至一分六分ノ割引ヲ行ヒ居レリ。

(六) 荷役賃 倉庫ハ寄託物ニ對シ、一定ノ保管料ヲ請求スル外、普通荷役賃ト稱シ、入庫賃及出庫賃(即チ出入手敷料ニテ、之ヲ各別ニ定ムルモノアレト、兩者同一金額ナルヲ以テ、合算シテ出入賃ト稱スルモノ多シ)並ニ特種荷役賃ヲ請求スルヲ常トス、特種荷役賃トハ藏移賃、拼直シ賃、仕譯賃、假置扱賃、臨時出入賃、通過賃、解移賃及ヒ看賞賃ヲ總稱シタルモノニテ、出入賃ノ二割乃至七割、八割ヲ申受ク、而シテ荷役賃ハ一回ノ入出庫ニ對シ一回宛徴收スルヲ以テ、保管料ノ如ク、期間ヲ單位トシ、其長短ニ比例スルモノニアラスト雖モ、是亦廣義ノ保管料ト稱スルヲ得ヘク、其金額モ少額ナラス、次表ニ示ス荷役賃ノ如キハ、一箇月ノ保管料ト略等シキ金額又

ハソレ以上ナルヲ以テ、在庫一箇月ニ滿タスシテ出庫スル貨物ハ、結局保管料ノ二倍以上ト、其從價率ト看賞賃等トヲ支拂ハサルヘカラス。

荷役賃ハ元來取扱手数料ナルヲ以テ、内外共ニ從價率ヲ用ユルハ當然ニテ、出入、積込ノ難易ニ依リテ等差ヲ設ク、而シテ前述ノ如ク、倉庫ハ其會社所屬ノ人夫(之ニ常備ノモノト臨時傭入ノモノトアリ、臨時ノモノハ業務ノ繁閑ニ應シ適宜、附近ノ人夫頭ニ命スルモノナリト云フ)ヲシテ專ラ之ニ當ラシメ、唯特ニ承認シタル場合ニ限リ、荷主ノ命セル人夫ヲ使用スルコトヲ得セシムルモノトス、然レトモ這ハ蓋シ信用アル常得意ニ限ルモノナルヘシ、何トナレハ倉庫カ荷役賃トシテ申受クル金額ハ、取扱ノ實費ニアラスシテ、實費以上何割カニ當リ、此何割ハ事實上保管料收入ノ一種ト爲ルモノナレハナリ。

今歐米ニ於ケル荷役賃如何ヲ觀ルニ、是亦國ニ依リ地方ニ依リ倉庫ニ依リテ同シカラス、或ハ取扱料(Handling charges)又ハ引渡料(Delivery)ナル概括的名稱ノ下ニ何程ト定ムルモノアレハ又次ノ一例ノ如ク各別ニ示スモノアリテ、一定セサルモノ、如シ。

佛國「マルセイユ」港保管料及荷役賃(大噸前)

保管料	積込積卸	検査	入庫	出庫	拼替	看賞	再拼替
綿	〇・九五	一・四〇	二・八五	一・四〇	〇・五〇	〇・七〇	〇・七〇
麥粉	〇・四〇	一・四〇	二・八五	一・四〇	〇・五〇	〇・七〇	〇・九〇
羊毛(不洗)	一・二〇	一・四〇	三・八五	一・九〇	〇・六〇	〇・九〇	〇・九〇

手及賃役荷料管保社會式株庫倉訪諏

定日一月六年一十正大

種類	保管料		役料		摘要
	單位	率	單位	率	
生 滿	一石	一日三錢	一石	三十錢	入庫當日カラ四十日ヲ經過スレハ爾後ノ保管料ハ一日金二錢トナリマス
半乾 滿	一石	一日二錢	一石	二十錢	
乾 滿	一石	一日五厘	一石	五錢	
出 發 滿	一石	一日四厘	一石	四錢	
生 絲	一捆	一日一錢五厘	一捆	五錢	
米、豆、小麥	一石	一期二錢五厘	一石	二錢五厘	外ニ從價保管料トシテ保險金百圓ニ付一日金二厘頂キマス 毎月十日、二十日、月末マテノ三期ニ區分シマス
大 麥、粗	一石	一期二錢	一石	二錢	

右以外ノ貨物ハ價額ト容積トニヨリ各料率ヲ定メマス

◎乾 燥 料 及 手 數 料			手 數 料		
種類	單位	率	種類	單位	率
全 乾 燥	一石	一圓十錢	乾 滿 合 併	一石	七錢
種 類	單 位	料 率	生 滿 合 併	一石	十錢
殺 蠅	一石	六十錢	損 傷 滿 拾 出	一升	七錢
種 類	單 位	料 率	文 庫 造 荷 解	一 個	三 錢
殺 蠅	一石	七十錢	生 滿 荷 造	一袋	二錢
種 類	單 位	料 率	文 庫 造 荷 解	一 個	三 錢
殺 蠅	一石	七十錢	生 滿 荷 造	一袋	二錢

料 數

殺蠅ヲ兼マル乾燥ハ一石ニ付金三十錢ヲ増シマス
乾燥ノミノ場合モ荷役料ハ頂キマス
右規定以外ノ乾燥ハ程度ニヨツテ定メマス

生 滿 荷 造	乾 燥 荷 造	文 庫 造 荷 解
一 籠	一 袋	一 個
二 錢	七 錢	三 錢
本 造	本 造	本 造
二 錢	七 錢	三 錢
マ テ	マ テ	マ テ
錢	錢	錢

右ノ外特別ニ手數ヲ要シタ場合ニハ別ニ料金ヲ申受ケマス

(期間單位ノ主義) 期間ヲ十日單位トスル右ノ如キ主義ト、阪神地方ノ如ク十五日單位トスル主義ト孰レカ可ナルヤト云フニ、最モ理論ニ適スル方法ハ、嘗テ京濱ニ於テ日歩計算ノ行ハレタル場合ニ用ヒタル如ク、實際ノ在庫日數ニ依ルニ、即チ一日ヲ單位トスルモノニテ、十日單位、其他ハ孰レモ便宜主義ニ依ルモノナリ、換言スレハ倉庫ノ利益ヲ増加シ、且ツ計算モ幾分簡單ナラシメントスルカ爲メナリ、何故ニ倉庫ノ利益ト爲ルヤト云フニ、假ニ十日ヲ單位トスルモ、例ヘハ、九日ニ入庫シ、二十一日ニ出庫スルモ、三期間、即チ一箇月分ノ保管料ヲ徴收シ得ヘタ、出入頻繁ナルトキハ此利益少カラサルヘケレハナリ、此點ヨリ觀ルトキハ英國、印度、滿洲ノ如ク一週間主義ヲ最良トシ、京濱ノ十日主義之ニ次キ、阪神ノ十五日主義ハ最モ不條理ナレトモ、是尙ホ米、獨ノ二十日又ハ三十日主義ニ比シテハ稍佳ナリト謂フヘシ、但シ料率ニシテ此不條理ヲ補フ程度ニ低カラシカ、強チ不當ト稱スヘキアラサルナリ。

(料率ノ協定) 右ノ表ハ既述ノ如ク京濱十五倉庫カ料率ニ關シテ協約ヲ結ビ、依テ以テ、保管料

ノ異ルヨリ生スル不利益、就中競争ノ結果相互ニ難下クルノ弊ヲ除クニ在リ、宛モ汽船會社カ運賃ヲ、運送取扱業者カ其手数料ヲ、火災保險會社カ保險料ヲ協約スルト趣旨ヲ同フシ、一種ノ「カ」ルナル「聯合」ニ屬スルモノナレハ、加盟會社就中新設會社カ德義ヲ重シ、多少ノ不利益ヲ忍フト同時ニ、相互ノ監督、破約ノ制裁ニシテ充分ニ行ハレサレハ、甲社先ツ手心ヲ加ヘ、乙社之ニ倣ヒ、遂ニ有名無實ノ協約ニ終ルコトナキヲ保セス、是レ往々火災保險料ノ協約、賣價ノ協約等ニ見ル所ニシテ、新設會社ニシテ得意關係少キモノハ、舊會社ニシテ信用アリ、得意多キモノニ比シ幾分低率ト爲シ、此點ニ於テ舊會社ニ對抗スルニアラサレハ、事業發展ハ扨措キ、經營スラモ困難ニ陥ルヘケレハナリ、嘗テ京濱一、二ノ倉庫カ此協約ニ加ハラサリシ其消息ハ、願フニ此邊ニアリタルモノナルヘシ。

料率ノ制限 我邦始メ歐米各國ニ於テモ、穀物倉庫、若クハ保税倉庫ノ保管料ニ就テハ、當局ノ認可ヲ經ヘキ制限アリ、米穀物倉庫ノ如キモ、州法ニ依リ最高限度ヲ定メ、之ヲ公告シタル上、一定ノ期間内變更スルコトヲ得サルモノアレトモ、是等ハ特別ノ性質ヲ有スルモノナルカ爲メニテ、一般倉庫ノ保管料ニ關シテハ、各國多ク當業者ノ自由ニ放任スルモノ、如シ、蓋シ普通ノ保管料ハ尙普通銀行ノ利子ノ如キモノニシテ、汽車電車ノ運賃、若クハ瓦斯、電氣ノ燈火料ノ如ク、獨占ノ性質ヲ有スルモノニアラサルヲ以テ、放任主義ニ依ルヲ可トスヘシト雖、農業倉庫ノ如キハ制限ヲ加フル必要アリ、又重要倉庫カ合同スルニ至ラハ、其料率ニ對シ多少ノ制限ヲ加

ヘサルヘカラス、現今ノ如ク重要倉庫カ協定セル場合モ一考スヘキ問題ナルヘシ。

(七)保管料計算法 ハ倉庫ニ依リ區々ナルヘキモ、次ニ一般倉庫ノ計算例トシテ、東京ニ於ケル三菱倉庫ノ方法ヲ述フヘシ。

保管料ヲ取立ツル方法ニハ(一)現在計算及(二)出庫計算ノ二種アリ、現在計算ハ每一箇月ノ勘定トシ、毎月二十日ヲ限リ、前月二十一日ヨリ其月二十日ニ至ル出入庫貨物及ヒ現在高ニ依リ、期數ノ積數ヲ用ヒテ計算スル方法ニシテ、此間ニ出庫シタルモノハ固ヨリ、二十日ニ殘存スル分オモ計算シ(倉庫ニ依リテハ、月極ニテモ、一箇月内ニ出庫シタル分ノミヲ計算スルコトアリ)二十日ヲ締切日トシテ請求ス、從テ例ヘハ其月一日ヨリ月末ニ至ル一箇月藏置ノ場合ニ於テモ、二十日マテノ分ハ其月ニ請求シ、二十一日ヨリノ一期分ハ翌月ノ二十日ニ締切ト爲ルツケナレトモ其寄託カ一時的ナルカ、又ハ寄託者ノ申込ニ依リ、其月中ニ出切ト爲ルコト明カナルトキハ、月末マテノ分ヲ二十日ニ繰上ケテ請求スルコトナキニアラス。

出庫計算ハ貨物出庫ノ都度、ソレマテノ積數ニ依リ算出シタル保管料ヲ請求スル方法ナリ、孰レノ方法ニ依ルモ、繰越殘高アル場合、同種類ノモノ、寄託ヲ受ケタルトキハ、普通之ヲ合併スルモ、(一)寄託者ヨリ取引ノ都合上特別ノ申出アリタルトキ、(二)多額保管ニシテ何個口トカ何俵口トカ取引上區別サル、場合(三)輸送關係ニ依ル場合、例ヘハ輸入品(外國糖、外國米其他)、移入糖、臺灣糖、沖繩糖等)、精糖、臺灣米、朝鮮米等ハ庫入免狀番號別、移入番號別、積載船舶別

等ニ依リ、別口トシテ取扱フモノトス。

保管料金額中厘位ハ(一)現在計算ノ場合ハ一口毎ニ締切ノ場合ニ四捨五入シ、(二)出庫計算ノ場合ニハ、出庫ノ都度、其口毎ニ之ヲ行フ。

荷役賃ノ取立ハ(一)現在計算ノ場合、一期又ハ一箇月ニテ全部出切ト爲ルトキハ、保管料ト共ニ取立テ、又數箇月ニ互ルトキハ、最初ノ請求ノ時ニ、後日ノ残高ニ關係ナク、其時マテノ入庫高全部ニ就キ請求シ、若シ一回目以後ニ入庫アレハ、其次ノ請求日ニ取立ツルモノトス、而シテ(二)出庫計算ノ場合ニモ亦最初ノ出庫ノ際、入庫高全部ニ對スル荷役賃ヲ請求ス(但シ保管料ハ出庫高ニ對ス)。

出入賃ハ原則トシテ分割セザレトモ、貨物受渡ノ習慣ニ依テ分類スルコトアリ、例ヘハ米穀、食物ノ類ニシテ、斯ル場合ニハ庫入賃ハ入庫ノ際請求スル筈ナレトモ、月極ノ貨主ニ對シテハ、最初ノ保管料請求ノ時ニ取立ツル習慣ナリ、而シテ庫出賃ハ出庫ノ都度請求スル習ヒナルモ、寄託主ノ都合上一時ニ全部ヲ支拂ヒ、毎回之ヲ支拂フノ煩勞ヲ避クルコトアリ。

看貫ハ(一)特ニ之ヲ必要トスル場合(例ヘハ輸入糖ノ如ク從量稅ヲ課セラル、場合)(二)取引ノ性質上看貫ヲ要スル場合(米穀、食物等)(三)貨主ノ請求アリタル場合ニ之ヲ行ヒ、何時ニテモ請求ス。

次ニ保管料及荷役賃ノ計算例ヲ示スヘシ。

(A)現在計算ノ例 例ヘハ某輸入商アリテ、蘭貢米千五百袋(一袋百七十斤入、保險價格拾五圓)ヲ二月四日ニ入庫シ、同月十日ニ五百袋、又十五日ニ七百袋ヲ出庫シタリトセバ、同月二十日ノ締切日ニ於ケル計算ハ次ノ如シ。

月日	入庫高	出庫高	残高	期間	積數
2.4	1,500 袋		1,500 袋	1	1,500 袋
2.10		500 袋	1,000 "	1	1,000 "
2.15		700 "	300 "		
	1,500 袋	1,900 袋			2,500 袋
	¥0.042+32,500=	¥35.—	從量保管料		
	¥15×2,500+3×	¥27.—	從價保管料		
	10,000	¥60.—	保管料		
	¥0.11×1,500=	¥165.—	出入賃(租シ入庫賃ノミナ)		
		¥295.—	ルトキハ此半額		
		¥165× $\frac{2}{10}$ =	看貫		
		¥33.—			
		¥258.—			

(B)出庫計算ノ例 右ノ例ニ於テ、出庫計算ト爲ストキハ、次ノ如ク二回ニ請求スルモノトス。

2月10日

¥0.042+3×500=	¥7.—	從量保管料
¥15×500+3×	¥5.—	從價保管料
10,000	¥12.—	保管料

(11) 文具、印刷及廣告費

筆墨、其他文具、諸印刷、帳簿用紙、廣告費等

(12) 雜費

辨當費、祭禮費、組合入費、興信所費用、進物、接待、其他雜費、臨時費、小雜費

(13) 雜損

賠償金其他諸損

右ノ如ク收入、支出ノ項目少カラサルモ、收入中重ナルモノハ(1)(2)(3)(4)(5)ノ五種、即チ保管料、貨庫料、出入庫貨、受渡料、及ヒ手數料等ニシテ、就中保管料カ全收入ノ大部分ヲ占ムルハ勿論ナリ、而シテ此等總收入ヨリ總支出ヲ差引キタルモノハ、即チ純益ト爲リ、之ヲ配當金(資本ノ利息ニ當ル)賞與金、諸積立金(所有物原價償却積立金、配當平均準備金、準備積立金即普通ノ積立金等ヲ含ム)等ニ分配セサル可ラス、故ニ歸スル所ハ、大體上保管料ヲ以テ、資本ノ利息、諸積立金、修繕費、其他一般營業費、損害賠償金等ヲ蔽フニ足ルヘク算出セサルヘカラス、約言スレハ、諸費用及ヒ相當歩合ノ配當金、必須積立金等ヲ合計シタルモノハ、略保管料其他ノ總收入ニ一致セシメ、之ヲ以テ保管料率ノ最低限度トセサルヘカラス、然レト一般經濟界不相當ノ建築及ヒ設備ヲ爲シ、過當ノ最低限度ヲ作ルモ、需要者ニシテ、入庫ノ利益、其料率ヲ支拂フノ價値ナシトセハ、入庫貨物モ之ナカルヘキカユニ、獲リニ莫大ノ經費ヲ投スルハ、顧フニ策ノ得タルモノニアラス、之ニ反シテ、倉庫ノ地位、設備等、需要者ノ希望ニ適合センカ、入庫貨物ハ迎ヘスシテ、自カラ其倉庫ニ充滿スヘキヲ以テ、此場合ニハ、任意其貸率ヲ高メテ、意外ノ利得ヲ獲ルナルヘシ、此邊ノ呼吸ハ猶ホ一般ノ營業ニ異ナラサルナリ。

一般ノ標準ハ上述ノ如クニシテ、サテ實際ノ料金ヲ決スルニ當ツテハ、保管貨物ノ容積、重量、品質、形狀、荷造、取扱ノ難易、保管期間ノ長短等ヲ斟酌セサルヘカラス、今假リニ總坪數四千坪(但シ平均四分ノ一ハ空シキモノト假定ス)ヲ有スル某倉庫會社ノ半期ノ總收入拾貳萬圓(内二割ヲ雜收入トス)アレハ、營業費ヲ支拂ヒ、相當ノ積立金ヲ設ケ、且ツ相當ノ配當ヲ爲スコトヲ得トセハ、即チ營業トシテ成リ立チ得ルモノトセハ、一坪ノ收入半期參拾貳圓、一坪一ヶ月ニ付キ五圓參拾參錢參厘ヲ獲サルヘカラス、即チ

$$\frac{¥120,000 \times (1 - \frac{2}{3})}{4,000 \times \frac{3}{4}} = ¥32 \text{ -- } \frac{¥32 \text{ --}}{6} = ¥5.333$$

右ハ從量率ノミトスル場合ノ大體ノ標準ニシテ、之ニ對シ火災保險料ヲ加ヘ、從價率ヲ加味シ、其他貨物ノ荷造、大小、性質等ニ依リテ區別スルノ必要アリトス
例ヘハ米ハ一坪二十俵ツ、(之ヲ一坪ノ足數又ハ臺數ト云フ)十六層ニ積ミ得ルモノトセハ、一坪全體ノ收容力百六拾俵ト爲リ、此火災保險金額一俵拾五圓、保險料一箇年千分ノ一・二トセハ、一俵ニ付キ一月壹厘五毛ト爲ルカユニ、純收入坪五圓參拾參錢參厘ナラシメンニハ、一俵ノ保管料ヲ參錢四厘八毛トセサルヘカラサルカ如シ。

$$¥15 \text{ -- } \times \frac{1.2}{1,000} \times \frac{1}{12} = 1 \text{ 厘 } 5 \text{ 毛 } \dots \dots 1 \text{ 俵 } 1 \text{ 月 } \text{ノ火災保險料}$$

$$\frac{¥5,333}{160} = ¥0.0333$$

$$\frac{¥0.0348}{15}$$

サレト、從價率、荷役賃ヲ斟酌シ、從來ノ慣習、他ノ倉庫ノ振合、入庫者ノ多少(即チ一般經濟界ノ振・不振)等ニ依リ、更ニ之ヲ手加減セサルヘカラス、例ヘハ從價率ヲ萬分ノ五トシ、荷役賃ノ純收入、保管料ノ一割ニ當ルモノトセハ

$$3.48 \times (1-1) = 3.13$$

$$3.13 \times \left(\frac{¥51 \times 1}{2000} \right) = 2.38 \text{ (1俵1ヶ月ノ從價保管料)}$$

$$\Delta \text{ 現今ハ } \frac{20}{10,000} = \text{增加セリ}$$

右ハ一ヶ月一俵ニ付何程トスル從量保管料ナレトモ、純然タル從價保管料、例ヘハ鐵力板ノ萬分ノ二十一(震災前マテ)、若クハ舊制度ノ日歩ノ如キモ、大體右ノ方法ニ準シテ算出シ得ルモノトス、例ヘハ日歩保管料ノ一例ヲ示サンニ、「アンペラ」包白砂糖ハ一坪ヘ九俵(一俵百斤入)ツ、十五層積ミ得ルモノトシ、此俵數百三十五俵ニテ、一俵三十圓トセハ、此價格四千五拾圓、火災保險料一ヶ年千分ノ一・二トシテ、一坪ノ純收入五圓參拾參錢參厘ヲ獲ンニハ、日歩保管料ヲ四厘七毛トスヘキカ如シ。

$$¥5,333 \times \frac{100}{4,030} \times \frac{1}{30} = ¥0.00439 \dots 100圓ニ付1日ノ收入$$

$$¥100 \times \frac{1.2}{1,000} \times \frac{1}{12} \times \frac{1}{30} = ¥0.00030 \dots 100圓ニ付1日ノ保管料$$

$$¥0.00439 \dots \text{日歩}$$

荷役賃ヲ一割トセハ、約四厘二毛トシテ可ナルノ理ナリ。

(九)米國ノ保管料算出法 米國ニ於テモ從來ハ保管料並ニ荷役賃共ニ、單ニ發給ナル想像ニ依リテ作成シタレトモ、近來原價計算法ノ發達スルニ從ヒ、是等モ亦科學的方法ニ依リテ算出セラレ、倉庫業者ヲシテ收支相償ハシムルト同時ニ、顧客ニ對シテモ公平ナラシムルヲ期スルニ至レリ、次ニ一般商品ノ保管料算出ノ要旨ヲ述フヘシ。

(甲)保管料 ハ第一要素トシテ貨物ノ占ムル(一)面積ヲ標準トシ、次ニ(二)價格ト(三)貨物ノ性質(大小、形狀、排置ノ便否、他ノ貨物ヲ汚損シ若クハ汚損サレ易キヤ否ヤ、溫度、乾濕等ニ關スル條件)ヲ考慮シテ定ムヘキモノニシテ、是等ノ三要素ヨリ科學的ニ算出シタル標準料率ヲ用フル制度ハ、「マッサチニューセッツ」州ナルヲ以テ、此方法ヲ呼ンテ「マッサチニューセッツ」法(Massachusetts System)ト稱ス、米國倉庫協會モ亦此方法ニ依ル標準率(Rate tables)ヲ定メ、倉庫業者ヲシテ、各自ノ立場ニ從ヒ、自己ノ料率ヲ作成セシムルコト、爲セリ。

料率算出ノ單位ハ標準積(Standard warehouse pile)若クハ荷口單位(Lot unit=L. U.)ト稱シ、

床ノ面積百二十平方呎ニ於テ、普通ノ荷物カ實際上積込ミ得ヘキ最大量ヲ意味シ、重量ハ一平方呎ニ付キ二百五十封度、高サヲ八呎三分ノ一(百吋)ト定ム、即チ容積一千立方呎、此重量三千封度ヲ一單位ト爲スモノニシテ、各貨物ニ對シ、此單位ヲ基礎トシテ算出シタル割合ヲ求メ、各倉庫ノ諸費用ヨリ計算セル一立方呎當リノ料率ヲ乘シテ保管料ヲ求ムル方法ナリ、而シテ此料率ハ八呎三分ノ一ニ積ミタル重量カ二百五十封度ト爲ル理想的荷物ヲ標準トシ、即チ一立方呎ノ重量三十封度ト爲ルヲ以テ、一立方呎ノ重量カ三十封度未滿ナレハ容積ニ依リ(一立方呎ヲ單位トス)又三十封度以上ナレハ實際ノ重量ニ依リテ計算ス、即チ重量又ハ容積ノ中孰レカ料金ノ多キ方ヲ採ルモノニテ、想フニ運賃ノ計算法ニ倣ヘルモノナルヘシ、我邦ノ如ク平家建ノ倉庫多キ國ニ於テハ、重量ハ(荷役賃ニハ關係アルモ)保管料ニ影響スルコトナキ筈ナレトモ(同一質量ノモノナレハ、固ヨリ重量ニ依ルモ容積ニ依ルモ異ル所ナシ)米國ノ如ク數階ノ建物ヲ用フレハ、建物ニ關係アル點ヨリ、斯ル標準ヲ用フルナラン。

然レトモ荷物ノ形狀、性質ハ區々ニシテ、八吋三分ノ一マテ積ミ得サルモノアリ、殊ニ枠入ニセサル機械、自動車ノ如キハ、其マ、藏置セサルヘカラス、又一口ノ荷物中ニ商標、形狀カ異リ區別シテ藏置シ、且ツ計算スヘキモノアリ (Assortment ト云フ Bulk) ニ對ス)甚シキハ各個別々ニ藏置シテ、各別ニ取出シ、計算スヘキモノモ (Serial number delivery=S. N. D. or Individual package delivery=I. P. D.)ナルヲ以テ、是等ハ標準料率ヨリ割増スヘキコト勿論ニシテ、此他

一部出庫後ニ於ケル空間ハ無用ト爲ル (honey comb) 場合多キヲ以テ、是等モ亦考慮セサルヘカラス。

〔註〕 Standard Modification 米國ノ倉庫協會ニ於テハ委員ヲ設ケ、種々ノ貨物ニ伴フ危険ヲ調査シ、之ヲ以テ保管料及荷役賃ヲ定ムル資料ト爲シ、又入庫ノ場合ノ注意事項ト爲セリ、即チ修正表ナルモノニシテ、此表ハ次ノ如シ

- (一) 過大評價ノ虞アルモノ (ウァニア豆、絹織物、亞鉛塊、帽子、「アルミニウム」器物等)
 - (二) 荷造又ハ内容ノ脆弱ナルモノ (「アマモニア」瓶入貨物、鏡「ホヤ」、「クレヨン」、電燈、蜜蜂ノ巢等)
 - (三) 特ニ損害、又ハ請求ノ多キモノ (上等ノ煙草、織物、「アルミニウム」器物、酒精、「キヤンディー」、「ダイヤ」、堅果、日本品、漆器等)
 - (四) 損傷ヲ生シ易キモノ (「アルコール」、糖蜜、染料、液體ノ藍、「フューズ」等)
 - (五) 漏損ノ虞アル爲メ特ニ注意ヲ要スルモノ (總テノ液體)
 - (六) 温度ニ關シ特別ニ注意スヘキモノ (「インキ」、果物、野菜、酸類等)
 - (七) 隔離ヲ要スルモノ (茶、羊毛、曹達瓶等)
 - (八) 蟲ノ附キ易キモノ (皮附落花生、大豆、穀類、麥粉、種子、「キヤンディー」等)
 - (九) 保險ニ對シ、危険性トセラル、モノ (植物纖維「ウァニス」、「アスファルト」、海軍用品、酸類、燐寸、毒藥類)
 - (十) 惡臭ヲ放ツモノ (羊毛、酒精、煙草、膠「ゴム」、棕桐油、生皮、鹽漬魚類、葱、葫等)
 - (十一) 塵埃ノ弊アルモノ (袋入「セメント」、亞爾加里、石綿、麥粉、胡椒、袋入澱粉、胡粉等)
 - (十二) 亂雜ニ爲リ易キモノ (棗椰子、脂肪、葡萄酒、油、鹽漬食料品等)
 - (十三) 検査又ハ手入ノ爲メ荷主力取出ス必要アルモノ (樽入橄欖油、樽入「チェリー」、鹽漬食料品等)
- 保管料ノ表 大會社ニ於テハ、其料率表 (Tariffs) ナ印刷シ、幅八吋、長十一吋大ノ紙頁、三四十頁ニ及フモノヲ發行ス(一般商品倉庫ニテ、家財、穀物、棉花倉庫等ハ然ラス)

利用面積 建物ノ總面積中幾何歩合カ利用シ得ヘキカ、又利用シ得ル面積中、平均何割カ使用セ

ラル、ヤヲ知ルコトハ、保管料算出上最モ必要ナル事項ニシテ、我邦ニ於テモ、倉庫ニ依リテハ各自之ヲ算出シ居ル管ナルカ(平均何程ト爲ルヤハ、未タ據ルヘキ統計ナシ、倉庫ノ總面積中「エレヴェーター」、階段、船積室、其他ノ作業室ヲ除キタル外、更ニ柱、管、自動消火器其他ノ消防設備等ノ爲メニ減少シ、尙ホ空隙(通廊ニシテ、之ニ幹道ト支道トアリ)ヲ存セサルヘカラサルヲ以テ、正味利用シ得ヘキ面積ハ意外ニ少キモノトス、米國ニ於テハ利用シ得ヘキ面積ハ七割五分乃至八割ニシテ、此内實際使用シ保管料ヲ生スル割合ハ五六割ナレハ、平均總面積ノ五割ト見テ保管料ヲ算出シ居レリト云フ(穀物倉庫等ハ別ナリ)。

〔註〕倉庫ノ利用面積 最近米國ニ於ケル倉庫業者ノ委員會ニ於テ調査セル所ニ據レハ、(一)永久的ニ空隙トシテ利用シ得サル通路、火災豫防裝置等ガ二割乃至二割五分、(二)寄託主ノ爲メノ看賞、見本取出、再手入等ノ作業ノ爲メノ面積カ五分乃至一割二分、(三)一部出庫、豫約ノ違反等ニ因ル空費面積ガ零分ヨリ八分、(四)遊ヒ面積(收貯力ヲ充分ニ爲スヤ否ヤニ依リテ大差アリ)ハ零分ヨリ四割位ナルヲ以テ、空虚面積ハ最低二割五分(85%+1%+0%+0%+0%)ヨリ最高八割五分(85%+12%+8%+0%+0%)ニ上リ、之ヲ平均スレハ五割五分ト爲リ、收入ヲ生スル面積ハ四割五分ト爲ルヲ以テ、概算五割ト看做スト云フ。

(乙)荷役賃 モ亦從來實際ノ費用ヨリ精密ニ算出セラレタルモノニアラサリシカ、近年賃銀ノ騰貴ト、原價計算ノ應用トニ因リ、新式ノ方法ヲ案出シ「一人時間」(man hour)ヲ標準トシテ計算センコトヲ試ムルニ至レリ、即チ一人ノ仲仕カ一時間ニ於テ、各貨物ニ對スル出入庫、其他ノ作業ヲ何程行ヒ得ルカラ調査シテ、平均シタル表ヲ用ヒ、各倉庫ニ於テ一人一時間ノ費用ニ依リテ

純荷役賃ヲ求メ、之ニ間接費ト利益トヲ附加シタルモノニ外ナラス。

第五款 保管期間

(一)期間 保管期間トハ貨物入庫ノ時ヨリ其出庫ノ時マテノ時日ニシテ、即チ倉庫業者カ保管ノ責任ヲ負フヘキ期間ニ外ナラス、而シテ此期間ヲ定ムルト否ト、及ヒ其長短ハ、一ニ當事者ノ任意ニ定ムル所ニシテ、實際ニ於テハ物品ニ依リテ同シカラサレトモ、寧ロ之ヲ定メサル方多ク、若シ定メタルトキハ六箇月以内ニテ、大低三四箇月位ナルカ如シ、保管ノ期間ヲ定メタルトキハ、其期日ニ至リテ出庫スヘキモノニテ、若シ都合ニヨリテ出庫セサルトキハ、更ニ預ケ繼キノ手續ヲ爲サ、ルヘカラス、若シ之ヲ怠ルトキハ、二倍ノ料金を課セラル、コト前述ノ如シ、尤モ出庫ハ貨物所有者ノ隨意ニテ、假令期間ヲ定メタルトキト雖モ、満期前何時ニテモ出庫スルコトヲ得ルモノトス。(但シ農業倉庫法ハ、期間ヲ六箇月以内トシ、更新後モ亦六箇月ヲ限度トス)。

(二)返還 右ハ豫メ一定ノ期間ヲ定メタル場合ナレトモ、其期間ヲ定メサル場合ニハ、倉庫ハ何時ニテモ之ヲ返還シ得ヘキヤ、又預證券所持人カ在再時日ヲ經過シ、何時迄モ出庫セサルトキハ如何ニスヘキ乎、若シ民法ノ原則ニ從ヒ、何時ニテモ返還スルコトヲ得ルモノトセハ、貨物所有者ノ迷惑ヤ多大ナルヘク、又出庫迄無期限ニ保管スヘキモノトセハ、倉庫ノ不都合少カラサルヘシ、是ニ於テカ商法ハ其第三百七十八條ヲ以テ之カ調和ヲ圖リ「當事者カ保管ノ期間ヲ定メサリシト

キハ、倉庫業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六箇月ヲ經過シタル後ニ非ラサレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス、但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニアラスト規定シ、假令期間ノ定メナキトキト雖モ、少クモ六箇月ハ保管セサルヘカラスト爲スカ故ニ、倉庫ハ六箇月ヲ經過シテ尙ホ出庫セサル貨物ハ、豫定期間經過後ノ貨物ト同様ノ取扱ヲ爲スヲ得ヘシ、尤モ如何ナル理由アルモ、六箇月ヲ經サレハ返還スルヲ得スト爲サハ、倉庫ハ勿論預主ノ利益ニアラサルヘキカ故ニ、但書ヲ設ケテ萬一ニ備ヘタリ、今我邦ノ實際ヲ見ルニ、其營業規則及倉庫證券中ニ、左ノ如キ意味ノ條款ヲ設ケテ、其保管義務ヲ免ル、モノ多キカ如シ。

受寄物保管中變質損傷等ノ虞アルコトヲ發見シタルトキハ、書狀又ハ新聞紙ニ依リ、寄託主又ハ證券所持人ニ寄託物ノ處分ヲ催告スヘシ、但シ其猶豫シ難キ場合ニ於テハ、寄託主又ハ預證券所持人ノ處分ヲ待タズ、當會社ニ於テ適宜ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ、寄託主又ハ證券所持人ニ於テ前項ノ催告ヲ拒ミ、又ハ等閑ニ附シタル爲メ、倉庫又ハ他ノ積合セ貨物ニ損害ヲ生シタルトキハ、受寄物ヲ競賣ニ附シ、其代金ヲ以テ賠償ニ充テ、尙ホ不足アルトキハ、寄託主又ハ證券所持人ニ對シ、其償還ヲ求ムルモノトス。

前述商法ノ規定ハ期間ノ定メナキ時ニ限りタルモ、右ノ條款ハ期間ヲ定メタル場合ニモ適用セントスルノ意思ニシテ、法律モ亦之ヲ認ムルモノトス。(註一)

(三) 供託及競賣 契約若クハ六箇月ノ法定期間ヲ經過シタル後、又ハ右條款ノ如キ損敗ノ場合ニハ、倉庫ハ貨物ヲ返還シ得ルコト、前述ノ如クナレトモ、若シ寄託者又ハ證券所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ、又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ、倉庫ハ寄託物ヲ供託シ、又ハ相當ノ期

間ヲ定メテ催告シタル後、之ヲ競賣スルコトヲ得ルノミナラス、損敗シ易キモノハ、何等ノ催告ヲモ爲サスシテ、直ニ之ヲ競賣ニ附スルコトヲ得ヘシ(商法第三百八十一條及第二百八十六條)
 (註一)而シテ供託トハ法令若クハ裁判所ノ指定スル場所ニ債務(註三)ノ目的物ヲ委託シ、債務者ヲシテ義務ヲ免レシムルト同時ニ、債權者ヲシテ他日其目的物ヲ受取ラシムルノ方法ニシテ、之ニ金錢又ハ有價證券ヲ以テスル場合ト、有價證券ニアラサル物品ヲ以テスル場合トノ二種アリ、第一ノ場合ハ國庫金取扱銀行之ヲ保管シ、第二ノ場合ハ司法大臣ノ指定セル倉庫業者之ヲ保管ス寄託物ヲ受取ラサル爲メ之ヲ競賣ニ附シタル場合ニハ、直ニ其代價ヲ供託スヘキ定メナルカ故ニ、右供託、競賣執レノ方法ニ依ルモ結局、供託ノ一ニ歸シ、斯ク供託シタルトキハ、倉庫ハ保管ノ責任ヲ免レ、貨物ノ權利者ハ他日供託所ニ至リ、保管料其他ノ費用ヲ支拂ヒテ現物ヲ受取リ(貨物供託ノ場合)、若クハ競賣代金ノ殘額ヲ請求スヘシ(明治三十二年二月法律第十號供託法及明治三十一年六月法律第十六號競賣法參照)。

[註一] 期間ヲ定メタルトキ、例ヘハ豫メ三ヶ月ト期間ヲ定メ、此期間内ニ損敗等已ムヲ得サル事由ヲ生シタルトキハ、如何ニスヘキカニ就テハ、商法ニ明文ナキカ故ニ、特別ノ商慣習ナキトキハ(事實上之ナキヲ當トス)民法ニ據ラサルヘカラス、然ルニ民法第六百六十三條第二項ハ「當事者カ寄託物返還ノ期間ヲ定メタルトキハ、受託者ハ已ムヲ得サル事由アルニアラサレハ、其期間前ニ返還スルコトヲ得ス」ト規定セルヲ以テ、豫メ期間ヲ定ムルモ已ムヲ得サル事由アルトキハ、期間前ニ返還スルコトヲ得ルモノトス、即チ已ムヲ得サル事由アルトキハ、豫メ期間ヲ定メタルト否トチ問ハス、又證券面ニ記載ノ如何チ問ハス、倉庫ノ欲スル時期ニ返還スルコトヲ得ルノ理也。
 [註二] 商法第三百八十一條……第二百八十六條第一項及七第二項ノ規定ハ、寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ル

コトヲ拒ミ、又ハ之ヲ受取ルニト能ハサル場合ニ準用ス。此場合ニ於テ買入證券ノ所持人ノ權利ハ競買代金ノ上ニ存ス。商法第二百八十六條……商人間ノ賣買ニ於テ、買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ、又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル後、之ヲ競買スルコトヲ得、此場合ニ於テハ遲滞ナク買主ニ對シテ、其通知ヲ發スルコトヲ要ス。

損敗シ易キモノハ前項ノ催告ヲ爲サスシテ、之ヲ競買スルコトヲ得。前二項ノ規定ニ依リ、賣主カ買買ノ目的物ヲ競買シタルトキハ、其代價ヲ供託スルコトヲ要ス、但其全部又ハ一部ヲ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス。

〔註三〕 債務ハ借金ニ限ラス、倉庫會社カ寄託主又ハ證券所持人ノ請求ニ依リ、受寄物ヲ返還スルノ義務ヲ負フモ、亦債務ノ一種ナリ、故ニコ、ニ債務ノ目的物トハ「預リタル物品」ヲ意味スルモノトス。

第六款 損害賠償

寄託者ハ相當ノ保管料ヲ支拂ヒ、自己ノ貴重ナル財産ヲ預ケ置クモノナルカ故ニ、倉庫ハ其保存管理ニ關シテ充分ノ注意ヲ拂ヒ、商人ヲシテ恰モ自己ノ倉庫ニ貯藏シ置クト同様ノ安心ヲ得セシメ、且ツ倉庫證券ノ所持人ヲシテ意ヲ安ンシテ其證券ヲ轉讓セシメサルヘカラス、是レ前述ノ如ク、法律カ倉庫ニ命スルニ「善良ナル管理者ノ注意」ヲ以テ保管スヘキコトヲ以テシタル所以ニシテ、若シ此程度ノ注意ヲ缺キタル爲メ、寄託物ニ損害ヲ生セシメタルトキハ、倉庫ハ其金額ヲ賠償セサルヘカラス、例ヘハ米商カ米百俵ヲ預入レタルニ、出庫ノ際五俵不足セルトカ、又ハ雨漏等ノ爲メニ品質損傷セルトカ云ヘルカ如キ場合ニハ、豫テ倉荷證券其他ノ書類ニ表示シタル火

災保險金額（之ヲ附セサルトキハ、是等ノ書類ニ表示シタル評價金額）ニ應シテ直ニ其賠償ヲ求ムルコトヲ得、法律上ニ於テハ倉庫營業者ハ自己又ハ使用人カ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニアラサレハ、其責ヲ免ル、コト能ハサルモノトス。

荷主カ貨物ノ保管ヲ依頼セントスルトキハ、其寄託申込書ニ價格ヲ記載スヘキ筈（保管期間中、之カ變更ヲ請求シ、倉庫ハ之ニ應スルコトアルヘシ）ナルカ、若シ之ヲ明示セサルカ、又ハ其申込價格ヲ不相當ト認ムルトキハ、倉庫會社ハ自己ノ認定ニ因ル價格ヲ附シ、寄託者ハ之ニ對シ異議ヲ申立テ、之ヲ標準トセサル損害賠償ヲ求ムルコトヲ得ス、又保管又ハ取扱上特別ノ注意ヲ要スヘキ貨物ハ、寄託ノ際特ニ其旨ヲ明示スヘキモノトシ、斯ル明示ナキ爲メ生シタル損害ハ、倉庫會社其責ニ任セス。

倉庫會社カ寄託者ニ支拂フ損害ノ金額ハ、前記ノ如ク火災保險金額若クハ申込價格（或ハ倉庫ノ評價）ヲ標準トシ、損害當時ノ時價ニ依リ計算スルモ、損害發生ノ時期カ不明ナルトキハ、損害發見當時ノ時價ニ依リ、損害ノ程度ニ應シ算定ス、但シ時價カ保險金額又ハ價格ヲ超過スルトキハ、該保險金額又ハ認定價格ニ依リ、損害ノ程度ニ應シ算出ス（三菱倉庫營業規則第二十六條）但書以下ハ少シク明瞭ヲ缺クノ嫌アルモ、大體上損害ハ時價ニ依リテ計算シツ、保險金額（又ハ其他ノ價格）ヲ限度トスルノ意味ニテ、時價低落シタルトキハ時價、時價騰貴シタルトキハ豫定價格ニ依ルモノニテ、時價ト豫定價格トヲ比較シ孰レカ支拂額ノ少キ方ヲ採ル方法ナリ、倉庫會

社ニハ不利ナルヘキモ、保險價格ト時價ノ中孰レカ一方ト爲サ、レハ穩當ニハアラス、倉庫會社ノ保管ノ責任ト保險會社ノ責任トヲ混同スルハ不條理ナリト謂ハサルヘカラス、貨物ヲ保存管理シ、之ヲ代表スル倉庫證券ヲ發行スル倉庫ノ賠償責任ハ、寧ロ徹底的ニ時價ヲ標準ト爲スヘキモノニシテ、從テ保險會社カ填補スル場合ニ於テモ、其不足額アレハ倉庫之ヲ補フヘキモノニテ、是レ決シテ倉庫營業上ノ利益トハ爲ラサルナリ。

(舉證ノ責任) 商法第三百七十六條ハ「倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非ラサレハ、其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ル、コトヲ得ス」ト定メ、舉證ノ責任ヲ倉庫營業者ニ負擔セシムルコト、爲セリ、畢竟運送人ヲシテ舉證ノ責ヲ負ハシメタルト同一ノ趣旨ニ基クモノ(運送人ノ責任ハ運送取扱人又ハ其使用人ニモ關スル點ヲ異レリトス、商法第三百三十七條)ナレトモ、後ニ挿入セル倉庫證券ノ約條第三ニ示セル如ク、倉庫ハ近年此責ヲ移シテ以テ證券所持人ニ負ハシムルコト、爲セリ、其理由トスル所ハ本條ノ如キハ公益規定ニアラサルヲ以テ、特約ニ依リ之ヲ變更スルモ妨ケナシ(四十四年函館控訴院民事部判決)ト云フニ在ルモ、若シ斯ノ如クンハ倉庫ニシテ德義ヲ重ンセサル限り、倉庫ニ對シ損害ヲ賠償セシムルコト殆ント不可能ト爲ルノ虞アリ、延テ斯業ノ發展、證券ノ流通等ヲモ阻礙スルノ虞ナキヲ保セサルヘシ。(尙ホ注意ノ程度ニ付テモ、輕過失ニ基ク火災ノ損害ヲ免ルヘク約シアルコト既述ノ如シ)此種ノ賠償責任ハ、倉庫ニ對シ重大ナル負擔ヲ負ハシムルモノニシテ、隨テ其請求權ノ時効(有

效期限)ヲ普通ノ如ク長カラシムルハ、却テ倉庫業ノ發達ヲ阻礙スルノ虞アルヲ以テ、寄託主カ一旦貨物ヲ受取り、且ツ保管料其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ、爾後賠償ノ責任ナキモノト爲セリ(商法第三百四十八條及第三百八十二條)、但シ左ノ三種ノ場合ニ限り、例外トシテ出庫ノ後ト雖モ、尙ホ損害ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得セシム。

(第一) 出庫ノ際引取主カ損害ノ疑ヒアル爲メ、豫メ、後日倉庫ニ對シ賠償ヲ求ムルコトアルヘキ旨ヲ述ヘ置キタルトキ、即チ所謂請求權ノ留保ヲ爲シ置キタルトキ。

(第二) 右ノ如ク豫メ留保ヲ爲シ置カサルモ、出庫ノ際直ニ發見スルコト能ハサル毀損(又ハ一部ノ滅失)アリテ、二週間以内ニ引取主ヨリ通知ヲ發シタルトキ。

(第三) ハ倉庫營業者ニ惡意アリテ損害ヲ生シタルトキニテ、此場合ニハ出庫ノ際留保ヲ爲サ、ルモ、又二週間内ニ通知セサルモ、倉庫ハ必ラス賠償ノ責任ヲ負フヘキモノト定ム。

右三種ノ場合ハ出庫後ト雖モ請求權ヲ有シ、倉庫ヲシテ責任ヲ負ハシムルモノナレト、此請求權ハ倉庫カ善意ナルトキ、即チ前掲第一及第二ノ場合ニハ一箇年タケ有効ナルモノトシ(普通ハ三箇年)、其期間ノ起算點ハ、一部滅失又ハ毀損ノトキハ出庫ノ際、全部滅失ノ場合ハ倉庫カ預證券ノ所持人又ハ寄託主ニ對シテ通知ヲ發シタルノ日ナリトス。

此問題ニ關シ現今我邦倉庫業者ノ定ムル所ヲ見ルニ、或ハ責ヲ負フヘキ場合ヲ定メテ雨漏、竊盜及紛失ノ場合ニ限リテ責任ヲ負フヘシト爲シ、或ハ責ヲ負ハサル損害ノ種類ヲ舉ケテ(一)直接間

接ヲ問ハス抗拒スヘカラサル災厄若クハ事故ニ因リテ生シタル損害(一)鼠害、蟲害、其他貨物ノ性質若クハ瑕疵、荷造ノ不完全、氣候ノ變遷、防疫等ニ因リテ生シタル損害(二)保險會社カ支拂フヘキ損害(四)直接間接ヲ問ハス爆發ニ由ル損害ニ對シテハ、賠償ノ責任ニ任セスト定メ、或ハ更ニ無責任ノ範圍ヲ擴張シテ、會社ノ慣習トシテ一般ニ火災保險ヲ附スル定メナルニ、寄託主ノ申込ニヨリ之ヲ附セサリシトキ、火災ニ因リテ生シタル損害ハ、其會社ノ過失ニ出テタル場合ト雖モ、輕過失ナルトキハ責任ヲ負フコトナシト約シ、或ハ前兩種ノ方法ヲ併用シ、一方ニ於テ責任ナキ場合ヲ列記スルト同時ニ、一方ニ於テハ責任ヲ負フヘキ損害ヲ掲ケタルモノナトアリ、區々ニシテ一定セサルモ、實際ニ於テハ斯ル約款ヲ云爲シテ、法律問題ヲ惹起スカ如キ事件ハ極メテ稀ニシテ、些少ノ損害ハ荷主ノ負擔ニ歸シ、其他ハ多ク示談ニテ折合フモノナリト聞ク。(倉庫業者ノ過失ニ因ル損害ハ倉庫證券上ノ約款ニ記載スルモ、責任ヲ免ル、モノニアラス(大審院判決例))

受寄物カ變質損傷其他ノ原因ニ因リ、倉庫又ハ他ノ貨物ニ損害ヲ生シタルトキハ、寄託者又ハ證券所持人ニ於テ賠償ノ責任ニ任セサルヘカラス、而シテ斯ノ如キ虞アルトキ、又ハ保管ニ適セサルニ至リタルトキハ倉庫ハ其旨ヲ通知シ、自己ノ費用ヲ以テ處分セシムルコトハ、既ニ述ヘタル所ノ如シ。

右ハ保管貨物ノ在庫中ニ生シタル損害ニ關スルモノナレト、其他倉庫業者ノ過失ニ因リテ、數量、品質等ニ關シ、實際ト相違セル事項ヲ倉庫證券ニ記載シタル場合ニモ亦賠償責任ノ問題起ルヘシ

然レトモ此種ノ研究ハ、寧ろ倉庫證券ニ關スル點多キヲ以テ、之ヲ次節ニ譲ルコト、爲セリ。

〔註〕 米國倉庫ノ契約 米國ノ一般商品倉庫ニ於テモ、法律上相當ノ注意ヲ以テシタル場合ニ生シタル損害ニ對シテハ、因ヨリ責任ナキモ、一般ニ次ノ如ク種々ノ免責事項ヲ掲ケ置クヲ常トス。

All goods are stored at owner's risk of loss or damage by acts of God, civil or military authorities, or by insurrection, riot, strikes, enemies of the government, sprinkler leakage, flood, wind, storm, fire, moths, corruption, depredations of rats or mice or vermin, change of temperature, or by any causes beyond the control of the warehouse. No responsibility will be assumed for concealed damage, for wear and tear, leakage of liquids, labor disputes, or for losses in weight by reason of defective or insufficient containers whether occurring when goods are in storage or are being handled, nor for failure to detect or remedy the same. All storage and handling charges must be paid on goods lost, damaged or destroyed.

太平洋岸ノ倉庫ハ前記ノ外熱氣、蒸發、重量ノ變化、腐敗等ヲ數ヘテ、氣候ニ因ル損害ヲ明カニシ、家具倉庫ハ損害多キ爲メニヤ、特ニ蟲害、鼠害ニ因ル損害ヲ免ル、チ國リ、數多ノ州就中紐育州ニ於テハ、倉庫カ鼠類(Rodents)ヲ除去スルニ力ヲ盡シタル旨ヲ證明シタルトキハ、責任ナシト爲セリ、其他家具、商品倉庫共ニ、一定金額以上ノ損害ハ特ニ價格ヲ告ケテ、割増料金ヲ支拂ヒタル場合ノ外、之ヲ負ハサルコト、倉庫ノ種類及保管料ノ節ニ述ヘタルカ如シ。

第三節 倉庫證券ノ發行

第一款 倉庫證券ノ性質及要件

(一)概念 貨物ノ寄託者カ倉庫ニ對シ、單ニ其保管ヲ依頼スルノミヲ以テ満足シ、別ニ讓渡上ノ

便利、及ヒ金融上ノ方便ヲ得ントスルノ希望ナキトキハ、唯倉庫會社ノ帳簿ニ記錄シ置クカ、又ハ單純ナル普通ノ保管證書ヲ受取り置クニテ足ルヘシト雖モ、進歩シタル倉庫ノ目的トスル所ハ單ニ貨物ヲ安全ニ保管シテ、個人倉庫ノ代用ヲ爲スノミニ止マラス、更ニ進ンテ其賣買、質入等貨物處分上ノ便益ヲ供セントスルニ在リ、一般商人ノ倉庫ニ期待スル所モ亦蓋シ此點ニ存スヘキカ故ニ、歐米各國ハ勿論、我邦ニテモ貨物ニ代ルヘキ證券ヲ發行シテ、以テ此目的ニ應スルコト爲セリ、茲ニ倉庫證券(又ハ一枚ノ倉荷證券ニテ英語ハ Warehouse Receipt 也)トハ即チ此種ノ證券ニテ、我邦ノ法制ニテハ原則トシテハ預證券及ヒ質入證券ノ二者ヨリ成リ、前者ハ以テ賣買讓渡ニ供シ、後者ハ以テ質入擔保ニ用ヒシム、是レ想フニ佛、白諸國ノ制度ニ則リタルモノニシテ、英國其他多クノ國ハ、概ネ預證券一枚ノミヲ發行シ、賣買、質入、兩種ノ目的ニ併用ス(註)ニ枚主義(複券主義)一枚主義(單券主義)トハ各一長一短アリ、一概ニハ斷定シ難キモ、一枚主義ハ使用上簡便ナルノ利アルモ、二枚主義ハ一見其運用巧妙ナルカ如クニシテ少シク法律ツクメノ不便ナル缺點アリ(第四節參照)、我國ニテハ最初ハ一枚主義ヲ採リテ、預證券ノミヲ發行スルコト、爲セシモ、商法ハ二枚主義ヲ便ナリトシ、其法律關係比較的複雜ナルノ缺點アルニモ拘ラス斷然二枚主義ヲ採用シタリ、然レトモ現今我邦ノ商人ハ一般ニ之ヲ不便ナリトシ、一枚主義ニ改メンコトヲ主張セシヲ以テ、四十四年ノ改正商法ハ二枚又ハ一枚(即チ倉荷證券)孰レニテモ寄託者ノ請求ニ應シテ發行スヘシト改正シタリ、而シテ倉庫證券ハ寄託者ノ請求ニヨリテ發行スヘ

キモノナレトモ、倉庫ハ預證券及ヒ質入證券ヲ各別ニ發行スルヲ得ス、必ラス同一寄託物ニ對シ同時ニ二葉宛交附スヘキコト、爲リ居ルヲ以テ、例ヘハ若シ單ニ二枚中ノ預證券ノミヲ發行シタルトキハ、唯單純ナル貨物預リ證ト爲リ、倉庫證券ノ有スルカ如キ物權的效力、其他特別ノ便益ヲ享有スルコト能ハサルニ至ル。(以下倉庫證券ト云フトキハ多クニ枚ノモノナリト知ルヘシ)

〔註〕但シ英國ニテハ「ウエート、ノート」ヲ發行スルカ故ニ、事實上二枚ノ證券ハ使用スルモノニテ、唯我質入證券ノ如キモノト其性質ヲ異ニスルノミ。(後ニ説明スル英國倉庫業ノ部參照)

(一)物權的效力 倉庫力發行シタル預證券ヲ裏書ニ依リテ讓渡スルトキハ、貨物其物ヲ讓渡シタルト同様ノ效力ヲ生シ、又其質入證券ヲ質入シタル時ハ、貨物其物ヲ質入シタルト同一ノ結果ヲ生ス、是レ所謂倉庫證券ノ物權的效力ナルモノニシテ、商法カ

「預證券及質入證券ニ依リ寄託物ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ預證券及質入證券ヲ引渡シタルトキハ寄託物ノ上ニ行使スル權利ヲ取得(所有權、又ハ質權)ニ付キ寄託物ノ引渡ト同一ノ效果ヲ生ス」預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ寄託物ニ關スル處分ハ其證券ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス(第三百六十五條及第三百三十四條ノ二)預證券及質入證券ヲ作リタル場合ニ於テハ、之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス(第三百七十九條)

ト規定セルヲ見テモ明カナリ畢竟證券ノ效力ヲ重大ニシ、其運用ヲ迅速且ツ確實ナラシメ、以テ貨物ノ所有主ト證券ノ權利者トヲ異ニスルカ如キ不便ナカラシメンカ爲メニ外ナラス、恰モ船荷證券若クハ貨物引換證ニ此種ノ特別ノ效力ヲ附與セルト同一ノ趣旨ニ基クモノナリ。右ノ如ク法律ハ倉庫證券ニ附與スルニ物權的效力ヲ以テスルカ故ニ、裏書ニ依リ適法ニ證券上ニ

物權ヲ得タル者ハ、貨物ノ上ニモ亦同種類ノ物權ヲ取得スト雖モ、單ニ裏書ニ依ル證券ノ引渡ハ貨物ノ引渡ニ同シ、然ルニ貨物ノ引渡ハ唯事實上ノ所持ヲ與フルニ過キササルヲ以テ、倉庫證券ヲ引渡シテ物權の效果ヲ生セシメント欲セハ、之カ引渡ト同時ニ、所有權其他物權移轉ノ特別ナル意思表示アルヲ要ス、例ヘハ賣渡トシテ裏書ヲ爲シ、其所有權ヲ移轉スルノ契約ヲ爲ストキハ、證券引渡ト共ニ貨物ノ所有權移轉スヘク、又質入ノ目的ヲ以テ裏書スルトキハ、證券ノ引渡ト共ニ貨物ノ上ニ質權設定セラル、而シテ質權ノ設定即チ質入ハ質入證券ノ裏書ニ依ルノ外、之ヲ爲コトヲ得ストスルハ大ナルハ大ナル誤解ニシテ、質入證券ト連續セル預證券ニ裏書ヲ爲シ、質入ノ目的ニテ之ヲ爲スモ、亦質入ノ一方法タルヲ妨ケス、從テ質入證券ニ依リ既ニ質入ヲ爲シタル後、更ニ預證券ニ裏書シ、質入ノ目的ヲ以テ引渡ストキハ、第二ノ質權設定セラル、コト、爲ルヘシ、(註)若又占有權ヲ移轉スル目的ニテ裏書シタルトキ、例ヘハ荷造ノ變更其他保存等ノ行爲ヲ第三者ニ委任スル爲メニ裏書シタルトキハ、單ニ貨物ノ占有權ヲ與ヘ、貨物出庫ノ裏書ハ唯出庫ノ權利ヲ附與スルニ過キササルカ如シ。

〔註〕 其實入證券使用ハ預證券ノミテ使用スルヲ得ス、又質入證券ニ依リテ借入レタルトキハ、其金額ヲ預證券ニ記載スル答ナルヲ以テ、質入證券ヲ切取りテ使用シタル後、預證券ヲ讓渡シ、又ハ質入スルモ、二重ト爲ルノ虞ナレ、尙ホ此點ニ關シテハ第三款質入ノ部ヲ參照スヘシ。

(三) 債權的效力 倉庫證券ハ其貨物代表ノ點ヨリ觀ルトキハ、物權證券ナリト雖モ、其發行ニ依

リ、新ニ寄託物返還ニ對スル證券上ノ債權ヲ發生スル點ヨリ觀察スル時ハ、亦一種ノ債權證券(註二)ナリ、而シテ此證券ニ依ル、倉庫ニ對シ貨物ノ返還ヲ請求シ得ルノ權利ハ、其根源タル預ケ入ノ行爲(倉庫行爲)ト分離シ、全ク證券記載ノ條件ニ從フヘキモノナルヲ以テ、倉庫ハ預ケ主ニ對スル抗辯ヲ以テ、證券所持人ニ臨ムコト能ハス、又證券ノ發行ナキト雖モ、寄託者ハ固ヨリ倉庫ニ對シ貨物ノ返還ヲ請求シ得ヘク、且此債權ヲ讓渡スルコトモ爲シ得ヘシト雖モ、斯クスルトキハ、民法上面倒ナル手續ヲ要スルノミナラス、此證券ニ依ラサル債權ノ讓渡ハ、必スシモ物權ノ讓渡ト爲ラサルカ故ニ、到底不確實ナルヲ免レス、然ルニ證券ニ依ル債權ハ裏書ナル簡單ノ方法ニ依リテ自由ニ移轉シ、此債權ノ讓渡ハ同時ニ確實ナル物權ノ讓渡ト爲ルノ便アルナリ。

〔註〕 凡ソ他人ニ或品物ヲ預ケレハ、之ヲ返シテ質ヲ權利チ、其人ニ對シテ有ス、此權利ハ即チ債權ニシテ、普通ノ保管證書(即チ預證書)ハ此權利ヲ證明スルモノナリ、然レトモ此證書ハ、物品ヲ代表スルモノニアラサルカニニ、賣却、質入等ノ目的ニ供スルコトヲ得ス(權利質ハ別)倉庫證券ハ此ノ如キ權利證明書ト爲ルト同時ニ、前述ノ如ク物品其モノト同様ノ效力ヲ有スルナリ。

(四) 法定要件 既ニ倉庫證券ニ附與スルニ、右ノ如キ重大ナル效力ヲ以テシタル以上ハ、法律ヲ以テ之ニ記載スヘキ要件ヲ一定シ置カサルヘカラス、是レ即チ商法第三百五十九條ノ規定アル所ニシテ、即チ左ノ如シ。

- 一 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名スルヲ要ス。
- 一 寄託物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、箇數並ニ記號

二 寄託者ノ氏名、又ハ商號

三 保管ノ場所

四 保管料

五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間

六 受寄物ヲ保險ニ附シタルトキハ、保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七、證券ノ作成地、及ヒ作成ノ年月日

右ノ如ク倉庫證券ニ記載スヘキ事項ヲ一定スルハ、一ハ證券ノ流通ヲ確實且ツ容易ナラシムルニ在レト、一ハ此證券カ特ニ物權的效力ヲ有シ、其記載事項ノミニ依リ、倉庫證券所持人等關係者ノ權利義務ヲ決スルカ爲メナリ、而シテ一旦斯ク定メタルトキハ、右要件ノ一ヲ缺クモ(五、六ハ任意)其證券ハ既ニ倉庫證券トシテハ效力ナキモノトス、但シ署名ハ明治三十三年法律第十七號ヲ以テ記名捺印ニテ足ルコト、爲レリ、參考ノ爲メ我邦某倉庫ノ用ヒタル倉庫證券ノ雛形ヲ次ニ示スヘシ。(署名トハ自筆ノ名ニテ記名ハ他人ニ書カシムルモ可ナルノ意ナリ)

證券雛形ハ三菱倉庫株式會社東京本店ノ分ニテ、次ノ如キ取引ニ用ヒタルモノトス。

大正十年ノ六月十日ニ、西江商店カ越後米百五拾俵ヲ深川小松町ノ三菱倉庫株式會社ニ預ケ入レ、預證券及質入證券ヲ乞ヒ受ケ、其日ニ質入證券ヲ第一銀行ニ入レテ金壹千貳百圓(期限七月五日、日歩貳錢五厘)ヲ借入レ、同月十五日ニ至リ、高橋商店ニ全部ヲ賣却セリ(借入元利金及ヒ十五

日マテノ保管料ハ總代金ヨリ差引キ、殘金ヲ西江商店ヘ支拂フモノトス)高橋商店ハ六月二十日ニ證券ノ契約通り、壹俵ニ付キ八圓ノ割合ニテ、金四百圓及ヒ此利息、期限迄貳圓六拾錢ヲ倉庫ニ供託シ、五十俵ヲ出庫シ、七月五日ハ質金ノ期限ナルヲ以テ、殘金ノ元利ヲ倉庫會社ニ於テ銀行員ニ支拂ヒ、質入證券ヲ受取り、七月十日保管料ヲ支拂ヒ、倉庫ヨリ殘部百俵ヲ出庫シ、證券ヘ受取ノ旨ヲ記入シテ返附セリ。(約款ハ倉庫證券ニ準シテ改正セラルヘキモノナレト、現今一般倉庫ニ於テハ、二枚證券ヲ用ヒサルヲ以テ舊證券ヲ揭ク)

(五)證券面記載ノ約款 法律ハ必要アリテ倉庫證券ニ記載スヘキ事項ハ、斯ク斯クタルヘシト定メ置キタルニ、後掲雛形其他諸倉庫ノ發行セル倉庫證券ヲ見ルニ、一トシテ損害賠償、貨物ノ返還、内出、費用、證券ノ滅失等ニ關シ、法定事項以外ノ事項數條ヲ掲ケサルハナシ、是レ一見奇ナルカ如キモ、凡ソ證券ノ法定事項ナルモノハ、是レタケハ必ラス掲ケサルヘカラス、其一ヲ缺クモ原則トシテ效力ナシト云ヘル性質ノモノニテ、其ノ以外ニテモ苟モ公序良俗ニ害ナキ事項ハ、遠慮ナク掲ケテ契約スルヲ得ルカ故ナリ。(手形ノ如キ所謂絕對的要式證券ハ別ナリ)

而シテ倉庫證券ノ裏書讓渡ヲ許シタル以上ハ、其所持人ヲ以テ完全ナル權利者ト認ムルコトハ當然ナルヲ以テ、商法ハ寄託ニ關スル事項ハ、倉庫ト證券所持人トノ間ニ於テハ、凡テ其證券ノ定ムル所ニ依ルヘキ旨ヲ定メテ(第三百六十二條、縱令最初ノ預ケ主カ證券記載面ノ約款以外如何ナル事項ヲ倉庫ト約スルモ、倉庫ハ證券所持人ニ對シテ、之ヲ云爲スルコトヲ得サルコト、爲セリ、此點ノ必要ヲ見ルハ、貨物ニ就テハ多ク其性質、數量及品位ニ關スル事項ニシテ、例ヘハ倉庫

三菱倉庫

寄託主 西江三郎殿

穀 越後米壹百五拾俵

參八ノ 第二〇二號

入質

此證券所持人ハ左ノ條項ヲ約セラルルモノトシテ
 一 受寄物カ天災ノ他抗拒セザル災厄ニ罹リ
 又ハ鼠喰ノ損傷ハ當會社ニ於テ火災保險ニ付セザ
 リメシタル申込ニ因リ當會社ニ於テ火災保險ニ付セザ
 寄託主ノ申込ハ火災ニ因リ當會社ニ於テ火災保險ニ付セザ
 失アル場合ト雖モ當會社ニ於テ火災保險ニ付セザ
 二 當會社ノ責任ハ受寄物ノ火災保險金額又ハ入庫當時
 ノ申込價額ニ付テ限リトス
 三 火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 四 寄託主ノ責任ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 五 預證券所持人ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 六 預證券所持人ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 七 預證券所持人ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 八 預證券所持人ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 九 預證券所持人ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十 預證券所持人ハ受寄物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ

場所	保管	期限	入庫日	數量		記號
				平均	總量	
深川區小松町		大正十二年七月十日	大正十二年六月十日	拾六貫	貳千四百貫	荷 債 入

券證

六 之カ引渡ヲ受ケヘシ
 七 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 八 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 九 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十一 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十二 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十三 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十四 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十五 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十六 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十七 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十八 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 十九 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ
 二十 寄託物ノ火災保險額ノ一部ヲ出庫シタルトキ

要 摘	火 災 保 險			保管料
	保 險 者	保 險 期	保 險 額	
	明治火災保險株式會社	自入庫日時至出庫日時	壹千五百圓也 壹俵ニ付金拾圓	壹價一ヶ月ニ付貳錢五 從價率萬分ノ十五

前記ノ貨物券面ノ約條ニ從ヒ正ニ預リ候寄託主又ハ其指圖人ハ此證券及
 此證券ト共ニ發行シタル預證券引換ニ可相渡候也
 大正三年六月十日當會社東京本店ニ於テ本券ヲ作成發行ス
 東京市深川區小松町壹番地
 三菱倉庫株式會社
 支配人 木村林次郎 印

株式會社

質 權			質 權				
除解	轉移	定 設	除解	轉移	定 設	大正	大正
前記ノ元利金額正ニ請取候也 大正 年 月 日	前記ノ債務ハ指圖人へ御支拂可被成候也 大正 年 月 日	一金部出庫ニ關スル約定 辨濟期限昭和 年 月 日 此證券引換ニ支拂可申候也 大正 年 月 日	前記ノ元利金額正ニ請取候 大正十二年七月五日	前記ノ債務ハ指圖人へ御支拂可被成候也 昭和 年 月 日	一金壹千貳百圓也 辨濟期限大正十二年七月五日 此證券引換ニ支拂可申候也 大正十二年六月十日 利息 日歩貳錢五厘 割合ニテ供託ノコト 三菱倉庫 西江三郎印		
		利息 辨濟場所 殿又ハ其指圖人へ 大正 年 月 日	株式 第一銀行印				

質 入 七 サ ル 場 合							讓 渡							
取 受 内							(ニ共ト券證預)							
大正	大正	大正	大正	大正	大正	日	大正	大正	大正	大正	日	附	讓渡人氏名印	讓受人氏名
月	月	月	月	月	月	附	年	年	年	年	月	日		
日	日	日	日	日	日	受取個數	月	月	月	月	日			
年	年	年	年	年	年	受取人氏名印	日	日	日	日				
						當會社認印								

ハ完全ナル證券ノ所持人カ之ヲ呈示シテ貨物ノ引渡ヲ求メタルニ、或ハ「實際貨物ヲ預リタルニ
 アラス、後ニ受取ル約束ニテ現實ニ貨物ハナシ」トカ、マタハ「既ニ何月何日何某ニ引渡ヲ了セ
 リ」トカ、或ハ「實際ハ證券面ニ記載セルヨリモ少量ノ貨物ヲ預レリ」トカ「入庫ノ當日ヨリ毀
 損シ居レリ」トカノ事由ヲ云爲シテ所持人ノ請求ニ應セザラントスルモ、是等ノ事項カ、證券面
 ニ現ハレ居ラサル以上ハ、即チ證券面ニ記載ナキ限リハ、決シテ其責ヲ免ル、コト能ハサルナリ。
 然レトモ右ハ一般ノ原則ニシテ、亦多少ノ例外ナキニアラス。例ヘハ倉庫證券ニハ種類、數量、
 品質ヲ記載スヘキモノナルモ、場合ニ依リテハ荷造ヲ解キ、是等ヲ確ムル能ハサルコトアリ、此
 ノ如キ場合ニハ、已ムヲ得ス大凡ノ見込ニ依リテ之ヲ記載セサルヘカラサルヲ以テ、其旨ヲ附記
 スルトキハ、實際確ムルコト能ハサルニアラサリシ事、又ハ事實相違ノ旨ヲ、所持人ヨリ證明ス
 ルニアラサレハ、倉庫ハ責任ヲ負フコトナク、又前節第六款損害賠償ノ部ニ於テ述ヘタル理由ニ
 因リ、倉庫カ假令不實(實際ト異ナル)ノ事項ヲ記載スルモ、其記載ノ不實ナル點ニ關シ、何等過
 失ノ咎ムヘキモノナキトキ、換言スレハ倉庫ニ於テ、所謂善良ナル管理者ノ注意ヲ爲スモ、到底其
 不實ナルコトヲ知ル能ハサリシ場合ノ如キハ、全ク責任ナキモノトス、此他貨物カ俵、函、瓶、
 包等ニ入レアリテ、實際之ヲ開クニアラサレハ、其性質、數量等ヲ審ニスル能ハサルカ如キ場合
 ハ、如何ト云フニ、此場合ニ於テモ、不實ノ記載カ倉庫ノ過失ニアラサルコト、證券面ニ現ハレ
 居ルトキハ責任ナシ、例ヘハ證券ニハ葡萄酒百本トアルニ、中ニ同色ノ他ノ液體ヲ入レタルモノ
 ルヘシ。

アルモ、倉庫カ其内容ヲ検査スルニ注意ヲ怠リタル事ヲ證明セサルトキハ、責任ナキカ如シ。
 以上ハ商法三百六十二條(註)ニ關シ主トシテ貨物ニ及ホス效果ヲ説キタルモ、此他寄託ニ關スル
 條件ノ如キモ、亦固ヨリ證券面ノ約款ニ從フヘキモノニシテ、隨テ貨物ノ損害、保管期間、保管
 料ノ計算等ニ關シ、寄託者ト爲セシ特約、又ハ營業規則ノ如キハ、之ヲ證券面ニ記載スルカ、又
 ハ前掲雛形ノ如ク、之ニ關聯セシムルノ文言(約條九號)ナキトキハ、證券上ノ效力ナキモノト知
 ルヘシ。

〔註〕商法三百六十二條……預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ、寄託ニ關スル事項ハ、倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テ
 ハ、其證券ノ定ムル所ニ依ル。

米國ニ於テモ倉庫會社ハ、證券發行ノ際之ニ記載シタル品名ト異レル貨物ヲ引渡ストキハ、證券所持人ニ對シ損害賠償ノ責
 任アリテ、其誤記カ不用意ニ出テタル場合(Innocent mis description)ニ於テモ、責ヲ免ル、コト能ハザレトモ、單ニ商品ノ
 荷印若クハ商標(marks or labels)ノミナ證券ニ記シ、或ハ「或種類ノ貨物ナリトコトナリ」ト云ヘル文句ヲ記載スルニ
 止ルトキハ、若シ貨物カ是等ノ荷印、商標若クハ寄託者ノ話ト異ルモ、倉庫ハ責任ナキモノト定ム、斯ル場合ニ用フル證券
 面ノ文句ハ“said to contain”; “order and condition unknown”; “designated as or said to be”等ナルカ、貸出銀行側ハ
 成ルヘク精密ニ記載スルコトヲ希望シ居レリト云フ。

上述ノ外、證券面約條九項其他ノ説明ハ、逐次各節ノ中ニ説キタルヲ以テ、特ニ其註釋之ナキモ
 ノ、ミヲ擧ケテ、少シク説明ヲ試ムヘシ。

一、倉庫證券ハ手形ノ如ク無記名ト爲スコトヲ得ルヤ
 凡ソ商業證券ノ流通ヲ便ニセントセハ、無記式ト爲スニ如カサルモ、我邦ノ程度ハ未タ之ヲ認

ムルノ必要ナシト見タルカ、法律ハ無記名式ト爲スコトヲ許サ、ルノ精神ナルカ如シ、何トナレハ商法ハ小切手及ヒ手形（金額參拾圓以上）ニ對シテハ、特ニ明文（第五百三十條及四百四十九條）ヲ以テ無記名式ト爲スコトヲ認メタルモ、倉庫證券ニ就テハ何等ノ明文ナク、且ツ寄託者ノ氏名又ハ商號ヲ表ハスコトヲ要求シ居レハナリ。（第三百五十九條）但シ「何某殿又ハ持參人ヘ」ト云ヘル選擇持參人式ニハ爲スコトナリト云ヘル説アリ。（此説ハ商法第二百八十二條及第四百四十九條ノ二ヲ根據トスルモノナレトモ、法

ノ精神ハ、物權證券ニハ此式ヲ許サ、ルニ在ルカ如シ）

二、倉庫證券ニ寄託物ノ見積價格ヲ記載シタルトキハ其效力如何

倉庫ノ責任ハ、貨物ヲ安全ニ保管スルニ止マルヲ以テ、貨物ノ價格ノ如キ法定事項以外ノコトヲ附記スルモ、價格證明ノ如キ責任之ナルカヘシト云フ者アリ、價格證明トハ少シク漠然ナレトモ、倉庫カ自ラ保管ノ責任スル貨物ヲ評價シテ特ニ證券ニ記入スル以上ハ、反對ノ文句ナキ限りハ、損害賠償金額ノ標準ヲ之ニ採ルコトヲ明示シタルモノト看做スヲ、當然ナリト信ス。

三、摘要欄ヲ設クルノ必要

手形ノ如キモノハ、手形法ニ規定ナキ事項ヲ記載スルモ、手形上ノ效力ナキカユエニ、別ニ摘要欄ヲ設クルノ必要ナキモ、倉庫證券ニハ、入庫前ノ立替金、運賃トカ、讓渡以外ノ裏書、例ヘハ取立委任ノ裏書、預證券ヲ質入スル場合ノ裏書（讓渡ノ裏書、質入證券ノ質入裏書等ニハ、特ニ別欄ヲ設クルヲ常トス）等ヲ認ムル必要アルヲ以テ、豫備的ニ摘要欄ヲ設クルヲ便トス、

會社ノ通則トシテ火災保險ヲ附スル場合ニ之ヲ要セサルトキ亦同シ。

四、火災保險ハ倉庫カ寄託主ノ爲メニセル旨ヲ證券上ニ明ニスルコト

倉庫ノ營業規則中、火災保險ニ關スルコトハ、一切倉庫ト保險會社トノ契約ニ任スヘキ旨ヲ定メ、事實上倉庫ハ自ラ被保險者ト爲リテ、恰モ自己ノ貨物ナルカ如ク保險ニ附スルモノ多シ、是ニテモ著シキ不都合多クハ之ナルカヘキモ、更ニ證券ノ信用ヲ確實ナラシメンニハ、倉庫ハ寄託者ノ委任ニ依リテ保險ニ附シ、萬一損害ノ填補ヲ得ルトキハ、寄託者若クハ證券所持人ヨリ直接ニ、保險會社ニ請求シ得ルカ如ク爲シ置クヲ可トス。〔現今諸倉庫ハ、倉庫ノ手ヲ經テ請求セシメ居レト〕

五、寄託主又ハ證券所持人カ同一質入證券ヲ二回以上使用スルトキ

第一質權者タル最初ノ銀行カ、更ニ第二ノ銀行ヘ質入スルニアラス、質入證券ニテ借金シタル者カ、一旦其銀行ヘ返金シテ質入證券ヲ受ケ戻シ、更ニ他ノ銀行ニ質入スルトキハ、前ノ質入事項ヲ抹消シタル後、初ノ如ク質入手續ヲ行フヲ可トス。

第二款 倉庫證券ノ分割及滅失

（一）證券分割ノ場合 倉庫證券ノ所持人ハ即チ貨物ノ所有者ナルカ故ニ、倉庫業者ニ對シ、寄託物ヲ分割シ、且ツ其各部分ニ對スル新證券ノ交附ヲ請求シ得ルハ當然ナルカ如ク、又一方ヨリ觀ルトキハ、倉庫業者ハ最初貨物入庫ノ際交附セル證券ト引換ヘニ、現物ヲ引渡スヘキ義務ヲ負フ

モノナルカ故ニ、一旦一括シテ預ケ入レタル貨物ヲ分割シテ、更ニ新證券ヲ交附スルノ義務モ亦之ナキカ如シ、然レトモ證券所有者ノ便宜、換言スレハ商業界ノ實際方面ヨリ觀察スルトキハ、當初一括シテ預ケ入レタル貨物ハ決シテ分割スルヲ得ストスルハ、不便蓋シ少カラサルヘキ場合アルカ故ニ、證券所持人ハ前ノ證券ト引換ヘニ、分割シタル各部分ノ新證券ヲ請求シ得ルコト、爲シ、以テ此不便ヲ除ケリ、但シ新證券ノ交附ヲ受クルハ、右ノ如ク本來證券所持人ノ便宜ニ出テタルモノナルカ故ニ、貨物ノ分割及ヒ證券ノ交附ニ關スル費用ハ、凡テ所持人ノ負擔ニ歸セシムルコト、爲セリ(商法第三百六十一條)而シテ茲ニ倉庫證券ノ分割ト云ヒテ、預證券若クハ質入證券ノ分割ト云ハサルハ、倉庫カ分割ヲ許スハ二證券連結シテ流通スル場合ニ限リ、單ニ預證券ノミノ所持人、若クハ質入證券ノミノ所持人ハ、決シテ分割ヲ請求シ得サルカ故ナリ。

(二)滅失ノ場合 貨物ヲ寄託シテ預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ、證券ヲ以テスルニアラサレハ、其寄託物ニ關シ賣買、質入、出庫等、何等ノ處分ヲモ爲スコト能ハサルモノナルヲ以テ其證券カ紛失、盜難其他ノ原因ニ因リテ滅失シタルトキハ、所持人ハ是非トモ新證券ノ交付ヲ求メサルヲ得ス、然レトモ猥ニ請求者ニ交付スルハ頗ル危険ニシテ、爲メニ後日、前ノ證券發見セラレテ、同一貨物ニ對シ二證券ノ流通ヲ見ルカ如キコト、或ハ虛偽ノ請求者ニ交付シテ、真正ノ所持人ヨリ更ニ請求セラル、コトモアラン、是ニ於テカ商法ハ證券滅失ノ場合ニ、所持人カ相當ノ擔保ヲ供スルトキハ、更ニ其證券ノ交付ヲ求ムルコトヲ得セシメ、他日此再交付ニ關シテ爭ヲ

生シタル場合ノ證據ニ備フル爲メ、其旨ヲ倉庫ノ帳簿ニ記載シ置カシムルコト、爲セリ(第三百六十六條)某倉庫ノ營業規則モ亦之ニ據リテ一條ヲ設ケ、以テ滅失ノ場合ニ備ヘタリ、即チ

規則第十六條 倉庫證券、預證券及質入證券、禁流通貨物預證書又ハ保管貨物通帳ヲ滅失シタルトキハ、其所持人ハ當會社ノ相當ト認ムル擔保ヲ供シテ、更ニ之カ再交附ヲ請求スルコトヲ得、但其擔保物件ハ除權判決確定後ニアラサレハ、テ返戻セサルモノトス

ト、而シテ滅失ノ場合ノ再交付ハ、分割ノ場合ノ再交付ト異ナリ、唯舊證券ノ代リニ證券ヲ交付スルニ過キサルヲ以テ、預證券及ヒ質入證券連結流通ノ場合ニ限ルヲ要セス、預證券ノミ又ハ質入證券ノミ、孰レニテモ獨立ニ再交付ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス、商法第三百六十六條カ「預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ」ト云フモノ蓋シ此意ナリ。

倉庫カ擔保物ヲ證券所持人ニ返還スヘキ時期ニ關シテハ、商法ニ別段ノ規定ナシト雖モ、擔保物ヲ預リ置クハ、畢竟正當ナル所持人ナリシヤ否ヤヲ決スルトキマテニシテ、權利者ノ確定ハ除權判決(民事訴訟法參照)ノ確定ニ俟タサルヘカラサルヲ以テ、某倉庫ノ如キモ亦前記ノ如ク其旨ヲ營業規則中ニ掲ケ置ケリ。

證券滅失ノ場合ハ分割ノ如ク、舊證券記載事項ヲ知ルニ由ナキカ故ニ、倉庫ハ最初證券發行ノ時其帳簿ニ以下ノ事項ヲ記載シ置クノ義務アリ(商法第三百六十條)。(一)寄託物ノ種類、品質、數量及其荷造ノ種類、個數、並ニ記號 (二)寄託者ノ氏名又ハ商號 (三)保管料 (四)保管ノ期間

ヲ定メタルトキハ其期間 (五)受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ其金額、保險期間、及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號 (六)證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日
又證券喪失ノ場合ニハ、商行爲ノ總則ニ從ヒ(第二百八十一條)所持人カ公示催告ノ申立ヲ爲シタルトキハ、倉庫ヲシテ寄託物ヲ供託セシメ、又ハ相當ノ擔保ヲ供シテ、寄託物ヲ引渡サシムルコトヲ得ヘシ。

第三款 倉庫證券ノ裏書讓渡及質入

(一)裏書讓渡 預證券及ヒ質入證券ヲ發行セシムル目的ハ、或ハ賣買讓渡ノ爲メ、或ハ質入擔保ノ爲メニ之ヲ運用シ、現物ヲ動かサスシテ、金融上ノ便宜ヲ得セシムルニ在ルヲ以テ、假令雛形ノ如ク「寄託主又ハ其指圖人ヘ」ト云ヘルカ如ク指圖式ノ證券ニアラスシテ、單ニ「何某殿ヘ」ト云ヘル所謂記名式ノモノト雖モ、裏書ニヨリテ之ヲ讓渡シ、又ハ質入スルコトヲ得セシメサルヘカラス、即チ商法第三百六十四條ヲ以テ之ヲ許シタル所以ニシテ、恰モ手形カ記名式ナルモ、裏書讓渡ヲ認ムルト同一ノ趣旨ニ基クモノナリ、然レトモ絕對的ニ此主義ヲ貫キテ證券ノ流通ヲ自由ニスルノ理由モ亦存在セス、却テ當事者ノ自由意思ヲ束縛スルニ過クルモノナルヲ以テ、證券ニ讓書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ、流通スルコトヲ得サルモノト爲セリ、又我商法カ無記名式即チ所持人拂ノ倉庫證券ヲ認メサルハ、證券説明ノ部ニ述ヘタルカ如シ。

(二)裏書ノ性質 倉庫證券ノ裏書モ亦手形ノ裏書ニ同シク、證券上ノ權利者即チ證券所持人カ、相手方ヲシテ證券上ノ權利者タラシムルノ意思表示ニシテ、通常證券ノ裏面ニ(雛形ヲ見ヨ)裏書ノ年月日、裏書讓渡人ノ氏名捺印、及ヒ裏書讓受人ノ氏名(氏名ノ代リニ商號ヲ用フルモ固ヨリ可ナリ)ノ三項ヲ記載スルヲ以テ足レリトス、而シテ此ノ如ク記載シタル裏書ハ、所謂記名式ノ裏書ナルモノニシテ、此他指圖式ノモノハアレト、白地式トテ、單ニ讓渡人ノ氏名捺印及ヒ年月日ノミノモノハ認メサル筈ナリ。(年月日ハ之ヲ要セ) (スト爲ス説アリ)

裏書ハ證券上ノ權利者タル資格ヲ讓渡スノ手段ナレトモ、此資格ヲ讓渡ス方法ハ、必スシモ裏書ニ限リタルニアラス、此他相續、會社ノ合併等ニ依リ、證券ヲ取得セル者モ、亦證券上ノ權利ヲ取得セル證券ノ所持人ナリ、唯相續等ニ依ル讓受人カ、裏書ニ依リテ讓受ケタル證券上ノ權利者ト異ナル所ハ、前者ハ最後ノ證券上ノ權利者タル者ノ權利ヲ其儘承繼スルニ過キササルニ、後者ハ獨立セル直接ノ權利、即チ讓渡人ニ關係ナク、證券面ニ記載セル文言タケノ權利ヲ取得スルノ點ニ在ルノミ。

又惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ證券ノ占有ヲ得タル者ハ、之ヲ返還スルノ義務ナキカ故ニ、此條件ニ適フ占有ヲ得、且ツ證券上形式ニ權利者トシテ記載セラル、以上ハ、亦證券上ノ權利者ト爲ルナリ。

裏書讓受人(即チ被裏書人)トシテ證券ヲ取得センニハ、被裏書人トシテ記載セラレ、且ツ其裏書

カ連續スルコトヲ要ス。

此ノ如ク裏書ニハ種々ノ條件ヲ要スルモ、證券上ノ權利者ハ唯形式的ニ是等ノ條件ノ備ハレルコトヲ證明スレハ其レニテ足り、倉庫モ亦單ニ外形上此等ノ條件ノ備ハレルヤ否ヤヲ調査スルノ義務アルノミニシテ、其所持人及ヒ署名捺印ノ眞偽又ハ裏書ノ眞偽ニ就テハ之ヲ調査スルノ義務アルモノニアラス、唯倉庫カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ、寄託物ノ引渡其他ノ義務ヲ履行シタルトキハ、其履行ハ無効ニテ、決シテ責ヲ免ル、能ハサルモノトス。

(三)讓渡上ノ制限 凡ソ預ケ主カ倉庫證券ニ裏書シテ、以テ貨物ヲ讓渡スハ、其欲スルカマ、ニシテ、既ニ預證券ト質入證券ノ二葉ニ分ツ以上ハ、孰レヲ先ニ運用スルモ毫モ差閤ナキカ如キモ元來兩證券ハ連結シテ一ノ倉庫證券ヲ成シ、同一ノ物品ニ對シテ發行セルモノナルカ故ニ、之ヲ分離運用スルトキハ、其性質ニ戻ラサルカ如ク爲サ、ルヘカラス、質入前預證券ノミヲ讓渡スモ、讓渡人ノ所持スル質入證券ハ何等ノ用ヲナサ、ルヘク、預證券讓受人ハ質入證券之ナキ爲メ、質入ノ便ヲ奪ハル、コト、爲リ、又質入證券ノミヲ讓渡スモ、略同一ノ結果ヲ生スヘク、結局二證券發行ノ趣旨ニ反スルニ至ルヘケレハナリ、是レ預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲サ、ル間ハ、預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ讓渡スルコトヲ得サルモノト爲シタル所以ナラン。

商法第三百六十四條後段——預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲サ、ル間ハ預證券及質入證券ハ之ヲ各別ニ讓渡スルコトヲ得ス

(四)最初ノ質入 右ノ理由ニ因リ預ケ主先ツ證券ニ依リテ貨物ヲ賣却セントスルトキハ、預證券

及ヒ質入證券雙方ニ讓渡ノ裏書ヲ爲シテ讓受人ニ交付セサルヘカラサルモ、若シ一時貨物ヲ質入シテ金融ヲ附ケントスルトキハ、質入證券ノミヲ切り取り、其裏書相當欄ニ質入裏書ヲ爲シテ、質債權者(通常ハ銀行)ニ交付スヘシ。

而シテ此場合ニモ借入金額、利息、及ヒ返済期ノ三者ハ、必ラス之ニ裏書シ置カサルヘカラス(雛形ノ裏書ヲ見ヨ)是レ質入證券ハ質受銀行ト、借入主又ハ其後ノ預證券讓受人トノ間ニ於ケル借入金ニ關スル權利義務ヲ明カニスル根本ノ證券ナレハナリ。

右ハ初メテ質入スル場合ナレトモ、若シ第一ノ質受銀行カ、金融ノ都合上、更ニ他ノ銀行ニ質入スル場合ハ如何ト云フニ、第二以下ハ別ニ借入金額等ヲ記入スルヲ要セサルカ如シ、商法第三百六十七條ニ曰ク

質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ、債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ掲ケタル事項ヲ、預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非ラサレハ、質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前條第一項ハ特ニ第一ノ質入裏書ト云ヒテ、單ニ質入裏書ト云ハサルハ、第二以下ノ質受銀行ハ第一質權ノ金額ノ期限利率等ヲ知ルノ必要アルモ、第二以下ノ質權ニ就テハ、之ヲ知ルヲ要セサルカユエナリ、斯クスレハ後ノ質入銀行ハ第一ノ質金額ヨリ多ク借入レ、期限モ最初ノ期限ヨリ長カラシメ、預證券所持人カ預證券記載ノ期限ニ至リ(即チ最初定メタル期限ニテ、質入證券記

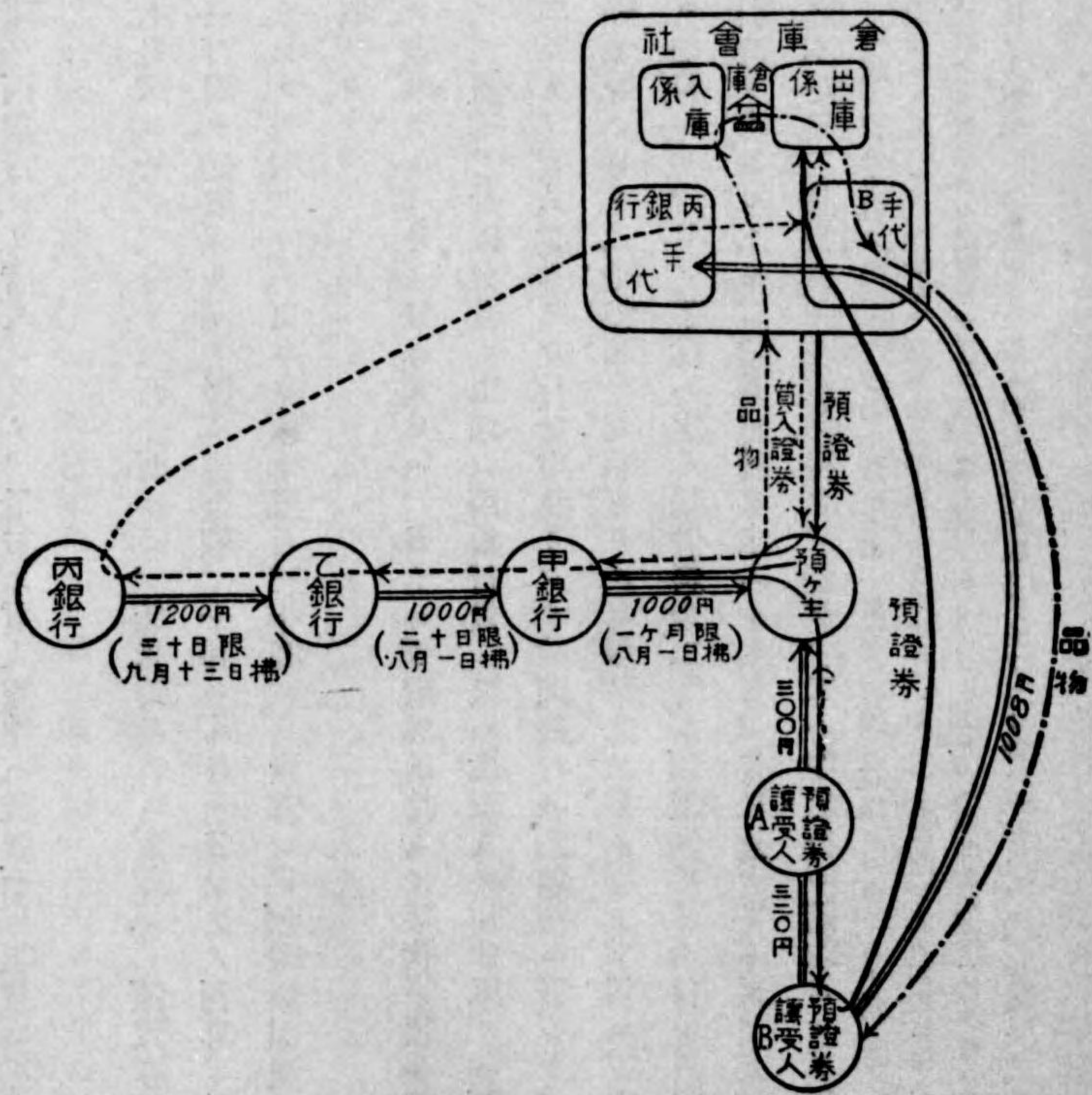
載ノモノト同シ記載ノ金額ヲ支拂フテ質入證券ヲ受ケ戻サントスル場合ニ、質入證券所持銀行、即最後ノ質受銀行ハ之ヲ拒ムコトナキヤ、若シ拒ムコトナク右ノ金額ト引換ヘニ質入證券ヲ交付スヘキモノトセハ、此質受銀行ハ損害ヲ蒙ルコトナキヤト云フニ、

第二第三等ノ質受銀行ハ最初ノ質入範圍(金額、期限等)ヲ超過スル質入契約ヲ結フコトハ爲シ得ルモ(註一)此契約ノ有效ナルハ、契約當事者間ニ限り、預證券所持人ニ對シテハ、最初ノ質入範圍、即チ質入證券記載範圍ノ外、云爲スルコト能ハサルヲ以テ、預證券所持人カ證券記載ノ期限ニ、證券記載ノ金額ヲ支拂フテ、質入證券ノ交付ヲ求ムレハ、之ヲ拒ムコトヲ得サルモノトス、是レ質入證券所持銀行ハ質入證券ノ記載ニ依リ、最初ノ質入範圍ヲ知り、法律上自己ノ權利(預證券所持人ニ對スル)モ亦是レ以上ニ出ツル能ハサルコトヲ豫知シ居ル筈ナレハナリ、尤モ自分ニ質入シタル銀行ヘハ請求シ得ルユエ、不足分ハ之ニ對シテ請求スヘシ。
(改正法モ亦預證券所持人ノ債務ヲ、其記載金額ニ限ルコト、爲セリ(商法第 三百六十七條ノ二))

但シ是等ハ單ニ法律論ニシテ、實際上第二、第三等ノ質受銀行カ、第一ノ質權範圍ヲ超ヘテ貸出スカ如キコト極メテ稀ナルヘシ(註二)今以上ノ關係ヲ圖解スレハ下ノ如シ。

(解) 例ヘハ某商人アリ、七月一日ニ倉庫ニ或貨物ヲ預ケ入レ、之ニ對シテ倉庫證券ヲ受取り、同日、期限一ヶ月(八月一日限り)利率日步貳錢五厘ノ割合ニテ金千圓ヲ借入ル、爲メ、甲銀行ヘ質入證券ヲ裏書シテ差入レタリ、然ルニ甲銀行ハ都合上同月十三日ニ期限二十日開(八

月一日限
 兩端ノ日
 ヲスル)
 日步貳錢
 貳厘ニテ
 乙銀行ヘ
 質入シ、
 金千圓ヲ
 借入レタ
 ルニ、乙
 銀行ハ同
 月十五日
 更ニ三十
 日拂九月
 十三日限
 リ)同日



歩ニテ金千貳百圓ヲ丙銀行ヨリ借入レタリ、最初ノ質入條件ハ證券面ニ記載セルモ、其他ハ之ナキモノトス。

一方預ケ主ハ、七月末ニ於テ、金千三百十圓ニテ、此貨物ヲAニ賣却シ、預證券ニ裏書シテ交付シ、手取金三百圓ヲ受取レリ（千圓ハ質金額、十圓ハ八月一日マテノ利息、及ヒ讓渡ノ時マテノ保管料トシテ差引ク）A更ニBニ千三百三十圓ニテ賣却シ、預證券引換ニ、手取金三百二十圓ヲ受取リタリ。

擬愈々第一質入ノ期限ナル八月一日ニ到レハ、Bナル預證券所持人ノ手代ハ現金千八圓（元金千圓利息八圓）ヲ携ヘ、倉庫會社ニ出頭シ丙銀行員（又ハ代理人タル倉庫）ニ預證券ヲ示シ、元利金ヲ差出シテ、質入證券ノ交付ヲ申込ミタリ、丙銀行ハ乙銀行ニ貸シタル金ノ期限ニアラス、又金額モ少ケレト、證券面ニ記載シアルヲ以テ之ヲ拒ムコトヲ得ス、千八圓ヲ受取リテ質入證券ヲ交付セリ、Bノ手代ハ之ニ保管料金二圓ト預證券トヲ添付シテ、出庫係ニ差出シ、貨物ノ引渡ヲ求ムルトモ、證券書替ヲ求ムルトモ、其任意ナリトス。

丙銀行ハ元利金ノ不足ヲ乙銀行ニノミ求メ得テ、預ケ主又ハ甲銀行ニ請求スルヲ得ス。
〔註一〕 學說トシテハ超過シ得スト爲スモノト、超過シ得ルモ第一質權ノ範圍ヲ超過スヘカラスト爲スモノトノ別アリ、是等ハ法律ヲ以テ明カニスレハ便ナランモ、我商法ノ解釋トシテハ本文ノ如シ、尤モ事實上ハ同様ニ歸ス、何トナレハ本文ノ如クスルモ、實際上超過スル質受ケテ爲スモノ之レナカルヘケレハナリ。（商法改正後ニ於テ殊ニ然リ）
〔註二〕 若シ超過條件ニテ質受ケシタルトキ、質入銀行力不足額ヲ支拂フコト能ハサルトキハ、何人ニモ、何物ニ對シテ



モ支拂ヲ求ムルヲ得ス、ツマリ其銀行ノ損失ニ歸スヘケレハナリ。

若シ又中途ノ質受銀行力超過金額ヲ貸出シ、質入銀行ヲシテ之ヲ證券面ニ記載セシメタルトキハ如何ト云フニ、其限度ニ於テ責任ヲ負フ旨ヲ示スコト、爲ルカユニ、其質入銀行ハ後者ニ對シ自己ノ責任ヲ重カラシムルコト、爲ルノミ。

質權ハ物權ノ一種ナルヲ以テ、第三者ニ對抗シ、其質物ニ就テ他人ヨリ「貸金ノ辨濟ニ充ツヘキ筈ナルカ故ニ當方ニ引渡サレタシ」ナト請求セラル、モ、之カ爲メニ權利ニ影響ヲ及ホスコトナキカ如クセサルヘカラス、質入證券ノ如キ一種ノ動産質ハ質權者タル銀行力、其質權ヲ以テ第三者ニ對抗センニハ、繼續シテ證券ヲ占有スルヲ要スルハ勿論ナルモ、單ニ此條件、及ヒ前掲、借入金額等ヲ、質入證券ニ記載スル條件ノミヲ以テ足レリトセハ、一方預證券ノ所持人ハ、唯質入證券ヲ利用セルノ事實ヲ知ルコトヲ得ルノミニテ、（質入前ニハ預證券ヲ讓渡スコト能ハサルカ故ニ）何人カ質債權者ナルヤ、借入金額ハ幾何ナルヤ等ヲ知ルコト能ハサルヲ以テ、自己ノ所持セル預證券ノ價格ハ、果シテ幾何ノ價格アルモノナルヤ、何人ニ就テ質金額ヲ支拂ヘハ可ナルヤ、又何時辨濟シテ可ナルヤ等ノ點ニ關シ、一向要領ヲ得サル場合アルヘク、隨テ預證券所持人ノ迷惑測ル可ラサルモノアルヘキヲ以テ、遂ニ之ヲ讓渡スコトヲ得サルニ至ラン、斯クテハ證券發行ノ趣旨ニモ悖ルコト、爲ルカ故ニ、商法ハ質入證券ニ裏書スルカ如ク、債權額利息及辨濟期ヲ預證券ニ記載シテ、之ニ署名スルニ非サレハ、其質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得スト爲セリ、而シテ茲ニ第三者トハ、主トシテ預證券所持人ヲ指スモノナルヲ以テ、實際質入證券ヲ取リテ貸

リ、倉庫若シ「藏出報告」ヲ以テ貨物ノ出庫ヲ請求スル者アルトキハ、相當ノ代金ヲ預リ置キテ貨物ヲ渡シ、期日ノ至ルヲ待チテ預ケ主ニ代リ銀行ニ返済スルモノトス、而シテ預證券及質入證券ノ二者ヲ發行スル場合ニハ、禁流通證券發行ノ場合ノ外、此ノ如キ書類ノ必要ナキモ、倉荷證券ヲ質入スルトキハ、同種ノモノヲ使用ス。(英國ノ Warehouse Order 此ノ「藏出報告」又ハ禁流通證券ノ場合ノ「出庫指圖書」ニ當ル)

(二)質入後ノ出庫 倉庫カ倉庫證券ヲ發行シタルトキハ之ト引換ニアラサレハ貨物ノ引渡ヲ許サ、ルヲ以テ、證券所持人カ質入證券ヲ利用シ、金員ヲ借入レタルトキ、又ハ質入後ノ預證券ヲ買入レタルトキハ、先ツ其質權者ニ就キテ借入金ヲ返済シ、質入證券ヲ取戻シ、預證券ト共ニ倉庫ニ拂出セサルヘカラス、此場合、借入金ノ期日ナランニハ(質入證券所持銀行ノ何人タルヲ知ルニ由ナシトスルモ)倉庫營業所ニ到リ元利金ヲ支拂ヘハ可ナルモ、若シ期日前ニ出庫ヲ必要トスル場合アラシカ、債務ハ期限前限りニ返済スルコト能ハサルモノナルヲ以テ、質權者カ承諾セサルトキハ、借金ヲ返済シテ質入證券ヲ得ルニ由ナキコト、爲リテ、必要ノ時貨物ヲ引出スコト能ハサルニ至ラン、斯クテハ證券發行ノ趣旨ニ反スルヲ以テ、右ノ如キ場合ニハ預證券所持人カ、借入金ノ全額及ヒ期限マテノ利息ヲ、倉庫ニ供託スルトキハ、貨物ヲ出庫セシムルコト、定ム、而シテ此供託金ハ倉庫カ質入證券ノ所持人(多クハ銀行、以下然リ)ニ代リテ預リ置クモノナルヲ以テ、質入證券所持人カ質入證券ニ依リテ、此金員ノ引渡ヲ求ムルトキハ、必ラス之ヲ支拂フ可キモノトス、尤モ現今我邦ノ實際ニ於テハ、質入證券ノ運用盛シナラス、之ヲ擔保ニ取リタル

銀行カ、更ニ又質トスルカ如キハ、寧ロ例外ナルノミナラス、倉庫ハ銀行ト特約ヲ結ビ、其發行シタル證券ヲ質入スル者アリタルトキハ、其旨ヲ通知セシムルノ習ヒナルカ故ニ、倉庫ニ供託セシテ、直ニ質債權者タル銀行ニ就キテ辨濟ヲ爲スコトヲ得ルノ便アリ。

右ハ質入貨物ヲ全部出庫スル手續ナレトモ、質入貨物ノ一部ヲ出庫セントスルトキハ如何ニスヘキヤ、此點ハ嘗テ商法ニ明文ナカリシカ故ニ、學者間ニハ議論アリテ、或ハ全部出庫ノ場合ノ如ク、其割合ニ應スル金額ヲ供託スルトキハ、出庫ヲ許サ、ル可ラスト云ヒ、或ハ供託ハ法律上特ニ之ヲ許スノ明文アリテ、始メテ爲スコトヲ得ルモノニテ、如何ニ實際上便利ナレハトテ、法律ニ規定ナキ一部ノ供託ヲ認ムヘキニアラス、宜シク質權者ニ就キ、其承諾ヲ得テ相當ノ金額ヲ辨濟スヘキモノナリト爲スモノアリ、實際ニ於テモ、倉庫ニ依リ區々ニシテ、イツレモ倉庫證券及營業規則ニ之ニ關スル條款ヲ挿入シ、或ハ辨濟ニ限り、或ハ一部ノ供託ヲ許スコト、爲セシカ、商法改正後ニ於テハ、多ク一部ノ供託ヲ許スル原則ト爲スモノ、如シ(從來モ多數ノ倉庫ハ斯ク取扱ヒ居タリ)今三菱倉庫株式會社ノ舊營業規則ヲ見ルニ、

第二十五條 質權設定後預證券所持人ニ於テ、其寄託物ノ全部又ハ一部ヲ受取ラントスルトキハ、其債權ノ全部又ハ一部及之ニ對スル辨濟期マテノ利息ヲ當會社ニ供託シテ之カ引渡ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條 質入證券ニ質權ヲ設定スルニ當リ、質權者及質權設定者ハ、寄託物ノ一部出庫ヲ禁スル旨、又ハ其一部出庫ニ當リテ供託スヘキ金額ノ割合ヲ協定シテ、之ヲ預證券及質入證券ニ記載スヘシ、當會社ハ其預證券ノ記載ニ依リテ、之ヲ取扱フヘシ

預證券ニ前項ノ記載ナキトキハ、當會社ハ債權者ニ於テ一部出庫ヲ認メタルモノト看做シ、之ヲ取扱フヘシ、此場合ニ於ケル供託金ハ質權設定當時ノ受寄物ノ總個數ヲ以テ、債權金額ヲ除シ得タル金額ヲ、受寄物一個ノ供託金割合ト定メ、之ヲ算出スヘシ

第二十七條 質權設定後ニ於ケル寄託者ノ一部出庫ニ關シ、質權者ト當會社トノ間ニ特約アル場合ニ於テハ、預證券所持人ハ質權者ニ債務ノ一部ヲ支拂ヒ、之ニ對スル貨物内渡請求ヲ求メ、之ヲ當會社ニ提出スヘシ

今一部出庫ニ關シ此三箇條ヲ通觀スルニ、(一)供託ニ依リ一部出庫ヲ求ムルヲ得ルコト、(二)質受銀行及質入人ハ一部出庫ヲ禁スル者ヲ約シ、之ヲ預證券及質入證券ニ記載シ得ルコト、(三)供託金ノ割合ヲ約シテ之ヲ兩證券ニ記載セハ、之ニ依リテ取扱フコト、(四)禁止モ供託金ノ割合モ記載ナキトキハ、寄託物ノ個數ニテ質金額ヲ除シ(利息モ亦之ニ伴フ)之ヲ出庫數ニ乗シタル金額ヲ供託セシメテ、出庫ヲ許スコト、(五)貸出銀行ト倉庫トノ間ニ特約アルトキハ、一部辨濟ヲ爲サシムルコト、爲ルヘシ、而シテ商法ノ之ニ關スル規定ヲ觀ルニ

第三百八十條ノ二 受寄物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有レ、且ツ分割スルコトヲ得ヘキ物ナルトキハ、預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及ヒ其辨濟期マテノ利息ヲ供託シ、其割合ニ應ジテ、寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得、此場合ニ於テ、倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及ヒ返還シタル寄託物ノ數量ヲ、預證券ニ記載シ、且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル一部出庫ニ關スル費用ハ、預證券ノ所持人ノ負擔ス
第三百八十條ノ三(第一項) 前二條ノ場合ニ於テ質人ハ券所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存ス

此規定ニ依レハ、一部出庫ヲ請求シ得ル條件ハ(一)寄託貨物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有スルコト、(二)貨物カ差支ナク分割シ得ルコト、(三)出庫數量ニ比例スル債權額及其利息ヲ倉庫ニ供

託スルコトノ三者ニシテ、例ヘハ小麥粉(米利堅粉)ノ中、米國製(ゴールド)ナル同種類ノ物百袋ヲ寄託シ、其實入證券ニ依リテ貳百五拾圓ヲ日步貳錢ニテ六十日間、某銀行ヨリ借入レタルトキ三十袋ヲ出庫セントスルトキハ、

$$\frac{¥250}{100(\text{袋})} \times 30 = ¥75 \text{ (倉庫額)} \quad \frac{75}{100(\text{米})} \times 60 = 90 \text{ (全額)} \quad ¥75 + ¥90 = ¥165$$

即チ七拾五圓九拾錢ヲ供託シテ、其出庫ヲ求ムルコトヲ得ルカ如シ、此場合ニハ別ニ出庫部分ニ對スル保管料、立替金之アラハ、倉庫ニ支拂フヘキヤ言フ俟タス、而シテ預證券ニ出庫ノ數量ヲ記入セシムルノ義務ヲ、倉庫ニ負ハシメタルハ、證券ノ代表貨物カ減少シタル當然ノ結果ニシテ、之ヲ帳簿ニ記入セシメタルハ、證券發行ノ當時記入セシメタル理由ニ等シク、此記載事項ニ變更ヲ來シタルカ爲メナリ、又一部出庫ハ預證券所持人ノ便宜ニ出テタルモノナルヲ以テ、其費用ヲ負擔セシムルハ、當然ナリトス。

又第三百八十條ノ三ハ供託金ニ依リテ全部又ハ一部ノ出庫ヲ許ス場合ノ當然ノ規定ニシテ、斯クテ質權者ヲシテ、出庫セル寄託物ノ對價タル供託金ノ上ニ權利ヲ有セシメ、以テ其損害ヲ防キタルナリ。

明治四十四年商法改正前ニ於テハ、一部出庫ニ關スル供託ノ規定ナカリシモ、實際上不便ナリシヲ以テ、多數ノ倉庫ハ、證券及營業規則ニ於テ之ヲ許ス旨ヲ掲ケテ、實行シ居タル如シ、然レトモ法ニ規定ナキ一部出庫ノ供託ヲ認ムルハ元來違法ノ處置ニシテ、倉庫ハ之カ爲メニ質入證券所

持人ニ蒙ラシメタル損害ニ對シ、責任ヲ負フヘキ理ナリシナリ、改正商法カ前記ノ條文ヲ挿入シタルハ、畢竟此不便ヲ除カンカ爲メニシテ、極メテ適當ノ處置ナリト信ス、蓋シ之カ爲メニ便益ヲ受クルハ預證券所持人ニシテ、倉庫ハ固ヨリ、質權者タル銀行ト雖モ、殆レト損害ヲ蒙ルノ虞之ナケレハナリ。〔現今ノ倉庫ノ營業規則ニハ「一部出庫ヲ拒絕スルコトアルヘシ」ト定メ、前記ノ如キ條文ナシ、預證券ノ券ヲ使用セサル爲メナルヘキモ、倉庫證券質入ノ場合、銀行ノ通知狀ニ依リテ、出庫ヲ許シ居レリ〕然レトモ、單ニ貸方タル銀行ノ側ヨリ考フルトキハ、倉庫ト特約ヲ結ビ、出庫數ニ應スル金額ヲ辨濟セシメ、出庫指圖書(貨物内渡請求書)ニ依リテ出庫セシムルヲ便トスヘク、或ハ一步ヲ進メテ次ニ述フルカ如ク現物ヲ質受シ、之ヲ自己ノ名ニ於テ倉庫ニ寄託シ、禁流通貨物預證券ヲ收メ亦指圖書ニ依リテ出庫セシムルコト最モ安全ナルヘキナリ、但シ後ノ方法ヲ採ルトキハ、一旦質入シタル貨物ヲ賣渡スニ由ナク、貨物所有者ノ不便甚シキカ如ク見ユルモ、質入後賣却ノ目的ナキ者ニハ(是レ實際ニ多キヲ占ム)何等不便ヲ生セサルヘシ。

(貨物受取證) 以上述ヘタル出庫ノ方法ハ、預證券及質入證券ヲ發行シタルトキノモノナレト、禁流通貨物預證券(後ニ詳説ス)又ハ保管貨物通帳ヲ發行シタルトキモ、亦右ノ方法ニ準シテ出庫セシムルノ習ヒニテ、但タ此場合ニハ上ノ如キ「貨物受取書」ヲ以テ、之ニ代用セシムルコトアルノ差異アリ。

(貨物引渡請求書) 倉庫ニ依リテハ、質權者タル銀行カ動産質トシテ現品ヲ預リ、其貨物ノ代理占有ヲ依頼シタルトキハ、之ニ對シテ禁流通貨物預證券ヲ交付シ置キ、斯クシテ質入主カ借入金

貨物受取證

一 臺灣三温糖		藏番	越 5	番號	二、二一八
口高	二五〇	記號	〇BB		
壹個ノ量	一〇〇斤	渡先	製		

右之貨物正ニ受取候也

寄託主 小林商店 印

昭和二年八月八日

三菱倉庫株式會社御中

ノ全部又ハ一部ヲ辨濟シタルトキハ、銀行ヨリ「貨物引渡請求書」ヲ乞ヒ受ケ、之ニ依リテ貨物ノ全部又ハ一部ヲ出庫セシムルモノト爲セルモノアリ。

(三) 質入貨物ノ競賣 質入證券ノ所持人カ其債務ノ辨濟期ニ至リ、支拂ヲ受ケサルトキハ寄託貨物ニ對シ競賣權ヲ行フコトヲ得ルヤ勿論ナルモ、質權者ヲシテ輕々シク貨物ヲ賣却セシムルハ、預證券所持人及ヒ質入證券ノ裏書人ヲ保護スルノ方面ニ於テ、聊カ遺憾ナキ能ハサルヲ以テ、此ノ如キ場合ニハ、先ツ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシメ、其日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニアラサレハ、寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得スト定ム(商法第三百六十八條及第三百六十九條)是レ此間ニ證券上ノ債務者ヲシテ此事實ヲ知

ラシメ、以テ辨濟ノ機會ヲ得セシメンカ爲ニ外ナラサルナリ、然レトモ此ノ如ク、債務者ヲ保護スルニ過キタル、面倒ナル規定ヲ設ケタル爲メ、却テ證券ノ流通ヲ阻碍スルニ至リタルハ、後ニ述フル所ノ如シ。

茲ニ注意スヘキハ質入證券所持人ニ對スル當面ノ債務者ハ何人ナルヤノ點ニテ、舊商法ノ解釋トシテハ、或ハ第一質入裏書人ナリト云ヒ、或ハ預證券所持人ナリト云ヒ、議論ノ岐ル、所ナリシカ、改正法ハ明文ヲ以テ預證券所持人カ物の有限ノ責任ヲ負フヘキモノト爲セリ。

第三百六十七條ノ二 預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ。

即チ質入證券ノ所持人ハ、貨物處分前ニ於テ、預證券所持人ニ對シ債務ノ履行ヲ請求スルコトヲ得ルノ理ニテ、實際上ニ於テモ質權者タル銀行カ、預證券所持人ヲ知り得ル場合ニ於テハ、一應之ヲ請求シ、故ラニ競賣等ノ煩ヲ爲サルヘキモ、預證券ハ質入後轉讓シ、其現有者ヲ知ルコト能ハサル場合ナキヲ保セス(但シ日本ノ現狀ニテハ此ノ如キコト稀ナリト云フ)隨テ預證券所持人ヲシテ、倉庫ノ營業所ニ就キ、辨濟ヲ爲サシムルコトヲ規定シタルモ、此場合、期日ニ倉庫ニ元利金ヲ持參セサルトキハ、質權實行ニ依ルノ外ナク、此際ハ拒絕證書ヲ要スルモノト爲セリ(商法第三百六十七條ノ三及第三百六十八條)

右ノ規定ニ從ヒテ貨物ヲ競賣(註)シタルトキハ、其代金ヲ如何ニスヘキヤ、又競賣ノ收得金ニテ債務ヲ完済シ能ハサルトキハ如何ト云フニ。

倉庫ハ競賣代金ノ中ヨリ、先ツ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租税、保管料、其他保管ニ關スル費用、及立替金ヲ控除シタル後、其殘額ヲ質入證券ト引替ニ質權者ニ支拂フ可キ定メニシテ、質權者更ニ此中ヨリ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シ、尙ホ剩餘アルトキハ之ヲ倉庫ニ返シ、倉庫ハ又之ヲ預證券所持人ニ證券引換ヘニ拂渡スヘキモノトス。(商法第三百七十條)凡ソ質權者ハ貨物ニ重キヲ置キテ金員ヲ貸與スルモノニシテ、寄託物ノ價格多少下落スルモ、債權額其他ノ辨濟ニ不足ヲ生スルカ如キ患ヒナカラシムルモノナレト、相場著シク下落スルカ、又ハ品質意外ニ損敗セル等ノ爲メニ、競賣代金ヲ以テ債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサル場合ナキヲ保セス、此ノ如キ場合ニハ質入證券ノ所持人ハ、其裏書人ニ對シテ、其不足額ヲ請求スルコトヲ得ルモ、質入證券ハ競賣代金ヲ倉庫ヨリ受取ルトキ、之ト引換ヘニ返還スヘキモノナルヲ以テ請求上ノ不便少カラス、商法ハ此不便ヲ除クカ爲メニ、倉庫ヲシテ證券所持人即質權者ヘ支拂ヒタル金額ヲ、質入證券ニ記入シタル後之ヲ返還シ、且其旨ヲ帳簿ニ記載セシムルコト、爲セリ。(商法第三百七十條)

商法第三百七十二條ハ「質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ、尙ホ不足アルトキハ其裏書人ニ對シテ不足額ヲ請求スルコトヲ得」セシム、此場合ニ於テハ手形法中償還請求ノ規定ニ從ヒ、期日後二日以内ニ拒絕證書ヲ作ラシメテ、其直接ノ前者ニ對シ、拒絕證書作成ノ日又ハ其後二日以内ニ償還請求ノ通知ヲ發シ、斯ク通知ヲ受タル者モ亦、自己ノ讓受ケタル裏書人ニ對

シ、通知ヲ受ケタル日又ハ其後二日以内ニ償還請求ノ通知ヲ發セサルヘカラス、其金額ハ債權金額ノ不足金、期日以後ノ法定利子(年六分ノ割合)拒絶證書作成ノ手数料其他ノ費用ニシテ、自己ノ後者ヨリ請求ヲ受ケタル裏書人ハ、其支出金額及支拂日以後ノ法定利子、並ニ支出諸費用ナリ、是等ヲ請求スルトキハ、質入證券ニ拒絶證書及ヒ償還計算書ヲ添ヘサルヘカラサルコト等、亦手形ノ場合ニ等シ。(商法第三百七十二條第二項)

前記條文ニ依レハ裏書人ハ不足額ニ對シテ責任ヲ負フヲ以テ、寄託物カ滅失シタルトキハ責任ヲシト云フ者アレト、是レ徒ニ文字ニ拘泥スル僻論ニシテ、滅失ノ場合ハ不足ノ最モ著シキ場合ナレハ、之カ全部ヲ裏書人ニ請求スルモ、法文ノ解釋上何等不條理アルコトナシ、但斯ノ如ク解釋スレキハ、當面ノ債務者タル預證券所持人ハ毫モ責任ヲ負ハサルカ如キコト、爲レトモ、物的有價ノ責任ヲ負ヒタルモノナレハ、是亦已ムヲ得サルノ結果ト云フヘク、又一面ヨリ觀レハ、第一質入裏書人ハ、此不測ノ損失ヲ避ケンカ爲ニハ、寄託貨物ニ保險ヲ附スルコトヲ得ヘキヲ以テ(實際上入庫貨物ハ保險ニ附シタルモノ多キヲ以テ、保險會社ノ支拂ハサル損害ノ場合ノ外前記ノ如キ憂ナシ)、若シ之ヲ附セスシテ損害ヲ蒙ルコト、ナルモ、悔ユルコトナカルヘキノ理ナリ。質入證券ノ流通ヲ獎勵センニハ、質入證券所持人ノ便宜ヲ圖ルト同時ニ、所持人カ其權利ヲ行使スル上ニ於テ怠慢アリタルトキハ、裏書讓渡人(質入證券ノ)ヲシテ其義務ヲ免レシメ、成ルヘク早ク其關係ヲ消滅セシムルコト必要ナルヲ以テ、質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ、支拂ヲ受ケ

サリシ場合ニ於テ、拒絶證書ヲ作ラシメサリシトキ、又ハ拒絶證書作成ノ日ヨリ、二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ、裏書人ニ對スル請求權ヲ失ヒ、裏書人ハ全ク償還ノ義務ヲ免ル、モノト爲セリ。(商法第三百七十三條)

此ノ如ク我商法ハ拒絶證書ノ作成ニ關シ、専ラ手形ニ關スル規定ヲ準用シ、二日以内ニ拒絶證書作成、二週間内ニ競賣、公證人、執達吏等ノ面倒ナル手續ヲ爲サシムルモ、倉庫證券ノ記載事項ハ手形ノ如ク簡單ナラス、且ツ倉庫證券ハ各品各品質ニ付キ各通ヲ作ルノ習ヒニテ、一時ニ數十枚拒絶證書ヲ作成スルノ必要ナキニアラス、活潑ナル商取引ニ適セサルハ勿論、競賣法ニ依リテ競賣セシムルトキハ、其代價モ大ニ減少スヘキカユエニ、銀行モ質入者モ共ニ損失ヲ蒙ルニ至ル、是レ此規定ノ我當業者ニ悅ハレサル所以ナリ。

而シテ預證券所持人及ヒ質入證券裏書人カ、質入證券ノ所持人ニ對シテ負フ責任ハ頗ル重大ナルノミナラス、一方ニ於テハ普通ノ債權ト異リ、質物ヲ以テ擔保セラル、ノ利益アルヲ以テ、亦證券ノ流通獎勵上其權利請求ノ有効期間ヲ次ノ如ク一箇年又ハ六ヶ月ト爲シ、辨濟期日ヨリ此期間ヲ過キテ請求セサルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノト爲セリ。(商法三百七十四條)

(甲) 質入證券所持人ノ請求權

- 一、預證券所持人ニ對スル請求權ノ時効
- 二、質入證券裏書人ニ對スル請求權ノ時効

一 年(辨濟期ヨリ)
六 月(寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ)

